

2025年度シラバス

科目名	犬学・猫学			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬と猫の歴史・生態・習性や人との関係を覚える。 犬・猫本来の能力について理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	犬・猫の社会性・適応を学ぶことによって、動物に対しての人としての社会性も身につけることができる 犬と猫それぞれの基本的な生態・習性を理解し、犬・猫の家畜化の歴史や人との関係の変遷を説明できる							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	最新犬種図鑑、イラストでみる犬学、猫の教科書				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	https://www.jkc.or.jp/breeds/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について スタンダードとドッグ・ショー		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ケネル・クラブ、犬種用途、血統書について 血統書の意味と役割（繁殖、遺伝管理、犬種保全など）を正しく説明できる				最新犬種図鑑
第2回	○月○日	グループ制		J K C 第1～第10グループについて、犬種標準とは 犬種標準（スタンダード）が定められた目的・構成内容（体格・被毛・性格・歩様など）を理解し、説明できる				最新犬種図鑑
第3回	○月○日	イヌについて 家畜化の起源と歴史		イヌ学の重要性、犬種の多様な品種、進化について 犬の家畜化の歴史と進化の流れを説明できる				イラストでみる犬学
第4回	○月○日	イヌの起源 野生のイヌ科動物の分類と分布		オオカミからイヌへ、世界の野生のイヌ科動物について 野生イヌ科動物と家畜イヌの共通点と違いを説明できる				イラストでみる犬学
第5回	○月○日	食肉目としての特徴 ヒトとのかかわり		イヌ科とネコ科の違い 犬種の歴史について イヌ科とネコ科の身体的特徴、行動、生態の違いを理解し、比較して説明できる				イラストでみる犬学
第6回	○月○日	犬の習性・生態について		イヌ科動物の特性について イヌ科動物の一般的な身体的特徴（骨格、被毛、歯の構造など）を説明できる				イラストでみる犬学
第7回	○月○日	形態の馴化現象		イヌの改良・新しい品種について イヌの品種改良の歴史的背景と目的（作業効率向上、外見の美化、性格の改良など）を理解し説明できる				イラストでみる犬学
第8回	○月○日	ネコについて		ネコ学の重要性、猫種の多様な品種、進化について ネコ学の意義と重要性（猫の生態、行動、福祉、人との関係性を科学的に理解すること）を説明できる				猫の教科書P82～101
第9回	○月○日	ネコの起源 野生のネコ科動物の分類と分布		世界の野生のネコ科動物について 野生ネコ科動物の生息地、食性、行動パターンなど基本的な生態を説明することができる				猫の教科書P82～101
第10回	○月○日	食肉目としての特徴 ヒトとのかかわり		ネコ科動物の特性 ペット化の歩み、ヒトに与える心理的影響 ネコ科動物の身体的・行動的特徴（狩猟本能、コミュニケーション、社会性など）を説明できる				猫の教科書P82～101
第11回	○月○日	ネコの習性・生態について		ネコ科動物の特性について ネコ科動物の行動や特徴を観察し、種ごとの違いや共通点を比較することができる				猫の教科書P82～101
第12回	○月○日	形態の馴化現象 ネコのグルーミング方法		ネコの改良・新しい品種について ネコのお手入れ方法について 品種ごとの特徴を活かした適切な飼育やケアの方法を説明することができる				猫の教科書P82～101
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする。 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位	1位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位	2位				10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	山極 夏希	シラバス承認者	井田 亜由美	授業担当教員	山極 夏希
				実務経験紹介	-
更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					

2025年度シラバス

科目名	犬種・猫種学Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		犬種・猫種別の原産国や名の由来、特性や特徴などを覚える。(JKC登録数上位、人気犬種を対象)						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		犬・猫の知識習得し、適切な適正飼養アドバイスができるようになる。						
受講条件		ペット総合科 在籍						
教科書名		最新犬種図鑑、猫の教科書			教材名	PowerPoint		
設備名・機器名		プロジェクター・PC			関連サイト	https://www.jkc.or.jp/breeds/		
関連前科目		該当なし			関連後科目	犬種・猫種学Ⅱ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	犬種・猫種学Ⅰの基本概念	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 教科書の見方と使用方法/断尾・断耳・陰嚢丸・歯のかみ合わせについて 授業の目的・概要・進め方を説明でき、断尾・断耳・陰嚢丸・歯の咬合について3点以上正確に説明できる。				犬種図鑑・猫の教科書 PowerPoint	
第2回	○月○日	犬種 ①グループ	シェパード&キャトルドッグ(スイス・キャトル・ドッグを除く) ボーダーコリー、コリー(ラフ)、ジャーマン・シェパード・ドッグ、 シェットランドシェパード、ウェルッシュコーギー(ペンブローク) 該当する犬種(5種以上)について原産国・用途・性格を各1点ずつ挙げて説明できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第3回	○月○日	犬種 ②グループ1	ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスキャトル・ドッグ、関連犬種 バーニーズマウンテンドッグ、ボクサー、ブルドッグ、ドーベルマン 指定された犬種(4種以上)の性格・体格・飼育上の注意点を各2項目ずつ述べられる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第4回	○月○日	犬種 ②グループ2	グレート・デーン、グレート・ピレニーズ、ミニチュア・ピンシャー、セントバーナード、 ロットワイラー グレート・デーンやロットワイラーなどの犬種について、5種以上の体格・行動特性を正確に比較できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第5回	○月○日	犬種 ③④グループ	ダックスフンド エアデールテリア、ジャックラッセルテリア、ミニチュアプルトリア、ダックスフンド(カニンヘン・ミニチュア・スタンダード) 各種テリアの特徴を説明でき、3犬種以上について性格と適した飼育環境を答えられる。 カニンヘン・ミニチュア・スタンダードの3サイズの違いを比較し、サイズごとの特徴を1つずつ説明できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第6回	○月○日	犬種 ⑤グループ	スピッツ&プリミティブ・タイプ 秋田、アメリカン・アキタ、チャウ・チャウ、日本スピッツ 柴、シベリアンハスキー 秋田犬・柴犬など5犬種について、原産地・体格・毛質・性格をそれぞれ1点以上挙げて説明できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第7回	○月○日	犬種 ⑥グループ・振り返り	スピッツ&プリミティブ・タイプ 秋田、アメリカン・アキタ、チャウ・チャウ、日本スピッツ 柴、シベリアンハスキー 前回の復習を含め、6犬種以上について特徴を口頭で説明し、2種以上比較できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第8回	○月○日	犬種 ⑦⑧グループ	ポインティング・ドッグ アイリッシュセター、ワイマラナー レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッグ フラットコーテッドレトリバー、ゴールデンレトリバー、ラブラドルレトリバー ポインティング・ドッグとレトリバーを合わせて4犬種以上説明し、狩猟目的の違いを言い分けられる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第9回	○月○日	犬種 ⑨グループ	トイ&コンパニオンドッグ チワワ、ボストンテリア、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル、狆、フレンチ・ブルドッグ 小型犬種(5種以上)について、性格・飼育注意点・体格の特徴を各1項目以上説明できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第10回	○月○日	犬種 ⑩グループ	サイト・ハウンド アフガンハウンド、ボルゾイ、イタリアングレーハウンド、サルキー、ウィペット サイトハウンドの代表種(4種以上)の視覚追跡能力と性格傾向を比較できる。				犬種図鑑 PowerPoint	
第11回	○月○日	猫種 ①	アビシニアン、アメリカンカール、アメリカンショートヘア、 ジャパニーズボブテイル、シャム、シンガプーラ、スコティッシュフォールド、ソマリ 短毛・中毛猫を合わせて6品種以上の特徴と被毛の手入れ方法を述べることができる。				猫の教科書 PowerPoint	
第12回	○月○日	猫種 ②	ノルウェージャンフォレストキャット、ヒマヤラン、ベルシャ、ベンガル、マンチカン、メインクーン、ロシアンブルー、ラグドール 長毛猫(4種以上)の被毛ケアと性格特性を各2項目以上説明できる。				猫の教科書 PowerPoint	
第13回	○月○日	猫種 ③	猫目の色/猫の毛色/猫全体の特徴特性/猫の世話について 猫の目の色・毛色・体型分類など、8項目以上を答えられ、猫の基本世話を3点以上挙げられる。				猫の教科書 PowerPoint	
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	受験前の振り返り、受験 授業の内容を振り返り、テストを実施する 過去授業の内容から10問以上の確認テストに取り組み、80%以上の正答率を目指す。				成績判定試験用紙・ 筆記用具・学生証	
第15回	○月○日	テスト返し/解説	試験問題の答え合わせと解説 テスト結果を分析し、学習の改善に活かす テスト結果の誤答を3つ以上自己分析し、改善点を記述できる。				試験用紙・PowerPoint	
成績評価方法								
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 確認テスト:授業内で実施 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位	1位				60	秀(S):100点~90点
②確認テスト		1位					10	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点

2025年度シラバス

④授業態度			2位	1位		20	可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
⑤作品						なし	
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田 亜由美	授業担当教員	小笠原 季輝
				実務経験紹介	-

更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度シラバス

科目名 ¹	小動物概論Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数 ⁶	1	時間数 ⁸	30	該当資格名称 ¹	愛玩動物飼養管理士	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬・猫以外での動物の生態を学ぶことにより、エキゾチックアニマルと呼ばれる分野の知識を覚える。 幅広い動物の生態を学ぶことで、動物のスペシャリストになる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、小型哺乳類など、エキゾチックアニマルに分類される主な種の分類・生態・飼育方法について説明できる							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	該当なし				教材名 ³	配布プリント		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト ¹	環境省 動物愛護管理法 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1_law/		
関連前科目	該当なし				関連後科目 ¹	小動物概論Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 生物の世界 動物の世界		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 生物の分類 種の概念 生物の分類を理解し、種について説明できる				—
第2回	○月○日	動物の分類		分類階級、属、学名 種の下分類単位 分類階級の基本構造を説明できる				—
第3回	○月○日	無脊椎動物の分類		節足、棘皮、軟体、刺胞、動物など 各分類群の体のつくりや共通点・相違点を比較して説明できる				—
第4回	○月○日	昆虫の世界		不完全変態 完全変態 完全変態と不完全変態の違いを説明できる				—
第5回	○月○日	動物の分布		旧北区～東洋区 エチオピア区、新北区、新熱帯区、オーストラリア区 各動物地理区の代表的な動物種を説明できる				—
第6回	○月○日	哺乳類		単孔類、有袋類 有袋類～霊長目 牛海目、被甲目、有毛目 霊長目 各分類群の特徴と、代表的な動物の例を挙げて説明できる				—
第7回	○月○日	哺乳類 ウサギ目齧歯目トガリネズミ目		ウサギ目、齧歯目、トガリネズミ目 哺乳類の中の「ウサギ目」「齧歯目」「トガリネズミ目」の分類位置を説明できる				—
第8回	○月○日	哺乳類・鳥類		鯨偶蹄目、有鱗目 肉食目ネコ科、イタチ科、クマ科 肉食目、鰐脚類 奇蹄目、翼手目 哺乳類の主要な目（もく）を分類し、それぞれの特徴を説明できる				—
第9回	○月○日	鳥類（日本の野鳥）		鳥類の概要 日本の野鳥、走鳥類 キジ目、カモ目 鳥類の基本的な特徴を理解し、説明できる				—
第10回	○月○日	鳥類の分類		ハト目、コウノトリ目、ペリカン目、ミズナギトリ目 インコ目 スズメ目 鳥類が複数の「目（もく）」に分類されることを理解し、代表的な目の特徴を説明できる				—
第11回	○月○日	爬虫類		概要 カメ目・有鱗目 ワニ目 爬虫類の共通する特徴を説明できる				—
第12回	○月○日	両生類・魚		両生類・魚の概要 両生類と魚類の体のつくりや生活環境の違いを比較でき説明できる				—
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習 試験対策のポイントをまとめ、復習することができる				試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる				単位認定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説
成績評価方法 ²								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50問選択問題、空白記入問題 課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト								優（A）：89点～80点
③課題レポート			1位	2位			10	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席				2位	1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	田邊 真吾
				実務経験紹介	—

更新履歴

2025年度シラバス

科目名		水生生物Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		アクアリウムの中でも一般的な鑑賞魚や水草を学び、熱帯魚や水草にとっての環境（光・酸素・二酸化炭素など）を覚える。 癒しやインテリアとして需要が多くなっているアクアリウムの基本を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		・魚類の分類・種類・飼養方法・水質管理を覚える。 ・水生生物特有の病気についてを覚える。 ・日本原産の観賞魚と海外原産の観賞魚の歴史についてを覚える。							
受講条件		ペット総合科在籍							
教科書名		該当なし				教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード				関連サイト	アクアジャーナル https://www.adana.co.jp/jp/aquajournal/		
関連前科目		該当なし				関連後科目	水生生物Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	自己紹介・授業開始について アクアリウム		自己紹介、授業の必要性。概要・目的・目標についての説明・進め方 ペットとアクアリウム 動物や水生生物に対する正しい知識の説明できる				—	
第2回	○月○日	アクアリウムの語源		歴史・養魚から観賞魚へ 水槽飼育と自然とのサイクルについて 観賞魚飼育の起源や歴史について理解し人と魚との関わりの変化を説明できる				—	
第3回	○月○日	魚の活動		生息環境と水・水合わせについて 魚にとっての水の重要性を理解し、水質や環境の変化が生き物に与える影響を説明できる				—	
第4回	○月○日	飼育方法、水槽について		水槽のサイクルとは、硬度と水温・飼育器具について 水槽・保温器具・照明器具・底床について 水槽内のサイクル（循環）を理解し、微生物やろ過装置による水質維持のしくみを説明できる				—	
第5回	○月○日	観賞魚と食用魚		魚の外観と特徴・名称・体長と体高・観賞魚と食用魚の違い 魚の外部構造（各部の名称や特徴）を正しく理解し、説明できる				—	
第6回	○月○日	魚の臓器とその働き		皮膚と鱗 エラ 内臓器について 魚のエラの構造と呼吸のしくみ水中での酸素の取り込みを理解し流れを説明できる				—	
第7回	○月○日	魚の感覚器		色・形・距離・味覚・臭覚・振動・水流・水圧 魚が水中でどのような情報を感知しているかを理解しそれぞれに対応する感覚器官を説明できるようにする。				—	
第8回	○月○日	金魚について		金魚の種類と品種改良 飼育の歴史、日本での生産地 金魚の基本的な種類を理解し、それぞれの特徴や見た目の違いを説明できる				—	
第9回	○月○日	錦鯉について		錦鯉の品種改良と歴史、選別と越冬・色揚げ・スビリナ・鱗の優勢 錦鯉の品種改良の歴史を理解し、どのようにして現在の錦鯉の多様性が生まれたかを説明できる				—	
第10回	○月○日	熱帯魚について 魚の導入		コイの仲間 特徴・食性・繁殖・分布 ナマズとドジョウの仲間 特徴・食性・繁殖・分布 魚の導入水合わせについて それぞれの特徴に基づいて適切な飼育方法を説明できる				—	
第11回	○月○日	熱帯魚について（カラシン目）		カラシン目について ピラニア・テトラ・カラシン メダカの仲間 卵胎生魚性 転換 カラシン目に分類される魚の代表例を挙げ、その特徴を説明できる				—	
第12回	○月○日	熱帯魚について（シクリッドの仲間）		シクリッドの仲間について 繁殖・分布・特徴 アナバス・汽水魚・古代魚について 戦魚・肺魚・乾眠 シクリッドの自然分布（アフリカ、南アメリカなど）と、生息環境の多様性を説明できる				—	
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習 試験対策のポイントをまとめ、復習することができる				試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる				単位認定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法									
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が50点以上及び出席率80%であることを合格基準とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点	
③課題レポート			1位	2位			10	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席				2位	1位		10		
							不合格の場合	再試験1回まで実施	
シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田 亜由美	授業担当教員	細川 敏史				
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/hosokawa/				

2025年度シラバス

科目名	解剖学			学科名 (コース名)	ペット総合科			学年	1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士2級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬・猫を中心とした動物の体の仕組みを勉強し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生態毎の違いを覚える。 犬・猫を中心とした動物の体の構造、骨格筋系、呼吸器系・消化器系・循環器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生体毎の違いを覚える。 動物の体の仕組みを学ぶことで、飼育方法や病気などの他の分野の基礎を確実に答える。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・愛玩動物飼養管理士の合格レベル、知識を覚える。 ・2年次の各コースの基礎となることを覚える。								
受講条件	ペット総合科在籍								
教科書名	愛玩動物飼養管理士教本				教材名	PowerPoint			
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン				関連サイト	看護roo https://www.kango-roo.com/			
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし			

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 体のしくみ	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 体の成り立ち 犬猫の基本的な身体構造を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第2回	○月○日	外皮系、骨格・筋肉	体を包むもの、体を支え動かす 体を覆う構造とその機能を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第3回	○月○日	外皮系、骨格・筋肉 消化器系	栄養をとり入れる・消化液 骨格と筋肉がどのように体を支え、動かすか説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第4回	○月○日	消化器系：食べ物の通り道	食べ物の通り道・吸収された栄養分の使われ方 消化器系を通る食べ物の流れを説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第5回	○月○日	消化器系：栄養素の吸収	酸素を取り入れる・空気を体に運び込む 栄養素の吸収とその利用方法を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第6回	○月○日	呼吸器系：酸素を取り入れる	血液中を流れるもの、血液を送り出す 呼吸器系の構造と酸素交換の役割を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第7回	○月○日	呼吸器系と腎臓	リンパ管 呼吸器系と腎臓の関係を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第8回	○月○日	腎臓と肝臓の働き	老廃物の排出・人体の化学工場 呼吸器系と腎臓の関係を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第9回	○月○日	感覚器系：感覚の紹介	視覚・聴覚・味覚・嗅覚 感覚器系の役割とその重要性を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第10回	○月○日	感覚器系：視覚と聴覚	視覚・聴覚 眼と耳の構造と機能を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第11回	○月○日	体内の情報伝達	ホルモンの働き 体内での情報伝達の仕組みを説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第12回	○月○日	生殖系	こどもを産み育てる 生殖系とホルモンの影響を説明できる	愛玩動物飼養管理士 2級1巻
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 これまでの内容を復習し、テスト準備を整える	試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 授業の内容を振り返り、テストを実施する	単位認定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 テスト結果を分析し、学習の改善に活かす	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題、空白記入問題）
確認テスト：第6回第8回の授業内で実施（15分）30問出題
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥出席						10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美
				実務経験紹介	-

2025年度シラバス

科目名 ¹		公衆衛生			学科名 (コース名)		ペット総合科		学年	1 ² 学年
授業形態 ⁴		講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定		
教育課程区分		必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	愛玩動物飼養管理士		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		動物とよりよい関係を築く為に必要な、感染症や消毒方法などの知識を覚える。 衛生上の危害や発生を防止する分野の基礎を覚える。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		動物由来感染症（ズーノーシス）の代表例を知り、その感染経路や予防方法を説明できる 飼育動物や施設の衛生を保つための基本的な消毒方法（アルコール・次亜塩素酸など）とその使い方を理解できる 人と動物が安全に共生するためのマナーや法律（例：動物愛護法、狂犬病予防法）の基礎を説明できる。								
受講条件		ペット総合科 在籍								
教科書名		コンパニオンアニマルの新・健康管理学				教材名	PowerPoint 配布プリント			
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	¹ 厚生労働省 動物由来感染症 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iry ou/kenkou/kekaku-kansenshou8/index.html			
関連前科目		該当なし				関連後科目	該当なし			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について 公衆衛生概論			授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 公衆衛生とは 公衆衛生の概念を説明し、動物との関係における意義を理解できる				PowerPoint	
第2回	○月○日	人獣共通感染症 狂犬病、インフルエンザ、猫ひっかき病、外傷性バズレラ症			狂犬病、インフルエンザ、猫ひっかき病、外傷性バズレラ症の原因(ウイルス・細菌など)と感染経路を説明できる。				コンパニオンアニマルの新健康管理学P135～P140	
第3回	○月○日	人獣共通感染症 破傷風、トキソプラズマ症、レプトスピラ症、サルモネラ症			破傷風、トキソプラズマ症、レプトスピラ症、サルモネラ症の原因微生物(細菌・原虫など)と、それぞれの感染経路を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P140～P154	
第4回	○月○日	人獣共通感染症 オウム病、腸管出血性大腸菌感染症、カンピロバクター腸炎、ブルセラ症			オウム病、腸管出血性大腸菌感染症、カンピロバクター腸炎、ブルセラ症の原因微生物と感染経路(動物・食品・環境)を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P157～P164	
第5回	○月○日	人獣共通感染症 ヘリコバクター・ピロリ感染症、幼虫移行症、アニサキス症、エキノコックス症			ヘリコバクター・ピロリ感染症、幼虫移行症、アニサキス症、エキノコックス症の原因となる病原体(細菌、寄生虫など)と、感染経路を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P155～P157	
第6回	○月○日	人獣共通感染症 リプトスボリジウム症、マダニの媒介するズーノーシス、サルから感染するズーノーシス、クリプトスボリジウム症、マダニ媒介性ズーノーシス			クリプトスボリジウム症、マダニの媒介するズーノーシス、サルから感染するズーノーシス、クリプトスボリジウム症、マダニ媒介性ズーノーシス、サル由来のズーノーシスの原因となる病原体(原虫・ウイルス・細菌など)と、それぞれの感染経路を説明できる。				コンパニオンアニマルの新健康管理学P165～P173	
第7回	○月○日	人獣共通感染症 ウサギから感染するズーノーシス、小型ゲッケン類から感染するズーノーシス			ウサギから感染するズーノーシス、小型ゲッケン類から感染するズーノーシス(ハムスター、モルモット、リスなど)から感染するズーノーシスの原因と感染経路を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P168～P170 確認テスト	
第8回	○月○日	滅菌・消毒 院内感染の危険性について			院内感染の危険性について 院内感染の定義とその危険性を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P113～P117	
第9回	○月○日	滅菌・消毒 滅菌方法について、消毒薬の種類			滅菌方法について、消毒薬の種類 滅菌方法の種類(熱、化学、放射線など)を理解し、適切な使用方法を説明できる				コンパニオンアニマルの新健康管理学P94～P99	
第10回	○月○日	動物防疫学 動物の輸出入とは			動物の輸出入とは 動物の輸出入に関わる国際的な規制や法律(CITES、OIE、動物検疫など)について理解し、それらの目的を説明できる				PowerPoint 確認テスト	
第11回	○月○日	動物防疫学 動物検疫の目的と方法について			動物検疫の目的と方法について 動物検疫の基本的な方法や手順を理解し、説明できる				PowerPoint	
第12回	○月○日	動物防疫学 集団感染を防ぐ目的と方法について			集団感染を防ぐ目的と方法について 集団感染を防ぐための目的とその重要性を説明できる				PowerPoint	
第13回	○月○日	試験範囲の復習			試験対策のポイント、復習 試験対策のポイントをまとめ、復習することができる				試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施			受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる				単位認定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説			試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法 ²										
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 確認テスト:授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点～90点		
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優(A):89点～80点		
③課題レポート							なし	良(B):79点～70点		
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点～60点		
⑤作品							なし	不可(E):59点以下		
⑥出席				1位			10			
							不合格の場合	再試験1回まで実施		

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	(井田亜由美)			
				実務経験紹介	二			

2025年度シラバス

科目名	動物関連法規			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		動物業界の関連法規を覚える 仕事をする上での法律を覚える						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		愛玩動物飼養管理士2級の合格レベルの知識を覚える						
受講条件		ペット総合科在籍						
教科書名		愛玩動物飼養管理士教本			教材名	PowerPoint		
設備名・機器名		プロジェクター、スクリーン、PC			関連サイト	https://www.jpc.or.jp/kanrishi		
関連前科目		愛玩動物飼養管理学			関連後科目	愛玩動物飼養管理学		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について、 法令を学ぶ意義・必要性	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 自己紹介、法令を学ぶ意義や必要性を理解する 法令の体系、法令の構造を理解し説明することができる				教本 P.246～251 PowerPoint	
第2回	○月○日	動物関係法令の概要 動物愛護管理法の概要	動物関係法令の概要を理解する 産業・実験・展示・実験動物の法令を知る 動物愛護管理法の概要、基本原則と飼い主の責任を説明することができる				教本 P.251～259 PowerPoint	
第3回	○月○日	保管基準 所有の明示措置	家庭・展示・実験・産業動物の保管基準を知る 所有者の特定も明確化（個体識別）の方法を理解し説明することができる				教本 P.259～276 PowerPoint	
第4回	○月○日	動物取扱業（第一種）	経緯と目的、仕組みと対象業種、対象動物と遵守基準、罰則を理解し説明することができる				教本 P.413～422 PowerPoint	
第5回	○月○日	動物取扱業（第二種）	対象業種と対象動物、動物取扱業者の飼養管理上のポイントを理解し説明することができる				教本 P.423～433 PowerPoint	
第6回	○月○日	虐待と罰則 特定動物 周辺環境保全	動物虐待による罰則規定を理解する 特定動物の規制の目的と内容を理解する 迷惑問題と虐待問題の改善勧告・命令を理解する				教本 P.276～284 PowerPoint	
第7回	○月○日	ペットフード安全法	法律の概要、規制、取り組み、罰則を理解し説明することができる 確認テスト				教本 P.284～290 PowerPoint	
第8回	○月○日	狂犬病予防法	法律の制定、概要、罰則を理解する 狂犬病の症状や感染経路、致死率の高さについて説明できる				教本 P.290～296 PowerPoint	
第9回	○月○日	身体障害者補助犬法 廃棄物処理に関する法律 化製場等に関する法律	身体障害者補助犬法の概要、取り組み、罰則を理解する 一般廃棄物と産業廃棄物について理解する 化製場等に関する法律の目的と内容を理解する				教本 P.297～303 PowerPoint	
第10回	○月○日	野生動物などに関する法律 および条約	外来生物法の目的と選定、防除と輸入時の対応 種の保存法の目的と定義、規則および保護について 外来生物法と種の保存法の制定目的を説明できる				教本 P.304～316 PowerPoint	
第11回	○月○日	鳥獣保護法 自然環境保全法 自然公園法、文化財保護法	法律の制定と概要を理解する 鳥獣保護法の目的（鳥獣の保護と狩猟の適正化）を説明できる				教本 P.317～329 PowerPoint	
第12回	○月○日	その他の条約 個人情報保護法 労働三法	ワシントン条約、ラムサール条約、生物多様性条約、渡り鳥などの保護条約および協定 について仕事をする上での法律を理解する 確認テスト				教本 P.329～330 教本 P.401～412 PowerPoint	
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 対策プリントを仕上げる事が出来る				試験範囲説明 復習プリント	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 試験実施				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 復習する事が出来る				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題） 確認テスト：第7回、第12回の授業内で実施（10分）20問出題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	奥田 愛絵	シラバス承認者	井田亜由美		授業担当教員	奥田 愛絵		
					実務経験紹介	-		

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	グルーミング基礎学Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	サロントリマー検定1級 3級 JKCトリマーライセンス C級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	グルーミングの必要性と目的、効果。グルーミングを行う上での犬体の構造、獣医学、衛生と消毒、各種専門用語を覚える。 ビジネスとして仕事をしていくうえで、グルーマーとしてお客様に満足していただける技術や心構えを身につける。 また、お客さまから信頼されるトリマーの知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. グルーマー・トリマーとしての技術と知識を習得し、心得を熟知する 2. グルーミングの必要性、目的、効果を覚え、説明することができる 3. 犬の取り扱いを覚え、グルーミング実習に繋げることができる							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	子犬のへや https://www.koinuno-heya.com/index.html		
関連前科目	該当なし				関連後科目	グルーミング基礎学Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について 道具の説明・取り扱い方 (ブラシ類)	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 道具の説明、取り扱い<スリッカー・ブラシ、ピン・ブラシ、コーム> 授業の必要性を理解し、道具の取り扱い方(ブラシ類)説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P40～P45	
第2回	○月○日	道具の説明・取り扱い方(爪切り 鉗子)	シート・ウィッグを使用してスリッカー・ブラシ、コームの練習 道具の説明、取り扱い<爪切り、鉗子> 道具の取り扱い方(爪切り 鉗子)の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P40～P45	
第3回	○月○日	道具の説明(シザー) シザーの種類と構造	はさみの保定方法(持ち方の練習)、ハサミの各部の名称、構造、種類 道具の説明、取り扱い<はさみ類> 道具の取り扱い方(シザー)の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P47～P50	
第4回	○月○日	道具の説明(クリッパー)	道具の説明、取り扱い<クリッパー> クリッパーの作動確認、分解掃除方法演習 道具の取り扱い方(クリッパー)の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P46～47	
第5回	○月○日	道具の説明(ナイフ、トリミング テーブル、ドライヤー)	道具の説明、取り扱い<ナイフ類、トリミングテーブル、ドライヤー>について 道具の取り扱い方(ナイフ、トリミングテーブル、ドライヤー)の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P51～52	
第6回	○月○日	各部位の構造と手入れ 確認テスト	耳、爪、肛門嚢、目、口腔内の手入れについて 道具の取り扱い方確認テスト 各部位のお手入れ方法の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P18～23	
第7回	○月○日	グルーミングにおける衛生管理(感 染症と予防)	グルーミングにおける衛生管理(感染症とその予防) 感染症の種類と予防方法の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P274	
第8回	○月○日	グルーミングにおける衛生管理(消 毒薬について)	グルーミングにおける衛生管理(消毒薬について) 消毒薬について説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P271～P276	
第9回	○月○日	グルーミングにおける衛生管理(消 毒薬の使用方法和ワクチン)	グルーミングにおける衛生管理(消毒の使用方法和ワクチンについて) 消毒の使用方法和ワクチンとは何か説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P279～P285	
第10回	○月○日	ショップにおける基礎知識と受付、 対応について(基本とマナー)	ペット・ショップとは(仕事の基本とマナー) ペットショップの仕事内容を5つ挙げることができる				Dog Groomers Professional Work Book、P296～P301	
第11回	○月○日	ショップにおける基礎知識と受付、 対応について(ペット販売・トリミ ング・ペット動物飼の預かり)	ペット動物の販売・トリミング・ペット動物の預かり ペットショップでの仕事内容を説明できる				Dog Groomers Professional Work Book、P302～P303	
第12回	○月○日	犬のアクシデント 信頼されるトリマー	アクシデントが起こった場合の対処 お客さまから信頼されるトリマーになるために必要なこと アクシデントが起こった場合の対処方法を3つ挙げることができる				PowerPoint	
第13回	○月○日	各種トリマーライセンスの説明	トリマーライセンス受験をする心得、マナー AAV・JKCライセンス取得・更新・義務研修について 各種ライセンスの取得方の説明ができる				PowerPoint	
第14回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験実施				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題解答を行い、前期復習ができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分) 70問(選択問題、空白記入問題) 確認テスト：第6回第8回の授業内で実施(15分) 30問出題 授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D)：69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

2025年度シラバス

科目名	グルーミング基礎学Ⅱ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	サロントリマー検定1級 3級 JKCトリマーライセンス C級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	グルーミングの必要性と目的、効果。グルーミングを行う上での犬体の構造、獣医学、衛生と消毒、各種専門用語を覚える。 ビジネスとして仕事をしていくうえで、グルーマーとしてお客様に満足していただける技術や心構えを身につける。 また、お客さまから信頼されるトリマーの知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. グルーマー・トリマーとしての技術と知識を習得し、心得を熟知する 2. グルーミングの必要性、目的、効果を覚え、説明することができる 3. 犬の取り扱いを覚え、グルーミング実習に繋げることができる							
受講条件	ペット総合科に在籍 グルーミング基礎学Ⅰ単位取得した者							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	子犬のへや https://www.koinuno-heya.com/index.html		
関連前科目	グルーミング基礎学Ⅰ				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	日常のケア	基本的なお手入れ方法について 基本的なお手入れの仕方を説明できる				Dog Groomers Professional Work Book、P12～P13	
第2回	○月○日	犬体各部の専門用語 (頭部・耳・鼻)	犬体各部の専門用語 頭部、耳、鼻 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第3回	○月○日	犬体各部の専門用語 (目・口吻・頸)	犬体各部の専門用語 目、吻、頸 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第4回	○月○日	犬体各部の専門用語 (胴・腰尻・肢)	犬体各部の専門用語 胴、腰尻、肢 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第5回	○月○日	犬体各部の専門用語 (肢勢・尾)	犬体各部の専門用語 肢勢、尾 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第6回	○月○日	犬体各部の専門用語 (被毛)	犬体各部の専門用語 被毛 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第7回	○月○日	犬体各部の専門用語 (毛色)	犬体各部の専門用語 毛色 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第8回	○月○日	犬体各部の専門用語 (歩様)	犬体各部の専門用語 歩様 犬体各部の専門用語をそれぞれ説明できる				PowerPoint	
第9回	○月○日	グルーミング用語 (グルーミング・トリミングについて)	グルーミングに対する専門用語（グルーミング・トリミングについて） グルーミング専門用語の説明ができる				PowerPoint	
第10回	○月○日	グルーミング用語 (カッティング・チップング・ ブラッキング・ストリップング)	グルーミングに対する専門用語（カッティング・チップング・ブラッキング・スト リップング）グルーミング専門用語の説明ができる				PowerPoint	
第11回	○月○日	洗浄剤とケア製品についての知識 (歴史と仕組み)	洗浄剤の歴史と仕組み 犬の被毛について 洗浄剤の仕組みと選び方の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P288～P292	
第12回	○月○日	洗浄剤とケア製品についての知識 (シャンプー・リンスについて)	犬用シャンプー・リンスについて リンス、コンディショナーの役割と効果 犬用シャンプー・リンスの基本的な役割の説明ができる				Dog Groomers Professional Work Book、P293～P295	
第13回	○月○日	試験範囲の復習・まとめ	試験対策のポイント、復習				試験範囲説明 復習プリント	
第14回	○月○日	単位認定試験	成績判定試験実施				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題解答を行い、前期復習ができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題、空白記入問題） 確認テスト：第6回第8回の授業内で実施（10分）20問出題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		3位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/			

2025年度シラバス

科目名 ¹		犬種別トリミング学Ⅰ			学科名 (コース名)		ペット総合科		学年	1 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分 ⁵	民間検定			
教育課程区分	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	サロントリマー検定 JKCトリマーライセンス			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		犬種別のグルーミング方法。トリミングの基礎であるベーシックを学習。短毛犬種、中型犬種、大型犬種など、犬種別のグルーミングの知識を覚える。 ブラッシング・爪切り・耳掃除など基本的知識を身につけ、多くの犬種のベーシックができるようになる。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		様々な犬種のベーシック・グルーミング（基本的な手入れ）が確実にできるようになる。 全コースの学生が簡単なトリミング（無駄毛のカット）ができる。								
受講条件		ペット総合科在籍								
教科書名		最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名 ¹	PowerPoint			
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン PC				関連サイト ¹	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/			
関連前科目		該当なし				関連後科目 ¹	犬種別トリミングⅡ			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	○月○日	自己紹介 授業開始について グルーミングの必要性		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 ・進め方 グルーミングの重要性 授業の必要性や目的を理解し、グルーミングの必要性を説明できる					Dog Groomers Professional Work Book、P12～P13	
第2回	○月○日	グルーマー（トリマー）の心得		グルーマー（トリマー）が心得ておかなければならないこと グルーマーとしての心得とは何か、説明できる					Dog Groomers Professional Work Book、P12～P13	
第3回	○月○日	犬の体のつくり 犬体名称 断尾・断耳について		グルーミングを行う上で必要な体温・脈拍・呼吸数を覚える 犬の主な犬体部位名称 犬の体作りや犬体名称を理解し、説明できる					Dog Groomers Professional Work Book、P15～P17	
第4回	○月○日	骨格名称、美容的名称 モデル犬の取り扱い方		骨格・美容的な名称 モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える 骨格名称や美容名称を理解し、説明できる					Dog Groomers Professional Work Book、P14	
第5回	○月○日	モデル犬の取り扱い方 (オス犬メス犬幼齢犬高齢犬)		モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える オス・メス、幼齢犬・高齢犬の取り扱い方 モデル犬の正しい取り扱い方法や留意点が説明ができる オス・メスや幼齢犬・高齢犬の特徴を理解し、適切な対応方法を説明できる					最新ドッググルーミングマニュアル P28～P31	
第6回	○月○日	被毛と皮膚、耳の構造、 歯列・咬合について 確認テスト（犬体名称）		犬の被毛・皮膚の構造、耳の構造、歯列・咬合を覚える 犬の被毛・皮膚・耳の構造・歯列・咬合理解し、健康管理が出来るようになる					最新ドッググルーミングマニュアル P13～P16	
第7回	○月○日	ボメラニアンの基本トリミング（足回り、耳先、お尻周り）		スタンダード解説 足周り、耳先、お尻周りのカット ボメラニアンのスタンダードを理解し、基本のカットが出来るようになる					Dog Groomers Professional Work Book、P240～P241	
第8回	○月○日	ボメラニアンの基本トリミング（アンダーライン 尾軸 パンティーフェザー） 確認テスト（最終名称）		アンダーライン、尾軸の付け根、パンティー・フェザーのカット アンダーライン、尾軸、パンティーフェザーを理解し、カット出来るようになる					Dog Groomers Professional Work Book、P242～P249	
第9回	○月○日	ブードル犬種のトリミング方法（顔）		スタンダード解説 ベーシック・クリップ（顔部） ブードルのスタンダードを理解し、ベーシッククリッピングの説明ができる					Dog Groomers Professional Work Book、P76～P81	
第10回	○月○日	ブードル犬種のトリミング方法（足先、下腹部）		ベーシック・クリップ（足先、下腹部） ベーシッククリッピング（足先、下腹部）刈り方の説明ができる					Dog Groomers Professional Work Book、P76～P81	
第11回	○月○日	ブードル犬種のトリミング方法（Vネック・Uネック）		ベーシック・クリップ（Vネック・Uネック） ベーシッククリッピング（Vネック・Uネック）刈り方の説明ができる					Dog Groomers Professional Work Book、P76～P81	
第12回	○月○日	ブードル犬種のトリミング方法（尾軸・肛門周囲）		ベーシック・クリップ（尾軸・肛門周囲） ベーシッククリッピング（尾軸・肛門周囲）刈り方の説明ができる					Dog Groomers Professional Work Book、P76～P81	
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習 試験ポイントを説明し、復習プリントを仕上げる事ができる					試験範囲説明 復習プリント	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 試験実施					成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 試験問題解答を行い、前期復習ができる					試験解説	
成績評価方法										
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題、空白記入問題） 確認テスト：第6回第8回の授業内で実施（10分）20問出題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点		
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）： 89点～80点		
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点		
④授業態度				2位	1位		20	可（D）： 69点～60点		
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下		
⑥出席							10			
							不合格の場合	再試験1回まで実施		

2025年度シラバス

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小山 美優貴
				実務経験紹介	ニ
更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名		健康管理学			学科名 (コース名)		ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定			
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士1級・2級 サロントリマー検定1級・3級			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		犬・猫の病気について、各コース共通で必要な知識を覚える。 犬・猫の病気について学び知識を身につける。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		飼養されているペットのオーナーに説明ができ、指導が出来るように知識を増やし、的確な助言ができる。 愛玩動物飼養管理士1級・2級 サロントリマー検定1級・3級の合格を目指す								
受講条件		ペット総合科 在籍								
教科書名		(1) めざせ早期発見！ わかる犬の病気 (2) 猫の教科書			教材名	PowerPoint				
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン PC			関連サイト	みんなのどうぶつ病気大百科 https://www.anicom-sompo.co.jp/doubutsu_pedia/				
関連前科目		基礎看護学			関連後科目	該当なし				
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について トリミング前に確認したい全身チェックとつづる病気			授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 体調異常のチェック 全身チェックの具体的な手順とポイントの説明ができる				わかる犬の病気 P2～16	
第2回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(人畜共通感染症・皮膚)			人畜共通感染症 皮膚のつくりと働き 人畜共通感染症の感染経路や症状の説明ができる				わかる犬の病気 P14～15	
第3回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(皮膚の異常とアレルギー)			皮膚の異常とアレルギーについて 皮膚の健康状態の基本的なチェックポイントを説明ができる				わかる犬の病気 P18～29	
第4回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(皮膚の感染症)			皮膚の感染症について 皮膚の感染症の種類と原因を理解し、それぞれの特徴を説明ができる				わかる犬の病気 P31～39	
第5回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(耳の病気)			耳の病気について 耳の病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P40～49	
第6回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(目の病気)			目の病気について 目の病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P50～59	
第7回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(鼻の病気)			鼻の病気について 鼻の病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P60～67	
第8回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(口の病気)小テスト			口の病気について 口の病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P60～67	
第9回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(お尻・お腹まわりの病気)			おしり・お腹まわりの病気 おしり・お腹まわりの病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P68～77	
第10回	○月○日	早期発見するための部位別病気の知識(足・膝・腰まわりの病気)			足先・膝・腰まわりの病気 足先・膝・腰まわりの病気の種類と原因を理解し、それぞれの症状の説明ができる				わかる犬の病気 P78～85	
第11回	○月○日	正しい清掃と消毒方法の基礎知識 ワクチンの基礎知識			正しい清掃・消毒方法・ワクチンの種類について 正しい清掃と消毒方法を理解し、ワクチンの種類と接種の重要性を説明ができる				わかる犬の病気 P102～110	
第12回	○月○日	猫の健康(健康チェック)			猫の健康チェックについて 猫の部位ごとの健康チェックポイントを理解し、それぞれの説明ができる				猫の教科書 P102～109	
第13回	○月○日	猫の健康(病気について)			猫の罹患率の高い病気について かかりやすい病気の種類と特徴を説明できる				猫の教科書 P102～109	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施			受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説			試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法										
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする										
↓判定方法へ該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点		
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点		
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点		
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点		
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下		
⑥出席							10			
							不合格の場合	再試験1回まで実施		
シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	築山 清美					
				実務経験紹介	二					

2025年度シラバス

科目名	基礎看護学			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬や猫の健康状態を評価するために必要なバイタルサインの基礎的な知識や測定方法を学ぶ。また、けがや急病などの緊急時に求められる応急対応や、ワクチン接種・寄生虫予防などの基礎知識について理解を深める。動物と飼い主の安心・安全を支えるために、現場で役立つ実践的な知識と対応力を身につけることを目的とする。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・動物のバイタルサイン(体温、脈拍、呼吸数、BCS、CRTなど)を理解し、適切に測定・評価できるようになる ・骨折、出血、誤食、けいれん、創傷などの応急対応について理解し、状況に応じた初期対応が考えられるようになる ・交通事故や災害時などの緊急搬送について、適切な対応ができるようになる ・犬猫のワクチンや感染症、ノミ・マダニ、フィラリアなどの予防知識を習得し、飼い主への説明ができるようになる ・避妊・去勢手術の意義とリスクについて正しく理解し、飼い主へ伝えられるようになる							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	愛玩動物飼養管理士2級1巻				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン				関連サイト	https://www.kango-roo.com/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業概要説明 バイタルサインとは 体温	授業概要の説明 バイタルサインとは何か理解し、犬と猫の体温の測定方法・基準値が説明できる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第2回	○月○日	数字で表せるバイタルサイン 脈拍、心拍、呼吸数	犬・猫の脈拍・心拍・呼吸数の測定方法と基準値の説明ができる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第3回	○月○日	数字で表せないバイタルサイン (BCS、CRT、可視粘膜色) バイタルサイン小テスト	数字で表せないバイタルサインの項目を理解し、小テストで70%以上を得点する。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第4回	○月○日	心肺蘇生について	動物の一次救命(気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ)の重要性を理解し、模型に対し実施できる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第5回	○月○日	応急処置対応 (骨折・止血)	骨折しやすい部位とその原因、出血のメカニズムを学び、処置方法を理解する。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第6回	○月○日	交通事故と救急搬送	交通事故で負傷したペット・野生動物それぞれに適切な対応方法を知る。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第7回	○月○日	応急処置対応 (眼球突出、誤食、けいれん)	眼球突出、誤食、けいれんの危険性を知り、適切な対処方法の説明ができる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第8回	○月○日	応急処置対応 (創傷)	主な創傷の種類とその原因を知り、その対策を考えることができる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第9回	○月○日	感染について 猫の混合ワクチン	感染性率の要因と、猫の混合ワクチンで予防できる病気の特徴を学び、小テストで70%以上を得点する。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第10回	○月○日	犬の混合ワクチン狂犬病ワクチン	犬の混合ワクチンで予防できる病気の特徴と、狂犬病予防法について学び、小テストで70%以上を得点する。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第11回	○月○日	ノミ・マダニ予防	ノミ・マダニ予防の重要性を知り、飼い主にむけての説明ができる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第12回	○月○日	フィラリア予防	フィラリアのライフサイクルと感染後の症状を知り、飼い主にむけての説明ができる。				愛玩動物飼養管理士2級1巻	
第13回	○月○日	避妊・去勢手術	避妊手術・去勢手術のメリット・デメリットを理解し、飼い主にむけて説明ができる。				試験範囲説明	
第14回	○月○日	成績判定試験	受験前の振り返り、受験 授業の内容を振り返り、テストを実施する				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 テスト結果を分析し、学習の改善に活かす				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 確認テスト:授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位	1位			20	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥出席							10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	西田沙季	シラバス承認者	井田亜由美		授業担当教員	西田沙季		
					実務経験紹介	-		

2025年度シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	通期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士 2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物飼養管理士試験【2級】に関連する内容を覚える。 愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	愛玩動物(犬・猫・小動物等)の正しい飼育方法と管理技術を理解し、説明できる 愛玩動物飼養管理士2級に合格する。							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	愛玩動物飼養管理士【2級】教本 第1・2巻				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	公益社団法人 日本愛玩動物協会 https://www.jpc.or.jp/kanrishi/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	愛玩動物飼養管理士 特論		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 日本愛玩動物協会の目的・事業	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 愛玩動物に関する基本的な知識を得る	愛玩動物飼養管理士2級教本
第2回	○月○日	愛玩動物飼養管理士について ボランティア活動の捉え方	愛玩動物飼養管理士について、ボランティア活動の捉え方 愛玩動物飼養管理士の役割を理解し、動物福祉の重要性を知る	愛玩動物飼養管理士2級教本
第3回	○月○日	生命倫理・動物福祉について	生命倫理と動物生命倫理について 生命倫理の基本概念を理解し、動物生命倫理の重要性の説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第4回	○月○日	動物福祉の概念	動物福祉の考え方 5つの自由 動物愛護運動 動物福祉の基本概念を理解し、5つの自由の内容とその重要性を説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第5回	○月○日	日本の動物愛護運動	日本の動物愛護運動 多様化する動物論理 動物愛護活動の主な取り組みや課題について理解し、説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第6回	○月○日	アニマル・アドボケートとは ペットの終末期医療	アニマルアドボケート・ペットの終末期医療について アニマルアドボケートとは何か説明でき、終末期医療に関する基本的な知識を得る	愛玩動物飼養管理士2級教本
第7回	○月○日	愛玩動物の福祉 産業動物の福祉	愛玩動物の適正飼養、動物保護活動、産業動物の飼養管理について 愛玩動物の適正飼養の基準や法律、動物保護活動の現状を説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第8回	○月○日	国際的な福祉基準 展示動物における福祉の問題	国際的な福祉基準とは 展示動物における福祉の問題について 国際的な福祉基準と展示動物における福祉の問題の現状を説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第9回	○月○日	展示動物における環境	展示動物における環境エンリッチメントの種類と内容 環境エンリッチメントの種類と具体例を挙げることができる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第10回	○月○日	動物の体の仕組みと働き	体の基本の仕組み・体の成り立ち 生体の基本構造の説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第11回	○月○日	動物の体の仕組みと働き (消化器系の構造)	動物の体の仕組み(消化器系の構造) 消化器系の基本構造を理解し、消化過程の説明ができる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第12回	○月○日	動物の体の仕組みと働き (皮膚と感覚器)	動物の体の仕組み(皮膚と感覚器) 皮膚の構造と役割、感覚器の構造の説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第13回	○月○日	動物の体の仕組みと働き (特殊感覚)	動物の体の仕組みと働き 特殊感覚の種類と役割の説明できる	愛玩動物飼養管理士2級教本
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題
確認テスト:授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席						10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	築山 清美
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名		愛玩動物飼養管理学Ⅱ			学科名 (コース名)		ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	通期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定			
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士 2級			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		愛玩動物飼養管理士試験【2級】に関連する内容を覚える。 愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		愛玩動物(犬・猫・小動物等)の正しい飼育方法と管理技術を理解し、説明できる 愛玩動物飼養管理士2級に合格する。								
受講条件		ペット総合科在籍 愛玩動物飼養管理学Ⅰ 単位取得した者								
教科書名		愛玩動物飼養管理士【2級】教本 第1・2巻				教材名	PowerPoint			
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	公益社団法人 日本愛玩動物協会 https://www.jpcc.or.jp/kanrishi/			
関連前科目		愛玩動物飼養管理学Ⅰ				関連後科目	愛玩動物飼養管理士 特論			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第2回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第3回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第4回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第5回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第6回	○月○日	試験対策 (課題問題集)		試験対策(課題問題集より出題) 出題された課題問題を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第7回	○月○日	試験対策(模擬試験)		試験対策(模擬試験) 出題された模擬試験を解くことができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第8回	○月○日	試験対策(模擬試験解説)		試験対策(模擬試験解説) 解説を行い、苦手分野を明確にする					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第9回	○月○日	代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(ウサギ)		代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(ウサギ) ウサギの基本的な生態の特徴を説明できる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第10回	○月○日	代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(ハムスター・モルモット)		代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(ハムスター・モルモット) ハムスター・モルモットの基本的な生態の特徴を説明できる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第11回	○月○日	代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(フェレット・チンチラ)		代表的なエキゾチックアニマルの適切な管理方法(フェレット・チンチラ) フェレット・チンチラの基本的な生態の特徴を説明できる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第12回	○月○日	爬虫類の適切な飼養管理方法		爬虫類の適切な飼養管理方法 爬虫類の基本的な生態と特徴の説明ができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第13回	○月○日	爬虫類の適切な飼養管理方法		爬虫類の適切な飼養管理方法 爬虫類の基本的な生態と特徴の説明ができる					愛玩動物飼養管理士2級教本	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる					成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる					試験解説	
成績評価方法										
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 確認テスト:授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点		
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優(A): 89点~80点		
③課題レポート							なし	良(B): 79点~70点		
④授業態度				2位	1位		10	可(D): 69点~60点		
⑤作品							なし	不可(E):59点以下		
⑥出席				1位			10			
							不合格の場合	再試験1回まで実施		

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	築山 清美
				実務経験紹介	

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	動物行動学			学科名（コース名）	ペット総合科			1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）		動物が行動する原理を知る						
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）		犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。						
受講条件		ペット総合科在籍						
教科書名		該当なし				教材名	PowerPoint「動物行動学」	
設備名・機器名		プロジェクター・PC				関連サイト	該当なし	
関連前科目		該当なし				関連後科目	該当なし	

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物行動学の基本概念	【内容】授業の必要性・概要・目的についての説明 動物行動学の4つの分野/行動の進化と適応 【目標】動物行動学の4分野を正しく分類し、各分野の役割を理解できる	PowerPoint「動物行動学」①
第2回	○月○日	維持行動の意味と効果	【内容】摂食、飲水行動、排泄行動、身づくろい行動、休憩行動について 【目標】生理的行動(摂食、排泄など)を5種類以上挙げ、それぞれの特徴を説明できる。	PowerPoint「動物行動学」②
第3回	○月○日	発達過程と社会行動①	【内容】社会行動とは/生殖行動、犬のコミュニケーション行動について 【目標】社会行動の定義を説明し、生殖行動と犬のコミュニケーション行動を2例ずつ挙げて説明できる。	PowerPoint「動物行動学」③
第4回	○月○日	小テスト 発達過程と社会行動②	【内容】小テスト(3回目までの復習)猫のコミュニケーション行動/敵対行動と親和行動について 【目標】猫のコミュニケーション行動を3種類以上挙げ、敵対・親和行動の違いを説明できる。	PowerPoint「動物行動学」④
第5回	○月○日	行動発現のしくみ	【内容】行動の動機付けと脳による行動の制御/行動の周期性 【目標】行動の動機付けの要因を3つ以上説明し、周期性の基本概念を理解できる。	PowerPoint「動物行動学」⑤
第6回	○月○日	行動の発達	【内容】行動の周期性/行動の発達ステージについて 【目標】日リズムと年リズムの違いを説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑥
第7回	○月○日	小テスト 行動の学習	【内容】小テスト(4～6回目までの復習) 馴化・感作・般化・レスポナント条件付け・オペラント条件付けについて 【目標】馴化感作般化の違いを説明できる レスポナント条件付け・オペラント条件付けとは何かをそれぞれ説明できる	PowerPoint「動物行動学」⑦
第8回	○月○日	問題行動①	【内容】オペラント条件付けについて 【目標】オペラント条件付けの4つの基本型(正の強化・負の強化・正の弱化・負の弱化)を説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑧
第9回	○月○日	問題行動②	【内容】問題行動とは/問題行動におけるプロの役割について 【目標】問題行動の定義を説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑨
第10回	○月○日	小テスト 問題行動③	【内容】問題行動診療と治療の手順(条件付け)について 【目標】問題行動の診療の流れを説明し、条件付けを用いた基本的な治療法を1つ以上説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑩
第11回	○月○日	犬と猫における主な問題行動①	【内容】小テスト(7～9回目までの復習) 問題行動の治療法(薬物療法、不妊手術等)について 【目標】問題行動に対する薬物療法と不妊手術の目的をそれぞれ説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑪
第12回	○月○日	犬と猫における主な問題行動②	【内容】恐怖・不安・排泄・常同の行動 【目標】恐怖・不安・常同行動の違いを3つ以上の例を交えて説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑫
第13回	○月○日	小テスト 犬と猫における主な問題行動③	【内容】小テスト(10～12、13回目までの復習) 老齢性認知機能低下の原因と症状と対応について 【目標】老齢性認知機能低下に関する原因・症状・対応方法を各2点以上挙げて説明できる。	PowerPoint「動物行動学」⑬
第14回	○月○日	授業振り返り/成績判定試験	【内容】受験前の振り返り 試験実施を実施 【目標】70%以上正答する。	単位認定試験用紙 +F19:M26F25F20:M26FD1 3:M26+F20:M26
第15回	○月○日	テスト返し/解説	【内容】試験問題の答え合わせと解説 テスト結果を分析し、学習の改善に活かす 【目標】誤答問題の原因を3つ以上分析し、改善点を具体的に記述できる。	試験用紙・PowerPoint「動物行動学」⑭

成績評価方法

2

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一式問題)
確認テスト:全4回確認テスト実施 第4回授業内で実施(5点分)、第7回授業内で実施(5点分)、第11回授業内(5点分)、第13回授業内(5点分)
授業態度:20点満点で10点スタートの加減点法(遅刻・早退居眠りや私語等はその度に1点減点、発表や質問その度には1点加点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S):100点～90点	
②確認テスト	1位					10	優(A): 89点～80点	
③課題レポート						なし	良(B): 79点～70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点～60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥出席			1位			10		
						不合格の場合	再試験1回まで実施	

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	辻田 西由美	授業担当教員	小笠原 季輝
---------	--------	---------	--------	--------	--------

2025年度シラバス

シラバス作成者	小笠原 才郎	シラバス作成者	石田 亜由美	実務経験紹介	-			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名	小動物飼育学Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	生態や習性の違う動物たちを飼育する時に注意すべき事項を学ぶ。 また、その動物についてを理解した上で、飼育動物の生活の質（ＱＯＬ）の向上を考えることができるようになる。 一般的に飼育されている小動物たちの、適正とされる飼育ができるようになる。 主体性を持って、自らがその動物のことを考え、飼育環境改善を行うことができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・生態や習性、形態の違う動物たちの飼育を説明できる。 ・主体性を持って、動物たちのより良い飼育環境改善を行うことができるようになる。							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	愛玩動物飼養管理士2級 第2巻				教材名	PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ」（授業担当者作成）、プリント「動物を用いる実習及び飼育倫理規定≪一部抜粋≫」		
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン				関連サイト	環境省「動物の愛護と適切な管理」 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/index.html		
関連前科目	なし				関連後科目	小動物飼育学Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業概要説明/主体性とは	授業の必要性・概要・目標・目的についての説明・進め方について 主体性とは何か説明できる。				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 1回目」	
第2回	○月○日	エキゾチックアニマルとは/ “食性”とは	小動物(エキゾチックアニマル)とはどのような動物をいうか説明できる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 2回目」	
第3回	○月○日	飼育当番のルール	「動物の愛護及び管理に関する法律」第2条 基本原則を要約することができる。				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 3回目」	
第4回	○月○日	ウサギの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のウサギの生態・習性を知り、本校におけるウサギの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 4回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第5回	○月○日	ハムスターの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のハムスターの生態・習性を知り、本校におけるハムスターの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 5回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第6回	○月○日	モルモットの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のモルモットの生態・習性を知り、本校におけるモルモットの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 6回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第7回	○月○日	チンチラの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のチンチラの生態・習性を知り、本校におけるチンチラの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 7回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第8回	○月○日	フェレットの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のフェレットの生態・習性を知り、本校におけるフェレットの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 8回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第9回	○月○日	ハリネズミの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のハリネズミの生態・習性を知り、本校におけるハリネズミの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 9回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第10回	○月○日	フクロモモンガの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のフクロモモンガの生態・習性を知り、本校におけるフクロモモンガの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 10回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第11回	○月○日	セキセイインコ・オカメインコの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のセキセイインコとオカメインコの生態・習性を知り、本校におけるセキセイインコとオカメインコの飼育方法で飼育ができる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 11回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第12回	○月○日	終生飼育を考える① ≪グループワーク≫	この授業を受けて、考えたこと感じたことをグループ単位で意見交換し、飼育の注意喚起ポスターを作成できる				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 12回目」 愛玩動物飼養管理士2級 第2巻	
第13回	○月○日	終生飼育を考える② ≪グループワーク≫	前回の授業にて、グループ内でまとめた意見をクラス内で発表できる				Googleフォーム「グループワーク評価シート」	
第14回	○月○日	授業振り返り／成績判定試験	授業振り返り後、成績判定試験（記述試験）（50分）				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験振り返り（解説）	試験問題解説				PowerPoint「小動物飼育学Ⅰ 15回目」	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分間) 記述試験 授業態度：減点方式（遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点） 作品：第12-13回にて作成するまとめポスターを作成し、発表。評価基準や詳細は第11回にて提示・説明 出席：欠席回数にてより加点（欠席0回＝10点、1回＝5点、2回＝3点、3回＝1点） 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品			1位			2位	10	不可（E）：59点以下
⑥出席					1位		10	
							不合格の場合	再試験

シラバス作成者	徳永 安衣	シラバス承認者	北村 昌樹	授業担当教員	北村 昌樹
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/

2025年度シラバス

科目名 ¹	愛犬飼育管理学				学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定		
教育課程区分	必修	単位数 ⁶	1	時間数 ⁷	30	該当資格名称 ¹	JKC愛犬飼育管理士		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		動物を取り扱う為に必要な法律、代表的な感染症、基本知識などを覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		JKC愛犬飼育管理士資格試験に合格するために必要な知識を習得し、JKC愛犬飼育管理士に合格する。							
受講条件		ペット総合科在籍、JKCクラブ会員学生							
教科書名 ¹		JKC愛犬飼育管理士教本				教材名 ¹	PowerPoint		
設備名・機器名 ¹		プロジェクター、スクリーン、PC				関連サイト ¹	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/		
関連前科目 ¹		該当なし				関連後科目 ¹	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について、犬学		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 犬の起源と進化、犬の感覚、犬の生態について説明できる				教本 P.137～145 PowerPoint	
第2回	○月○日	犬を飼う時の責任、飼育環境		犬を飼う時の責任、飼育環境について説明できる				教本 P.81～87 PowerPoint	
第3回	○月○日	健康管理と栄養		体調管理別、体の部分別チェックポイントを理解する 栄養素の役割と犬に有害となる食物を説明できる				教本 P.91～102 PowerPoint	
第4回	○月○日	感染症と予防接種、寄生虫症		感染症の感染経路、ワクチンの種類と接種方法、寄生虫症について説明できる				教本 P.103～112 PowerPoint	
第5回	○月○日	ズーノーシス		ズーノーシスの伝播経路、病原体、予防、感染症の代表例を説明できる				教本 P.113～123 PowerPoint	
第6回	○月○日	犬の繁殖学		犬の繁殖について心得、犬種標準の理解、出産について説明できる				教本 P.127～133 PowerPoint	
第7回	○月○日	動物愛護について		動物販売業者の職務と責任を理解することができる				教本 P.9～21 PowerPoint	
第8回	○月○日	動物の愛護及び管理に関する法律		動物の愛護及び管理に関する法律を理解することができる				教本 P.25～34 PowerPoint	
第9回	○月○日	第一種動物取扱業者		第一種動物取扱業者を理解することができる				教本 P.35～44 PowerPoint	
第10回	○月○日	飼養施設について		飼養施設の管理、飼養施設に備える設備の構造及び規模並びに当該設備の管理に関する事項を理解することができる				教本 P.45～61 PowerPoint	
第11回	○月○日	特定動物、犬及び猫の引取り、マイクロチップの取扱について		特定動物、犬及び猫の引取り、マイクロチップの取扱について理解することができる				教本 P.62～78 PowerPoint	
第12回	○月○日	猫、ウサギ、ハムスター		猫、ウサギ、ハムスターの快適な飼養環境やあげてはいけないものについて説明できる				教本 P.149～155 PowerPoint	
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習 対策プリントを仕上げる事が出来る				試験範囲説明 復習プリント	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 試験実施				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 復習する事が出来る				試験解説	
成績評価方法									
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題） 確認テスト：第7回、第12回の授業内で実施（10分）20問出題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席				1位			10		
							不合格の場合	再試験1回まで実施	

シラバス作成者	奥田 愛絵	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	奥田 愛絵
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	犬とのふれ合いから、基本となる家庭飼養に必要なしつけ方法を覚える。 犬のコントロール方法を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	病院、ショップで必要な基本的なしつけの実践ができる。 家庭での飼養に必要な基本的なしつけ方法（トイレトレーニング、ハウストレーニング、吠え癖・噛み癖などの問題行動の予防と修正）を習得し、日常的に実践できるようにする							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	該当なし				教材名	該当なし		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト	該当なし		
関連前科目	該当なし				関連後科目	家庭犬訓練Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について 初対面のワンちゃんとの接し方	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 モデル犬との接し方、実習中の注意事項（事故予防）、授業・成績について 初めて会うにはいけないこと この授業の必要性や目的を説明できる				-	
第2回	○月○日	訓練からみた犬の起源 ハウストレーニング	訓練からみた犬の起源（家畜化・共生・進化） リードの扱い方とカラーの選び方 ケージへの出し入れ方法を覚える ハウストレーニング方法の説明ができる				-	
第3回	○月○日	訓練からみた犬の起源 アイコンタクト（ステップ1）	犬生から家畜化へ Yesの使い方、アイコンタクト（ステップ1）を覚える 犬の学習において「Yes」の意味と効果を理解する アイコンタクトの意義と実践方法の説明ができる				-	
第4回	○月○日	訓練からみた犬の起源 アイコンタクト（ステップ2）	家畜化・共生・進化について アイコンタクト（ステップ2、3）の実践方法の説明ができる				-	
第5回	○月○日	犬の学習	観察学習、古典的条件づけについて トイレトレーニング、視覚の使い方 トイレのしつけと視覚の使い方を説明できる				-	
第6回	○月○日	犬の学習 道具的条件づけ ルアートレーニング	道具的条件づけについて ルアートレーニング 道具的条件づけの基本を理解し、ルアートレーニング方法の説明ができる				-	
第7回	○月○日	犬の学習 道具的条件づけ リードの使い方	道具的条件づけについて ルアートレーニング 道具的条件づけの基本を理解し、リード使い方の説明ができる				-	
第8回	○月○日	犬の感覚（嗅覚）	嗅覚について ウェイトの練習 犬の嗅覚の構造や能力について基礎知識の説明ができる				-	
第9回	○月○日	犬の感覚（視覚）	視覚について スタンド・ウェイトの練習 犬の視覚の構造や能力について基礎知識の説明ができる				-	
第10回	○月○日	犬の感覚（聴覚・味覚）	聴覚・味覚について ドアの出入り練習 犬の聴覚・味覚の構造や能力について基礎知識の説明ができる				-	
第11回	○月○日	犬の感覚（触覚）	触覚について カムの練習 犬の触覚の構造や能力について基礎知識の説明ができる				-	
第12回	○月○日	犬の先天的な能力 ボディーランゲージ	ボディー・ランゲージについて 犬の歩様について ボディーランゲージとは何か説明できる				-	
第13回	○月○日	犬の先天的な能力 カーミングシグナル	カーミングシグナルについて 復習 カーミングシグナルを5種類挙げることができる				試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） モデル犬使用の授業では教員の指示に従い行動できているか 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位		1位	1位	70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小泉 秀明			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/koizumi/			

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	パピーケアⅠ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		生後1ヵ月から1歳になるまでの犬について、しつけ・栄養・健康面の基礎知識を身につける。 飼い主との家族関係を踏まえ、アドバイスができる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		総合的視野から犬の成長に必要な基礎知識を覚える。 生後1ヵ月から1歳までの子犬の発育段階に応じた、基本的なしつけ方法・栄養管理・健康管理を理解し説明できるようになる						
受講条件		ペット総合科 2年生在籍						
教科書名		該当なし			教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト	該当なし		
関連前科目		該当なし			関連後科目	パピーケアⅡ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	自己紹介 授業について	自己紹介 授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 授業の必要性や目的を説明できる				—	
第2回	○月○日	ケアー	子犬の選び方、接し方、迎える準備 犬種や性格、ライフスタイルとの相性を考慮した子犬の選び方を理解し説明できる				配布プリント	
第3回	○月○日	仔犬と学ぶ	仔犬の叱り方、ほめ方、子犬と人の手の関係 子犬の学習特性や感情に配慮した、適切な叱り方・ほめ方の基本を説明できる				配布プリント	
第4回	○月○日	コマンドの確認 アイコンタクト タイミング確認	アイコンタクト、タイミングの確認 アイコンタクトを通じて、子犬が人に注目しやすくなる関係づくりの方法を説明できる				配布プリント	
第5回	○月○日	コマンドの確認 コマンド確認	コマンドの確認(マズル・コントロール、シャドーイング) 「マズル・コントロール(口周りの触れ方)」「シャドーイング(並走・同調動作)」の基本を理解し説明できる				配布プリント	
第6回	○月○日	チェック方法について	犬体チェックの基本手順を理解する 犬の社会化期(特に生後3週～14週)の行動的・心理的な特徴を理解し適切な刺激や経験を与える重要性を説明できるようになる。				配布プリント	
第7回	○月○日	幼年期 リード・カラーの使い方	リード・カラーの使い方 犬のサイズや性格、用途に応じたリード・カラーの種類と特徴を理解し安全に使用するための基本操作の説明ができる				配布プリント	
第8回	○月○日	幼年期 散歩の方法	散歩の方法 犬の年齢・体格・性格に応じた適切な散歩の時間・頻度・ルートを計画することができる				配布プリント	
第9回	○月○日	実技 実習トレーニング	実習トレーニング導入 動物との実習トレーニングを安全に行うための基本ルールを説明できる				配布プリント	
第10回	○月○日	実技 オビディエンス(パピー・スクールについて)	オビディエンス(パピー・スクールについて) ピー・スクールの重要性を理解し、社会化期における基本的なトレーニング内容(アイコンタクト、座れ、待て、リコールなど)を適切に実施できる				配布プリント	
第11回	○月○日	実技 オペラント条件づけ	オペラントの条件づけ オペラント条件づけの基本概念(強化、罰、消去など)を理解しその仕組みを犬の学習行動にどのように活用できるか説明できる				配布プリント	
第12回	○月○日	実技 おいで・まて	おいで・まて 「おいで」「まて」の基本的な概念とその重要性を理解し、トレーニング方法の説明ができる				配布プリント	
第13回	○月○日	実技(復習) ふせ・ヒール・スタンド	ふせ・ヒール・スタンド 「ふせ」「ヒール」「スタンド」の基本的な概念とその重要性を理解し、トレーニング方法の説明ができる				配布プリント	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 50選択問題、空白記入問題 確認テスト:授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位		1位	1位	60	秀(S):100点～90点
②確認テスト							なし	優(A):89点～80点
③課題レポート		1位		2位			10	良(B):79点～70点
④授業態度			2位	2位	1位	1位	20	可(D):69点～60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥出席				2位	1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	伊勢村 恵津子
				実務経験紹介	—

2025年度シラバス

科目名	グルーミングⅠ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	6	時間数	180	該当資格名称	全国動物専門学校協会 サロントリマー検定 3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 基本的なグルーミング（犬の全身のお手入れ全般を指す）方法を覚え、技術を身に付ける。今後コース選択をするために必要な必須科目。 トリマーコースは、後期の美容Ⅰ実習授業へ確実なグルーミングが行えるようになる。 ドッグトレーナー・ペットアドバイザーコースは、2年次に受験予定であるAAVサロントリマー3級資格取得試験を意識した各犬種のグルーミングができる。 【注意事項】グルーミングⅠは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 基本グルーミング・ベーシッククリッピング（犬が日常生活を衛生的に保つために必要な部分カット）に関する技術を修得し、目標時間（2時間30分）内に仕上げる。 犬の基本的なグルーミング技術（ブラッシング、シャンプー、ドライ、爪切り、耳掃除など）を正しく理解し、安全に実施できるようになる。							
受講条件	1 ペット総合科在籍							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint		
設備名・機器名	1 PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 該当なし				関連後科目	1 グルーミングⅡ 美容Ⅰ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位2								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	授業開始に伴って オリエンテーション 美容用具の配布・確認 美容実習室の設備・備品について		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 自己紹介(氏名・志望選択コース・飼養動物種のリサーチ) 美容用具の配布と種類の確認				PowerPoint
第4～6回	○月○日	美容実習授業時の安全管理 (注意点) 実習室取扱説明		実習時の服装・態度・準備物・注意事項 美容実習における安全管理の重要性を理解し、実習室でのルール・マナーを遵守して行動できる				PowerPoint
第7～9回	○月○日	美容実習の1日の流れ 実習当番の仕事		実習授業時の1日の流れ 実習当番の仕事 1日の美容実習の流れ(準備・実施・片付け・記録)を理解し、時間を意識した行動ができる				PowerPoint
第10～12回	○月○日	情報管理(お客様への手紙・カルテについて) ファッショングッズ作成(リボン)		お客様へのお手紙モデル犬カルテの記入ルールを理解し、正確かつ丁寧に情報を記録できる。犬用リボンを正しく作成し、美的感覚を養う。				PowerPoint
第13～15回	○月○日	愛玩動物の基本ケア (グルーミング実習観察)		教員によるモデルグルーミング 教員によるモデル犬のグルーミングを観察し、犬種ごとの特徴や扱い方を理解する				モデル犬
第16～18回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる グルーミングの流れ・基本的な手順・点検項目を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる グルーミングの流れ・基本的な手順・点検項目を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第22～24回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ブラッシング・耳掃除・爪切りの基本手順を覚え、正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第25～27回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ブラッシング・耳掃除・爪切りの基本手順を覚え、正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第28～30回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる ブラッシング確認テスト		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ブラッシング・耳掃除・爪切りの基本手順を覚え、正確に作業することができる ブラッシングが正しい手順で行えるか、ブラッシングの基本を理解できる				実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ペーjing(入浴)の基本手順を覚え、正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ペーjing(入浴)の基本手順を覚え、正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ペーjing(入浴)の基本手順を覚え、正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第40～42回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる ペーjing(入浴)の基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第43～45回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる クリッピングの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第46～48回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる クリッピングの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第49～51回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる ペーjing・クリッピング確認テスト		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる クリッピングの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる ペーjing・クリッピングが正しい手順で行えるか、ペーjing・クリッピングの基本を理解できる				実習用具 モデル犬
第52～54回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる ヒゲカット・足先カットの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第55～57回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる ヒゲカット・足先カットの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第58～60回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる ヒゲカット・足先カットの基本手順を覚え、正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第61～63回	○月○日	グルーミング実習(確認テスト) 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる グルーミングを正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第64～66回	○月○日	グルーミング実習 学生2名1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 中型犬 大型犬を仕上げる グルーミングを正確に作業することができる 中型犬・大型犬の扱い方を学び、安全に作業することができる				実習用具 モデル犬
第67～69回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる				実習用具 モデル犬
第70～72回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる				実習用具 モデル犬
第73～75回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる				実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第76～78回	○月○日	グルーミング実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げるができる	実習用具 モデル犬
第79～81回	○月○日	グルーミング実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げるができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 成績判定試験 モデル犬
第82～84回	○月○日	グルーミング実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げるができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 成績判定試験 モデル犬
第85～87回	○月○日	グルーミング実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げることができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 成績判定試験 モデル犬
第88～90回	○月○日	グルーミング実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げるができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 ベーシックを行う（学生2名で1頭仕上げる）
課題レポート：モデルグルーミング後レポートを提出（期限内に提出されたか、テーマに沿った内容構成ができているか）、犬用リボン提出（期限内に提出されたか、リボン作成に不備がないか）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにやっている、率先して掃除を行っている
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	50	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	1位		2位			20	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美+トリマー指導 教員	シラバス承認 者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美+トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	実務研修Ⅰ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 実際のペットショップ・動物病院に勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。 (1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる。 (2) ペット業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析する。 (3) ペット業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	2. 1. ペットショップ・動物病院の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
受講条件	ペット総合科 2学年在籍							
教科書名	該当なし				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	PC スクリーン プロジェクター				関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	実務研修Ⅱ		

授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	事前学習 業界研究	就職を希望するペットショップ・動物病院に関して、仕事の内容、仕事の条件、その業界内における当該企業の位置づけと将来性はどのようになっているのか等、自分自身の視点から調査・分析することができる	PowerPoint
第2回	○月○日	事前学習 実務研修の依頼	就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整	PowerPoint
第3回	○月○日	事前学習 実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう	PowerPoint
第4回	○月○日	実務研修：1日目 「社会人マナーの基本」	受入れ事業所で就業体験 職場での基本的なマナー（挨拶・服装・時間管理）を実践できる。	実習日報
第5回	○月○日	実務研修：1日目 「業務の流れを知る」	受入れ事業所で就業体験 スタッフの業務を観察し、ペットショップ/動物病院における仕事の流れを把握できる。	実習日報
第6回	○月○日	実務研修：1日目 「自分の気づきを振り返る」	受入れ事業所で就業体験 業務中に気づいた疑問点をまとめ、質問や振り返りを通じて自己分析を行える。	実習日報
第7回	○月○日	実務研修：2日目 「補助業務に挑戦する」	受入れ事業所で就業体験 簡単な指示に従って、清掃や在庫管理などの補助業務を自主的に行える。	実習日報
第8回	○月○日	実務研修：2日目 「プロの配慮を学ぶ」	受入れ事業所で就業体験 動物の扱い方や接客場面から、職業上求められる配慮や心構えをまとめられる。	実習日報
第9回	○月○日	実務研修：2日目 「適正を考える」	受入れ事業所で就業体験 実際の現場で働く中で、自分の得意・不得意を振り返り、業界との適性を考察できる。	実習日報
第10回	○月○日	実務研修：3日目 「コミュニケーション力を高める」	受入れ事業所で就業体験 現場のスタッフと円滑にコミュニケーションをとりながら、行動できる。	実習日報
第11回	○月○日	実務研修：3日目 「自分から動く」	受入れ事業所で就業体験 自分から「次にできること」を探し、積極的に業務を手伝う姿勢を見せられる。	実習日報
第12回	○月○日	実務研修：3日目 「実習の学びをまとめる」	受入れ事業所で就業体験 実習全体を通じて、社会人としての責任感・マナー・学びをレポート形式でまとめられる。	実習日報
第13回	○月○日	事後学習① -お礼状作成-	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える	-
第14回	○月○日	事後学習② -報告書作成-	体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する	-
第15回	○月○日	事後学習③ -実習を終えて-	1日の流れや研修内容をまとめ、その内容を他者に説明することができる	-

成績評価方法

授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：実習報告書を1日の終わりに必ず記入。実務研修終了後、期日までに担任に提出以上、出席率80%であることを合格基準とする。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	3位	2位	1位			60	良（B）：79点～70点
④授業態度			1位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	松山 きらら	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2学年担任
				実務経験紹介	二

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)

2025年度シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		就職活動に実践で活用できる内容を覚える。自己分析を行い、自分の強みと弱みを把握することができる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		自己分析を通して、個々の就労意識を高める就職活動において実践的に活用できる知識やスキルを身につける。また、自己分析を行うことで、自分自身の強みや弱みを明確にし、それを自己PRや志望動機の作成、企業選別に活かすことができるようにする						
受講条件		ペット総合科 在籍						
教科書名				就活ナビノート		教材名	PowerPoint	
設備名・機器名				PC スクリーン プロジェクター		関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/	
関連前科目				該当なし		関連後科目	キャリアデザインⅡ	
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について クラス・グループ活動 学校生活について		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ,その他諸々の連絡 注意事項、学生便覧 【到達目標】授業や年間行事、学校生活について理解する				PowerPoint
第2回	○月○日	時間外活動の重要性		オープンキャンパス・学生スタッフについて／ドッグショー研修について、飼育当番の説明 【到達目標】オープンキャンパスの仕事内容を理解する。ドッグショーの仕組みを説明できる				PowerPoint
第3回	○月○日	専門学校と今までの学校の違い		QJアンケート、しりとり役割伝達 将来の自分を考える① 人生の目的・目標の設定／目標に沿った人生・職業設定(どのような仕事がしたいか) 【到達目標】人生設計を行うため、思考する				PowerPoint
第4回	○月○日	チーム学習を進めるために		コミュニケーション能力とは コミュニケーション能力を高めるためにチームワークについて考える 【到達目標】コミュニケーション能力を向上し、チームの大切さを理解する				PowerPoint
第5回	○月○日	チームを学ぶ		国内宿泊研修について／研修グループ・役割決め・バス座席・持ち物説明 【到達目標】国内研修に対して理解する				PowerPoint
第6回	○月○日	研修計画を通して、 協調を学ぶ		国内宿泊研修の詳細説明・事前準備 【到達目標】国内研修に対して理解する				PowerPoint
第7回	○月○日	主体的な社会人とは		社会人基礎力について／主体性とは 【到達目標】自ら進んで物事に取り組む力、周囲と協働する力を養う				PowerPoint
第8回	○月○日	社会人としての基礎言動		報告・連絡・相談の重要性 【到達目標】報告・連絡・相談の重要性を理解しアウトプットできる				PowerPoint
第9回	○月○日	自己分析		自己分析① 自分の過去を振り返る 【到達目標】自分の生い立ち表を作成する				PowerPoint
第10回	○月○日	自己理解		自分自身を知る 【到達目標】自分について長所短所を3つずつ書き出す				PowerPoint
第11回	○月○日	自己紹介		自分のアピールポイントを整理する 【到達目標】アピールポイントを3つ以上書き出す				PowerPoint
第12回	○月○日	俯瞰的な自己理解		他人から見た自分を知る 【到達目標】他人から見た自分を理解できる				PowerPoint
第13回	○月○日	コース説明		コース選択前の説明会 【到達目標】各コースを理解し自分にあったコースを選択できる				PowerPoint
第14回	○月○日	社会人基礎力		記述(社会人基礎力、自己分析について)				
第15回	○月○日	前期振り返り 就職活動事例紹介		前期まとめ 過去の事例紹介／就職活動シミュレーション				
成績評価方法								
成績判定試験：なし。 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：各回での課題を授業内で提出し、内容が正確に記入できているか 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上、出席率80％であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位					なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート			2位	1位	1位		60	良（B）： 79点～70点
④授業態度				1位	1位		30	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小笠原 季輝、小山 美優貴
				実務経験紹介	二

2025年度シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	就職活動に実践で活用できる内容を覚える。自己分析を行い、自分の強みと弱みを把握することができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	自己分析を通して、個々の就労意識を高める 就職活動において実践的に活用できる知識やスキルを身につける。また、自己分析を行うことで、自分自身の強みや弱みを明確にし、それを自己PRや志望動機の作成、企業選別に活かすことができるようにする							
受講条件	ペット総合科 在籍 キャリアデザインⅠ単位取得した者							
教科書名	就活ナビノート 未来ノート				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	PC スクリーン プロジェクター				関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/		
関連前科目	キャリアデザインⅠ				関連後科目	キャリアデザインⅢ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	就職ガイダンス	就職活動スケジュール 就職希望調査 就職活動全体のスケジュールを理解し、自分に合った計画を立てることができる	PowerPoint 未来ノート
第2回	○月○日	キャリアマップ登録会	キャリアマップ登録会 キャリアマップの目的と活用方法を理解し、自分の進路や就職活動に役立てることができる	PowerPoint 未来ノート
第3回	○月○日	ディスコ 職務適正テスト	職務適正テスト(自己の客観的評価)実施 職務適性テストを通じて、自分の性格や能力の傾向を客観的に把握することができる	PowerPoint 未来ノート
第4回	○月○日	自己理解Ⅰ 私の大切なもの探し・ネガポジマップ	自己理解Ⅰ 自分の価値観 また自分自身を他者に伝えることを意識して、自己イメージを言語化・明確化できるようになる	PowerPoint 未来ノート
第5回	○月○日	自己理解Ⅱ 過去を振り返ろう	自己理解Ⅱ 過去のライフイベントを通じて、自分の人生に対する態度の根っこにあるものに気づき、自分らしさについて考えることができる	PowerPoint 未来ノート
第6回	○月○日	ディスコ 職務適正テスト 返却	職務適正テスト(自己の客観的評価)返却 テスト結果と自己分析を照らし合わせ、自分の職業選択やキャリア設計に活用できる	PowerPoint 未来ノート
第7回	○月○日	自己理解Ⅲ ジョハリの窓	自己理解Ⅲ 「自分から見た自分」と「他人から見た自分」について気づきを得て、自己理解とより良い人間関係について考えることができる	PowerPoint 未来ノート
第8回	○月○日	自己PR文作成	業界把握やペットショップなどの検索方法を学び、企業研究シートを作成する 収集した情報をもとに、企業研究シートを具体的にまとめることができる	PowerPoint 未来ノート
第9回	○月○日	仕事理解Ⅰ チラシを作ろう	仕事理解Ⅰ ペットショップのチラシ作成を通じて、自分のコミュニケーション特性を知り、実際の仕事現場に結び付けて考えることができる	PowerPoint 未来ノート
第10回	○月○日	仕事理解Ⅱ ビジネスに必要な8つの意識と義務	仕事理解Ⅱ 仕事を行う上で大切な仕事の進め方や、身につけておくべき基本的な意識と態度について理解する	PowerPoint 未来ノート
第11回	○月○日	ジョブパーク 就職に向けてのビジネスルール	発生と表情、敬語の基本、ビジネスルールの基本(就職に向けてのビジネススキル) 基本的な敬語(尊敬語・謙譲語・丁寧語)を理解し、場面に応じて正しく使えるようになる	PowerPoint 未来ノート
第12回	○月○日	企業研究	業界把握や具体的なショップ検索の方法を学び、企業研究シートに作成する 具体的なペットショップや関連企業をインターネット・求人サイト・企業HPなどから効果的に検索し、必要な情報を収集できる	PowerPoint 未来ノート
第13回	○月○日	SMBC 金融セミナー	お金の使い方を学び、ライフプランを考える 収入と支出の基本を理解し、計画的なお金の使い方ができるようになる	PowerPoint 未来ノート
第14回	○月○日	履歴書の書き方	履歴書、就職活動についての書類の書き方を学ぶ 履歴書やエントリーシートなど、就職活動に必要な書類の基本構成と記入ルールを理解できる	PowerPoint 未来ノート
第15回	○月○日	企業説明会質問を考える グループ面接DVD視聴	個別企業説明会に向けて、各企業の企業研究をし、質問を考える グループ面接の実態を知る(DVD) 企業研究を通じて自分の志望理由や適性を明確にし、面接での受け答えに活かすことができる	PowerPoint 未来ノート

成績評価方法

成績判定試験：なし。
授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点）
課題レポート：各回での課題を授業内で提出し、内容が正確に記入できているか
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上、出席率80%であることを合格基準とする。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	2位	2位	1位	1位		60	良（B）：79点～70点
④授業態度			1位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2学年担任			
				実務経験紹介				

2025年度シラバス

科目名	キャリアデザインⅢ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		就職活動に役立つ実践的なスキルと知識の習得を目指す 自己分析を行い、自分の長所や短所を把握し、履歴書記入や面接に繋げる 就職内定100%						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		就職活動に必要な基礎知識とマナーを習得することができる 自己分析を通して、自分の強み・弱み・価値観を明確にし、履歴書・エントリーシートの作成能力を身につけることができる 企業研究・業界理解を通じて、自分に合った就職先を選択する力を養うことができる						
受講条件		ペット総合科 2年生在籍 キャリアデザインⅡ単位取得した者						
教科書名		就職NAVI ノート			教材名	PowerPoint		
設備名・機器名		PC スクリーン プロジェクター			関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/		
関連前科目		キャリアデザインⅡ			関連後科目	キャリアデザインⅢ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	オリエンテーション 春休みインターンシップ振り返り		年間行事予定確認、その他諸々の連絡・注意事項 春休みインターンシップの振り返り インターンシップでの体験を振り返り、学んだことや課題を明確にすることができる				PowerPoint
第2回	○月○日	企業研究		企業研究（インターンシップ先を探す） インターンシップ先を第三希望まで挙げることができる				PowerPoint
第3回	○月○日	企業研究 (インターンシップ先アンケート)		インターンシップ先アンケート インターンシップ先のアンケートに答える				PowerPoint
第4回	○月○日	企業研究 (インターンシップ先決定)		インターンシップに向けた企業・サロン研究 応募先決定 インターンシップ先を決定し、企業研究を行うことができる				PowerPoint
第5回	○月○日	企業研究 (電話のかけ方)		電話のかけかた（グループワーク） インターンシップ先の電話のかけ方の基本を理解できる☑				PowerPoint
第6回	○月○日	自己理解（1）		Q1アンケート 授業アンケート それぞれのアンケートに答え、人間関係や授業内容に対して率直に向き合い、自らの課題に気づく力を養うことができる				PowerPoint
第7回	○月○日	インターンシップ (注意事項)		インターンシップ実施の注意事項 基本的なマナーや心構えを理解し、実習先で信頼される行動ができるよう準備ができる				PowerPoint
第8回	○月○日	インターンシップ (お礼状作成)		インターンシップお礼状作成 インターンシップの経験を振り返り、自分の成長や学びを整理して文章にまとめる力を養うことができる				PowerPoint
第9回	○月○日	インターンシップ (振り返り)		インターンシップ振り返り・就職活動進捗調査 就職活動の現在地を把握し、今後の行動計画を明確にすることができる				PowerPoint
第10回	○月○日	ほりかわ祭模擬店決め☑		ほりかわ祭模擬店決め☑ クラス内でほりかわ祭模擬店を決める☑				—
第11回	○月○日	ペット業界のキャリアパス研究		ペット業界のキャリアパス研究 トリマー、トレーナー、ペットショップスタッフなどのキャリアの違い 現場で求められるスキル・資格 長期的なキャリアプランの考え方 ペット業界の主要職種について理解し、それぞれの違いや特徴を説明できる☑				PowerPoint
第12回	○月○日	社会人基礎力		学生と社会人の違いについて考える 学生と社会人の違いを理解し、それぞれの立場に求められる役割や責任を説明できる				PowerPoint
第13回	○月○日	社会人基礎力		SNSと仕事の関係 仕事でのSNSの使い方（トラブル事例と注意点） SNSに起因するトラブルの事例を知り、情報発信のリスクや責任を自覚することができる				PowerPoint
第14回	○月○日	社会人基礎力		新入社員ケース・スタディー ケースを通じて、就職後の不安や疑問を事前に共有し、心構えと準備を整える				PowerPoint
第15回	○月○日	ほりかわ祭模擬店☑		ほりかわ祭模擬店・コンセプトや店名決め 模擬店のコンセプトを明確にし、来場者に伝わる店名や内容を決めることができる☑				—
成績評価方法								
成績判定試験：なし。 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：各回での課題を授業内で提出し、内容が正確に記入できているか 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上、出席率80％であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート		2位	2位	1位	1位		60	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2学年担任			
				実務経験紹介				

2025年度シラバス

科目名	キャリアデザインⅣ				学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		就職活動に役立つ実践的なスキルと知識の習得を目指す 自己分析を行い、自分の長所や短所を把握し、履歴書記入や面接に繋げる 就職内定100%							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		就職活動に必要な基礎知識とマナーを習得することができる 自己分析を通して、自分の強み・弱み・価値観を明確にし、履歴書・エントリーシートの作成能力を身につけることができる 企業研究・業界理解を通じて、自分に合った就職先を選択する力を養うことができる							
受講条件		ペット総合科 2年生在籍 キャリアデザインⅢ単位取得した者							
教科書名				就職NAVIノート	教材名	PowerPoint			
設備名・機器名				PC スクリーン プロジェクター	関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/			
関連前科目				キャリアデザインⅢ	関連後科目	該当なし			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	○月○日	オリエンテーション ほりかわ祭模擬店			年間行事予定確認、その他諸々の連絡・注意事項 ほりかわ祭模擬店 当番と役割について ほりかわ祭の模擬店における自分の当番や役割を把握し、責任を持って行動することができる			PowerPoint	
第2回	○月○日	ほりかわ祭模擬店 準備			ほりかわ祭模擬店 ポスター作成 買出しリスト作成 必要な材料や道具を整理し、買い出しリストを論理的かつ実用的に作成できる			PowerPoint	
第3回	○月○日	ほりかわ祭模擬店 準備			ほりかわ祭模擬店 模擬店レイアウト・動線の計画 模擬店の運営における空間の使い方や動きの工夫を理解し、レイアウトや動線を計画することができる			PowerPoint	
第4回	○月○日	社会人基礎力			職場におけるコミュニケーション 職場でのコミュニケーションの役割と重要性を理解することができる			PowerPoint	
第5回	○月○日	社会人基礎力			電話対応について 電話応対における基本マナーを理解し、適切に実践できる			PowerPoint	
第6回	○月○日	社会人基礎力			電話対応について 電話をかける際のマナーや言葉遣いを身につけ、スムーズなコミュニケーションを取ることができる			PowerPoint	
第7回	○月○日	卒業制作発表に向けて			卒業制作発表の目的と説明 卒業制作のテーマや内容を主体的に決定し、表現することができる			PowerPoint	
第8回	○月○日	卒業制作発表 内容・グループ決め			卒業制作発表の内容とグループ決め グループのメンバーと協力して、発表テーマや役割分担を主体的に話し合い、計画を立て始めることができる			PowerPoint	
第9回	○月○日	卒業制作発表 グループにて準備			卒業制作発表準備 制作物の特徴や制作過程を整理し、発表の構成を考えることができる			PowerPoint	
第10回	○月○日	卒業制作発表 グループにて準備			卒業制作発表準備 制作物の特徴や制作過程を整理し、発表の構成を考えることができる			PowerPoint	
第11回	○月○日	卒業制作発表 グループにて準備			卒業制作発表準備 制作物の特徴や制作過程を整理し、発表の構成を考えることができる			PowerPoint	
第12回	○月○日	卒業制作発表 動画作成			卒業制作発表 動画作成 動画で伝えたい内容を企画し、わかりやすい構成を立てることができる			PowerPoint	
第13回	○月○日	卒業制作発表 動画作成			卒業制作発表 動画作成 動画で伝えたい内容を企画し、わかりやすい構成を立てることができる			PowerPoint	
第14回	○月○日	卒業制作発表 動画作成 提出			卒業制作発表 動画作成 動画で伝えたい内容を企画し、わかりやすい構成を立てることができる			PowerPoint	
第15回	○月○日	2年間の振り返り 卒業式について			2年間の振り返り 卒業式について 卒業式の意義や流れを理解し、式にふさわしい態度やマナーを身につけることができる			PowerPoint	
成績評価方法									
成績判定試験：なし。 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：各回での課題を授業内で提出し、内容が正確に記入できているか 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上、出席率80％であることを合格基準とする。									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位	1位	1位		なし	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							60	良（B）：79点～70点	
④授業態度							30	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席				1位			10		
							不合格の場合	再試験1回まで実施	
シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2学年担任				
				実務経験紹介	-				

2025年度シラバス

科目名	ビジネスマナー			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	サービス接遇検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		接客対応の基礎 『心づかい』『言葉づかい』などの実務知識を覚える。 基本的な接遇マナーを身に付け、多方面からのスキルを覚える。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		サービス接遇検定3級合格を目指す 電話・対面・クレーム対応など、さまざまな場面に応じた接客スキルを身につける						
受講条件		ペット総合科在籍						
教科書名				教材名		PowerPoint 配布プリント		
設備名・機器名				関連サイト		ビジネス検定 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/SV/		
関連前科目				関連後科目		ビジネス電話		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について サービス接遇接客とは何か	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービスの意味、接客とは何かを覚える 効果的な自己紹介の仕方ができる				サービス接遇検定受験ガイド P7	
第2回	○月○日	サービススタッフの資質 必要とされる要件	必要とされる要件 明るさと誠実さ・適切な判断と表現・身だしなみについてを理解し説明できる				サービス接遇検定受験ガイド P12～P20	
第3回	○月○日	サービススタッフの資質 従業員要件	従業員要件 良識をもつ、適切な判断と表現、清潔感についてを理解し説明できる				サービス接遇検定受験ガイド P24～P34	
第4回	○月○日	専門知識 サービス知識	サービス知識 サービスの意義・機能・種類の説明ができる				サービス接遇検定受験ガイド P40～P48	
第5回	○月○日	専門知識 従業員知識	従業員知識 商業用語・経済用語を理解し説明ができる				サービス接遇検定受験ガイド P55	
第6回	○月○日	一般知識	社会常識・時事問題について 基本的な社会常識(マナー・言葉づかい・行動規範)を理解し具体例を5つ挙げることができる				サービス接遇検定受験ガイド P62～P70	
第7回	○月○日	対人技能	一般的な人間関係を築く あいさつや会話円滑な人間関係を築くための基本的なマナーを理解し具体例を5つ挙げることができる				サービス接遇検定受験ガイド P74～P85	
第8回	○月○日	対人技能 接遇知識 接遇用語	接遇知識、対人心理が理解できる 接遇に必要な基本的知識(言葉づかい・身だしなみ・態度など)を理解し、状況に応じて適切に 使えるようになる				サービス接遇検定受験ガイド P74～P85	
第9回	○月○日	対人技能 話し方 接遇用語	話し方、接遇用語を覚える 接客・接遇の場面で適切に使える話し方や敬語、接遇用語を理解し具体例を5つ挙げることができる				サービス接遇検定受験ガイド P89～P100	
第10回	○月○日	対人技能 服装	服装 第一印象に与える影響を理解し、清潔感・TPO(時・場所・場合)を意識した服装選びができる ようになる				サービス接遇検定受験ガイド P102	
第11回	○月○日	実務技能 問題処理	問題処理 職場や業務中に発生する問題に対して冷静に状況を判断し、適切に対応する力を身につける				サービス接遇検定受験ガイド P106～P114	
第12回	○月○日	実務技能 金品管理 社交儀礼	金品管理・社交儀礼の業務 金銭や物品を正確かつ丁寧に扱うための基本的なルールと責任を理解し、具体例を5つ挙げ ることができる				サービス接遇検定受験ガイド P118～P123	
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 試験対策のポイントをまとめ、復習することができる				試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	城戸 さち子			
				実務経験紹介	二			

2025年度シラバス

科目名 ¹		ビジネス電話 ²			学科名 (コース名)		ペット総合科		学年	1 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定			
教育課程区分	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	サービス接遇検定3級			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		第1～3回授業については、サービス接遇検定に向けての継続授業。 接客対応の基礎 『電話対応』の実務知識を覚える。 基本的な電話対応マナーを身に付け、多方面からのスキルを覚える。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		第1～3回授業については、サービス接遇検定に向けての継続授業。 社会人としてのルール・マナーに則り、店舗・企業への勤務時での電話対応ができる								
受講条件		ペット総合科在籍								
教科書名		サービス接遇検定 受験ガイド3級 改訂版、サービス接遇検定 問題集				教材名	配布プリント			
設備名・機器名		ホワイトボード				関連サイト	ビジネス検定 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/SV/			
関連前科目		ビジネスマナー				関連後科目	該当なし			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について サービス接遇検定に向けて		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービス接遇検定過去問 実践・解答・解説 サービス接遇検定過去問を解くことができる					サービス接遇検定 受験ガイド3級	
第2回	○月○日	サービス接遇検定に向けて (過去問 実践と解説)		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービス接遇検定過去問 実践・解答・解説 サービス接遇検定過去問を解くことができる					サービス接遇検定 受験ガイド4級	
第3回	○月○日	サービス接遇検定に向けて (過去問 実践と解説)		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービス接遇検定過去問 実践・解答・解説 サービス接遇検定過去問を解くことができる					サービス接遇検定 受験ガイド5級	
第4回	○月○日	社会人としての話し方		社会人としての話し方、PREP法と時系列法でスピーチ実践 社会人として適切な話し方を理解し、状況に応じた言葉遣いやトーンで効果的に実践することができる					-	
第5回	○月○日	好印象なスピーチ		感じの良い話し方の講義、スピーチの実践 相手に与える印象を意識した「感じの良い話し方」を理解し説明実践することができる					-	
第6回	○月○日	話し方の基本		テキストにて話し方の基本を学習、5年・10年後の自分について発表 発表内容を整理し、聞き手に伝わりやすい構成で発表することができる					-	
第7回	○月○日	葬儀のマナー 葬儀の知識		葬儀の知識 葬儀の基本的な流れや儀式の重要性を理解し、葬儀の準備から執り行いまでの手順を説明できる					-	
第8回	○月○日	葬儀のマナー 葬儀の作法、スピーチ実践		葬儀の作法、スピーチ実践 葬儀における作法（服装、挨拶、香典の扱い、礼儀作法など）を理解しそれぞれの作法の説明ができる					-	
第9回	○月○日	社会人としてのマナー 電話の受け答えについて		電話の受け答えについて 電話の受け答えの基本的なマナーを理解し丁寧な言葉遣いで実践することができる					-	
第10回	○月○日	社会人としてのマナー 電話対応で心掛けること		電話対応で心掛けること 電話の受け答えの基本的なマナーを理解し丁寧な言葉遣いで実践することができる					-	
第11回	○月○日	社会人としてのマナー 場面に応じた心得について		場面に応じた心得について① さまざまな場面に応じた適切な言葉遣いや態度を理解し実践することができる					-	
第12回	○月○日	社会人としてのマナー 場面に応じた心得について		場面に応じた心得について② さまざまな場面に応じた適切な言葉遣いや態度を理解し実践することができる					-	
第13回	○月○日	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習 試験対策のポイントをまとめ、復習することができる					試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる					成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる					試験解説	
成績評価方法										
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点		
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点		
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点		
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点		
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下		
⑥出席				1位			10			
							不合格の場合	再試験1回まで実施		

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	城戸 さち子
				実務経験紹介	二

2025年度シラバス

科目名	基本IT技術Ⅰ		学科名 (コース名)	ペット総合科				学年	2学年
授業形態	演習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし		
教育課程区分	必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		コンピュータを利用したITマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるをデータ作成ができるようにする。							
受講条件		ペット総合科在籍 得手不得手があれども前向きな学習姿勢があること。							
教科書名				教材名		教員作成の教材データを適宜配布			
Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>									
設備名・機器名				関連サイト		該当なし			
256教室 デスクトップパソコン									
関連前科目				関連後科目		基本IT技術Ⅱ			
該当なし									
授業計画（授業コマ単位）									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	○月○日	ガイダンス・コンピュータの基本操作	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明および進め方 ログイン、課題提出の仕方・メールの基礎知識 ITリテラシー講義：前半				ー		
第2回	○月○日	コンピュータの基本操作・ビジネス文書の作成	ITリテラシー講義：後半 テキストサンプルデータ準備 Wordの画面構成と文字入力				Wordテキスト Chapter1		
第3回	○月○日	書式設定	ビジネス文書作成 IMEパッド・段落・ページ設定				Wordテキスト Chapter2		
第4回	○月○日	基本動作設定	グローバルショートカット・書式設定・フォントについて				Wordテキスト Chapter3		
第5回	○月○日	体裁構成の基礎知識	行間・段落間、インデントについて 字下げ・ぶら下げ・禁則処理など				Wordテキスト Chapter3		
第6回	○月○日	印刷とPDF	印刷およびPDFへのエクスポート				Wordテキスト Chapter4		
第7回	○月○日	タブとリーダー ビジネス文章の作成例	タブとリーダーの操作方法 価格表・メニュー表の作成				Wordテキスト Chapter5		
第8回	○月○日	表の作成 基本操作	表の作成 文字列から表の作成方法とCSVとの関係性				Wordテキスト Chapter6		
第9回	○月○日	表の作成 応用操作とオブジェクト挿入	図形、テキストボックスの作成・編集				Wordテキスト Chapter7		
第10回	○月○日	応用問題	応用問題作成				参考データ配布		
第11回	○月○日	総合演習問題	総合演習問題作成				総合演習問題		
第12回	○月○日	総合演習 応用問題	総合演習応用問題作成				総合演習問題/配布問題資料		
第13回	○月○日	試験課題・Word試験データ作成	試験課題・Word試験データ作成の実施				ー		
第14回	○月○日	試験課題・Word試験データ作成	試験課題・Word試験データ作成の実施				ー		
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	基礎問題の答え合わせと解説				ー		
成績評価方法									
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席				1位			10		
							不合格の場合	再試験1回まで実施	
シラバス作成者		吉野 正巳	シラバス承認者		井田亜由美	授業担当教員	吉野 正巳		
						実務経験紹介	-		
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		者(確認者)	
改1									

2025年度シラバス

科目名	1	基本IT技術Ⅱ		学科名 (コース名)	2	ペット総合科			学年	3.	2学年	
授業形態	4	演習		学期	後期	開講年月	5	10月	該当資格区分	5	該当なし	
教育課程区分	7	必修		単位数	8	2	時間数	9	60	該当資格名称	1	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		1 コンピュータを利用したITマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。										
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		1 ①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるをデータ作成ができるようにする。										
受講条件		1 ペット総合科在籍 基本IT技術Ⅰの単位取得した者 得手不得手があれども前向きな学習姿勢があること。										
教科書名		1 Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>						教材名	1 教員作成の教材データを適宜配布			
設備名・機器名		1 256教室 デスクトップパソコン						関連サイト	1 該当なし			
関連前科目		1 基本IT技術Ⅰ						関連後科目	1 該当なし			

授業計画（授業コマ単位） 2

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	ガイダンスとPowerPointの基本	PowerPointの基本操作及び効果的なプレゼンテーションデータ作成の概要	-
第2回	○月○日	効果的なプレゼンテーションデータの作成とは	ブレースフォルダーの扱いと概念整理	PowerPointテキスト Chapter1.2
第3回	○月○日	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成	テキストのレベル分けとオブジェクトの概念と操作	PowerPointテキスト Chapter3.4
第4回	○月○日	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク	表やグラフの挿入と画面切り替え・アニメーション効果の取り扱い	PowerPointテキスト Chapter5.6
第5回	○月○日	プレゼンテーション作成	試験課題作成	-
第6回	○月○日	プレゼンテーション作成と提出	試験課題作成と提出	-
第7回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとにプレゼンテーション実施	-
第8回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとにプレゼンテーション実施	-
第9回	○月○日	PowerPointでCM作成	PowerPointでCMを作成 動画編集機能の紹介と作成	過去作品サイト
第10回	○月○日	Excelの基本	Excelの基本概念と画面の構成およびデータ・数式の入力	Excelテキスト Chapter1
第11回	○月○日	相対・絶対・複合参照	オートフィル・相対・絶対・複合参照の演習	Excelテキスト Chapter2
第12回	○月○日	表の編集・ブックの印刷	表の編集と体裁編集について・ブックの印刷時の取り扱い	Excelテキスト Chapter3.4
第13回	○月○日	グラフと図形の作成	グラフの作成・編集および図形の作成 ワークシートの管理・ウィンドウの操作	Excelテキスト Chapter5.6
第14回	○月○日	関数演習	関数の書式・論理関数を中心とした計算式の論理	Excelテキスト Chapter7 演習問題
第15回	○月○日	Excel試験および、PC内データの整理・削除作業まで	基礎問題の答え合わせと解説 及び1年間のデータ整理・削除	-

成績評価方法 2

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分）
確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位	1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施
シラバス作成者	吉野 正巳	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	吉野 正巳			
				実務経験紹介	-			

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	者(確認者)
改1				
改2				

2025年度シラバス

科目名	総合学習Ⅰ			学科 (コース)	ペット総合科		学年	1学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	① 動物業界の現場を実際に見て・体験することを通じて、業界理解と職業意識の向上を図る ドッグショー：犬種の特徴や名称、審査の仕組みを学びトリミングやハンドリングの技術についての理解を深める 動物園研修 水族館研修：施設の特徴や飼育されている動物の生態を観察しながら、飼育員の業務内容や現場での工夫を学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	① ドッグショーの仕組みを知り、犬種の特徴や犬種名、トリミングやハンドリングの仕方を学び授業に活かす ② 動物園研修で、それぞれの園の特徴や動物の生態を観察し、動物の特徴や飼育員の仕事を学ぶ							
受講条件	ペット総合科 1年生在籍							
教科書名	適宜テキストを配布				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	スクリーン プロジェクター				関連サイト	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/ 神戸どうぶつ王国 https://www.kobe-oukoku.com/ しろとり動物園 http://shirotorizoo.com/ 京都市水族館 https://www.kyoto-aquarium.com/index.html		
関連前科目	該当なし				関連後科目	総合学習Ⅱ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	〇月〇日	事前研修 (JKCドッグショー)	ドッグショーの仕組みと歴史 ドッグショーとは何か説明できる	犬種図鑑 PowerPoint
第2回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (1G～5Gを見学する)	ドッグショーに関わる人、ドッグショーの見方 1G～5Gの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる	-
第3回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (6G～10Gを見学する)	ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 6G～10Gの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる	-
第4回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (チャンピオンシップ見学)	ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 今ドッグショーのB.O.G犬種名を表にまとめることができる	-
第5回	〇月〇日	事後研修 (JKCドッグショー)	ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 多くの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる	-
第6回	〇月〇日	事前研修（動物園研修） 内容と心構え	動物園研修の内容と心構え 動物園研修の内容の説明ができる	PowerPoint
第7回	〇月〇日	事前研修（動物園研修） 動物園の特徴	神戸どうぶつ王国・しろとり動物園・淡路カントリーガーデンについて動物園の特徴を調べる それぞれの動物園の特徴を説明できる	PowerPoint
第8回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (施設見学)	神戸どうぶつ王国を見学し、園の特徴や動物の生態を観察する 神戸どうぶつ王国を見学し、5種以上の動物の生態の説明ができる	-
第9回	〇月〇日	(動物の観察)	神戸どうぶつ王国を見学し、園の特徴や動物の生態を観察する 神戸どうぶつ王国を見学し、6種以上の動物の生態の説明ができる	-
第10回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (飼育員業務)	しろとり動物園のスタッフとして、園の仕事内容や飼育方法を学ぶ しろとり動物園のスタッフの仕事覚え、3種以上の動物の飼育方法の説明ができる	-
第11回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (担当動物を知る)	しろとり動物園のスタッフとして、園の仕事内容や飼育方法を学ぶ しろとり動物園のスタッフの仕事覚え、4種以上の動物の飼育方法の説明ができる	-
第12回	〇月〇日	フィールドワーク研修 (飼育場清掃)	しろとり動物園のスタッフとして、園の仕事内容や飼育方法を学ぶ しろとり動物園のスタッフの仕事覚え、5種以上の動物の飼育方法の説明ができる	-
第13回	〇月〇日	事後研修 (動物園研修)	しろとり動物園のスタッフとして、園の仕事内容や飼育方法を学ぶ しろとり動物園のスタッフの仕事覚え、6種以上の動物の飼育方法の説明ができる	-
第14回	〇月〇日	事前研修 (京都市水族館研修) 水族館の特徴	京都市水族館の特徴 京都市水族館の特徴を説明できる	PowerPoint
第15回	〇月〇日	事後研修 (京都市水族館研修)	水族館研修で得た知識や体験を振り返る 京都市水族館を見学し、3種以上の海獣の生態の説明ができる	-

成績評価方法 各研修毎に課題を出題。

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上
 課題：各研修において課題レポートを提出（ドッグショー20点 動物園研修40点 水族館研修10点）
 授業態度点：減点方式（遅刻早退はその都度減点していく）
 出席点：1回欠席毎に2点減点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	3位	2位	1位			70	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
不合格の場合							再履修

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田 亜由美	授業担当教員	小笠原季輝 小山美優貴
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	総合学習Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		普段、学内では体験できない事を、外部の施設・イベントに参加をする。 外部の施設・イベントに参加をし、専門職者としての技術と人間力を高める。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		トリマーコース：犬種の特徴を知り、犬種毎のトリミング方法や違いを説明できる ドッグトレーナーコース：犬種の特徴を知り、ハンドリングのマナーや一般家庭犬との違いを説明できる ペットアドバイザーコース：犬種の特徴を知り、一般家庭犬とショードッグの違いを説明できる ほりかわ祭：クラス毎に出店。動員数・売上の目標を決め、その数値を上回ることができる						
受講条件		ペット総合科 2年生在籍						
教科書名				教材名		PowerPoint		
設備名・機器名				関連サイト		一般社団法人 ジャパンケネルクラブhttps://www.jkc.or.jp/ 京都市水族館 https://www.kyoto-aquarium.com/index.html ほりかわ祭 https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/		
関連前科目				関連後科目		該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	事前研修 (JKCドッグショー)		ドッグショーの仕組みと歴史 ドッグショーとは何か説明できる				犬種図鑑 PowerPoint
第2回	○月○日	フィールドワーク研修 (1G～5Gを見学する)		ドッグショーに関わる人、ドッグショーの見方 1G～5Gの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる				－
第3回	○月○日	フィールドワーク研修 (6G～10Gを見学する)		ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 6G～10Gの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる				－
第4回	○月○日	フィールドワーク研修 (チャンピオンシップ見学)		ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 今ドッグショーのB.O.G犬種名を表にまとめることができる				－
第5回	○月○日	事後研修 (JKCドッグショー)		ドッグショーに参加し、犬種名やトリミング、ハンドリングを学ぶ 多くの犬種を知り、多くの犬種の特徴の説明ができる				－
第6回	○月○日	事前準備（ほりかわ祭） 内容・運営計画を決める		ほりかわ祭店決め 各クラスで内容・運営計画を立案できる				－
第7回	○月○日	事前準備（ほりかわ祭） 目標設定		ほりかわ祭準備 目標設定 目標動員数と売上を決めることができる				－
第8回	○月○日	事前準備（ほりかわ祭） ポスター作製・資材購入		ほりかわ祭準備 買出しと飾り作成 広告効果のあるポスターを作成できる。予算内で資材の購入できる。				－
第9回	○月○日	ほりかわ祭 運営		ほりかわ祭当日 出店 事前に計画した通りに運営することができる				－
第10回	○月○日	ほりかわ祭 接客		ほりかわ祭当日 出店 お客様に対して失礼なく接客することができる				－
第11回	○月○日	ほりかわ祭 宣伝活動		ほりかわ祭当日 出店 目標人数を動員できる				－
第12回	○月○日	ほりかわ祭 売上金集計		ほりかわ祭当日 出店 出店後の売上金額をまとめ、損益を計算することができる				－
第13回	○月○日	事後研修 (ほりかわ祭)		ほりかわ祭出店後のまとめ 出店後を振り返ることができる。				－
第14回	○月○日	事前研修 (京都市水族館研修) 水族館の特徴		京都市水族館の特徴 京都市水族館の特徴を説明できる				PowerPoint
第15回	○月○日	事後研修 (京都市水族館研修)		水族館研修で得た知識や体験を振り返る 京都市水族館を見学し、3種以上の海獣の生態の説明ができる				－
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 課題:各研修において課題レポートを提出（ドッグショー20点 動物園研修40点 水族館研修10点） 授業態度点:減点方式（遅刻早退はその都度減点していく） 出席：1回欠席毎に2点減点								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位					なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート			2位	1位			70	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席					1位		10	
							不合格の場合	再履修

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田 亜由美	授業担当教員	松山きらら 山極夏希
				実務経験紹介	—

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅰ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	1学年
授業形態	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	6	時間数	180	該当資格名称	全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級 JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 各犬種の基本的なグルーミング・ベーシック・カッティング(カット技術・整毛技術)方法を覚え、技術方法を身に付ける。 新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない J K C・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる 【注意事項】美容Ⅰは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	1 ペット総合科 トリマーコース在籍							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint 配布プリント		
設備名・機器名	1 PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 グルーミングⅠ				関連後科目	1 美容Ⅱ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	授業開始について 実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 マルチーズ シーズー(サマーカット)、ブードル種学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第4～6回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第7～9回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第10～12回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第13～15回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第16～18回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	レッスンドッグ シーズン ブラッシング		レッスンドッグ シーズーのブラッシング レッスンドッグを使用して、丁寧なブラッシングをすることができる				実習用具 シーズン配布プリント レッスンドッグ
第22～24回	○月○日	レッスンドッグ シーズン サマーカット		レッスンドッグ シーズーサマーカット レッスンドッグを使用して、基本的なサマーカットの形を覚えることができる				実習用具 シーズン配布プリント レッスンドッグ
第25～27回	○月○日	レッスンドッグ シーズン サマーカット		レッスンドッグ シーズーサマーカット レッスンドッグを使用して、基本的なサマーカットの形を覚えることができる				実習用具 シーズン配布プリント レッスンドッグ
第28～30回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット)		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる シザーの持ち方・動かし方の基本を覚えることができる				実習用具 モデル犬
第40～42回	○月○日	紙粘土作成 骨組み作成 (マルチーズ サマーカット)		紙粘土制作 骨組み作成(マルチーズ サマーカット) マルチーズの骨格を覚え、紙粘土を使用してマルチーズを作ることができる				割り箸・針金・タコ糸 紙粘土・マルチーズ配布プリント
第43～45回	○月○日	紙粘土作成 (マルチーズ サマーカット)		紙粘土制作 (マルチーズ サマーカット) マルチーズの骨格を覚え、紙粘土を使用してマルチーズを作ることができる				割り箸・針金・タコ糸 紙粘土・マルチーズ配布プリント
第46～48回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット) 中型犬 大型犬を仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 中型犬・大型犬の扱い方を覚え、ベーシックを正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第49～51回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット) 中型犬 大型犬を仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で2頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 中型犬・大型犬の扱い方を覚え、ベーシックを正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第52～54回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット) 中型犬 大型犬を仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で3頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 中型犬・大型犬の扱い方を覚え、ベーシックを正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第55～57回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる (長毛種 カット) 中型犬 大型犬を仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で4頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 中型犬・大型犬の扱い方を覚え、ベーシックを正確に作業することができる				実習用具 モデル犬
第58～60回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる ベーシックを正確に作業し、学生1名で1頭仕上げる				実習用具 モデル犬
第61～63回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる ベーシックを正確に作業し、学生1名で1頭仕上げる				実習用具 モデル犬
第64～66回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる ベーシックを正確に作業し、学生1名で1頭仕上げる				実習用具 モデル犬
第67～69回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる ベーシックを正確に作業し、学生1名で1頭仕上げる				実習用具 モデル犬
第70～72回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 単位認定試験を意識し、モデル犬の扱い、ハサミの扱いを正しく使用することができる				実習用具 モデル犬
第73～75回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる(長毛種 カット) 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ・シーズン等(サマーカット)、ブードル種 学生2名で1頭仕上げ 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 単位認定試験を意識し、モデル犬の扱い、ハサミの扱いを正しく使用することができる				実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第76～78回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる（長毛種 カット） 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ・シーザー等（サマーカット）、ブードル種 学生2名で1頭仕上げる 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 単位認定試験を意識し、モデル犬の扱い、ハサミの扱いを正しく使用することができる	実習用具 モデル犬
第79～81回	○月○日	実習 学生2名で1頭仕上げる（長毛種 カット） 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ・シーザー等（サマーカット）、ブードル種 学生2名で1頭仕上げる 犬種ごとのサマーカットの形を覚えることができる 単位認定試験を意識し、モデル犬の扱い、ハサミの扱いを正しく使用することができる	実習用具 モデル犬
第82～84回	○月○日	実技試験 レッスンドッグ（シーザーカット）	実技試験（レッスンドッグを使用して全身カットを行う） シーザーのサマーカットの形を理解し、カットすることができる	実習用具 レッスンドッグ 成績判定試験
第85～87回	○月○日	実技試験 レッスンドッグ（シーザーカット）	実技試験（レッスンドッグを使用して全身カットを行う） シーザーのサマーカットの形を理解し、カットすることができる	実習用具 レッスンドッグ 成績判定試験
第88～90回	○月○日	実技試験 レッスンドッグ（シーザーカット）	実技試験（レッスンドッグを使用して全身カットを行う） シーザーのサマーカットの形を理解し、カットすることができる	実習用具 レッスンドッグ 成績判定試験

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 レッスンドッグを使用して全身カットを行う（モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにやっている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	美容Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分 ⁵	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称 ¹	全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹ 各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。 新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹ 各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	¹ ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰの単位取得した者							
教科書名	¹ 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	¹ PowerPoint 配布プリント		
設備名・機器名	¹ PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	¹ 該当なし		
関連前科目	¹ 美容Ⅰ				関連後科目	¹ 美容Ⅲ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	授業の必要は、概要・目的・目標についての説明・運の力 マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生2名で1頭仕上げ ブードル種の足先(趾先)・尾軸の刈り方を覚える ブードルの各部クリッピング位置を正確に覚えることができる マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生2名で1頭仕上げ ブードル種の足先(趾先)・尾軸の刈り方を覚える ブードルの各部クリッピング位置を正確に覚えることができる					実習用具 モデル犬
第4～6回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生2名で1頭仕上げ ブードル種の足先(趾先)・尾軸の刈り方を覚える ブードルの各部クリッピング位置を正確に覚えることができる					実習用具 モデル犬
第7～9回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生2名で1頭仕上げ ブードル種の顔の刈り方を覚える ブードルの各部クリッピング位置を正確に覚えることができる					実習用具 モデル犬
第10～12回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生2名で1頭仕上げ ブードル種の顔の刈り方を覚える ブードルの各部クリッピング位置を正確に覚えることができる					実習用具 モデル犬
第13～15回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(オールシザー) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第16～18回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(オールシザー) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で2頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(オールシザー) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第22～24回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(オールシザー) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第25～27回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(オールシザー) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第28～30回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(体のバリカンの当て方) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(体のバリカンの当て方) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(体のバリカンの当て方) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(体のバリカンの当て方) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第40～42回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ デディベアカットの体・顔のトリミングを覚える(体のバリカンの当て方) デディベアカットの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第43～45回	○月○日	ケネル&ラムクリップ (実習観察)	教員によるモデルグルーミング 教員によるケネル&ラムクリップのカットを観察し、形やカット方法を学ぶ					ブードル配布プリント
第46～48回	○月○日	レスンドッグ ブードル ケネル&ラムクリップ	レスンドッグ ブードル ケネル&ラムクリップ レスンドッグを使用して、基本的なケネル&ラムクリップの形を覚えることができる					実習用具 ブードル配布プリント レスンドッグ
第49～51回	○月○日	レスンドッグ ブードル ケネル&ラムクリップ	レスンドッグ ブードル ケネル&ラムクリップ レスンドッグを使用して、基本的なケネル&ラムクリップの形を覚えることができる					実習用具 ブードル配布プリント レスンドッグ
第52～54回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第55～57回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第58～60回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第61～63回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第64～66回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第67～69回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第70～72回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬
第73～75回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ ブードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる					実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第76～78回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、プードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる プードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第79～81回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、プードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる プードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第82～84回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、プードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる プードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第85～87回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、プードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる プードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第88～90回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット)、プードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる プードル ケネル&ラムクリップの全体カットを理解する ケネル&ラムクリップの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 レッスンドッグを使用して全身カットを行う（モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにやっている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席点：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称	全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰ単位取得した者							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint 配布プリント		
設備名・機器名	PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	該当なし		
関連前科目	美容Ⅰ				関連後科目	美容Ⅲ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第91～93回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第97～99回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第103～105回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第109～111回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第115～117回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ Aコッカースパニエルの顔の刈り方を覚える Aコッカースパニエルの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第121～123回	○月○日	紙粘土作成 骨組み作成 (ブードル ケネル&ラムクリップ)		紙粘土制作 骨組み作成 (ブードル ケネル&ラムクリップ) ブードルの骨格を覚え、紙粘土を使用してケネル&ラムクリップを作ることができる				割り箸・針金・タコ糸 紙粘土・ブードル配布プリント
	○月○日	紙粘土作成 (ブードル ケネル&ラムクリップ)		紙粘土制作 (ブードル ケネル&ラムクリップ) ブードルの骨格を覚え、紙粘土を使用してケネル&ラムクリップを作ることができる				割り箸・針金・タコ糸 紙粘土・ブードル配布プリント
第127～129回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第133～135回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第139～141回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第145～147回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第151～153回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第157～159回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第163～165回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー(サマーカット)ブードル学生2名で1頭仕上げ ボメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える ボメラニアンの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第166～168回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの顔の刈り方を覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第169～171回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの顔の刈り方を覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第172～174回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの顔の刈り方を覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第175～177回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの顔の刈り方を覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第178～180回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの顔の刈り方を覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 レッスンダッグを使用して全身カットを行う（モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができていない、実習当番を忘れずにやっている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席点：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称	1 全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	1 ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰ単位取得した者							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint		
設備名・機器名	1 PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 美容Ⅰ				関連後科目	1 美容Ⅲ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第181～183回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第184～186回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第187～189回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第190～192回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第193～195回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第196～198回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第199～201回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第202～204回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第205～207回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第208～210回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ シュナウザーの全体のトリミングを覚える シュナウザーの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第211～213回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第214～216回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第217～219回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第220～222回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第223～225回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第226～228回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第229～231回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第232～234回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第235～237回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第238～240回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第241～243回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第244～246回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第247～249回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第250～252回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第253～255回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第256～258回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる事ができる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第259～261回	○月○日	カット実習 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる事ができる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第262～264回	○月○日	カット実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げる事ができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 モデル犬 成績判定試験
第265～267回	○月○日	カット実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げる事ができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 モデル犬 成績判定試験
第268～270回	○月○日	カット実習 実技試験 学生2名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる	実技試験(小型犬を学生2名で1頭仕上げる) 小型犬を学生1名で1頭仕上げる事ができる 実技試験を通じて、習得した技術が適切に適用されているかを評価する	実習用具 モデル犬 成績判定試験

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 レッスンドッグを使用して全身カットを行う（モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにしている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴						
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)		
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称	1 全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級 JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 J K C ・ トリマーC級ライセンス、AAV ・ サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC ・ トリマーC級ライセンス、AAV ・ サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	1 ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰ単位取得した者							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint		
設備名・機器名	1 PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 美容Ⅱ				関連後科目	1 該当なし		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1～3回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第4～6回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第7～9回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第10～12回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第13～15回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第16～18回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼ顔のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第19～21回	○月○日	カット実習 実技試験(JKC選抜)	レッスン・ドッグ ブードル ケネル&ラム テスト レッスンドッグを使用して、JKC選抜試験を受験する 習得した技術が適切に適用されているかを評価する				実習用具 レッスンドッグ	
第22～24回	○月○日	カット実習 実技試験(JKC選抜)	レッスン・ドッグ ブードル ケネル&ラム テスト レッスンドッグを使用して、JKC選抜試験を受験する 習得した技術が適切に適用されているかを評価する				実習用具 レッスンドッグ	
第25～27回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼの全体のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第28～30回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼの全体のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第31～33回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼの全体のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第34～36回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼの全体のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第37～39回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ビョンフリーゼの全体のトリミングを覚える ビョンフリーゼの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第40～42回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第43～45回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第46～48回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第49～51回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第52～54回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第55～57回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第58～60回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ スタンダードブードルなどの大型犬の扱いとカットを行う。 大型犬の基本的な扱いやカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第61～63回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットすることが出来る				実習用具 モデル犬	
第64～66回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットすることが出来る				実習用具 モデル犬	
第67～69回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットすることが出来る				実習用具 モデル犬	
第70～72回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットすることが出来る				実習用具 モデル犬	
第73～75回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットすることが出来る				実習用具 モデル犬	

2025年度シラバス

第76～78回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルゲース・シェパード(リマー・カット)・ブードル(リネル&フムフカット・ブレイバ ア) 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げるができる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットする元とが不亮	実習用具 モデル犬
第79～81回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルゲース・シェパード(リマー・カット)・ブードル(リネル&フムフカット・ブレイバ ア) 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げるができる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットする元とが不亮	実習用具 モデル犬
第82～84回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルゲース・シェパード(リマー・カット)・ブードル(リネル&フムフカット・ブレイバ ア) 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げるができる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットする元とが不亮	実習用具 モデル犬
第85～87回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルゲース・シェパード(リマー・カット)・ブードル(リネル&フムフカット・ブレイバ ア) 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げるができる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットする元とが不亮	実習用具 モデル犬
第88～90回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルゲース・シェパード(リマー・カット)・ブードル(リネル&フムフカット・ブレイバ ア) 学生1名で1頭仕上げる 目標時間を設定し、時間内に仕上げるができる 時間配分を行い、一人で頭を適切にカットする元とが不亮	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 AAVサロントリマー検定1級の実技試験点数にて評価する(2時間決められたカットを行う。モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方)
授業態度：教員の指示に従った行動ができて、実習当番を忘れずにしている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀(S):100点～90点
②確認テスト						なし	優(A):89点～80点
③課題レポート						なし	良(B):79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可(D):69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称	1 全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級 JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	1 ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰ単位取得した者							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint		
設備名・機器名	1 PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 美容Ⅱ				関連後科目	1 該当なし		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第91～93回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのムスタッシュの作り方を覚える ブードルの口周りの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第94～96回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのムスタッシュの作り方を覚える ブードルの口周りの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第97～99回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのムスタッシュの作り方を覚える ブードルの口周りの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第100～102回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのムスタッシュの作り方を覚える ブードルの口周りの基本的なカット方法を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第103～105回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を覚える ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第106～108回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を覚える ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第109～111回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を覚える ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第112～114回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を覚える ブードルのバンド・チャンネルの入れ方を理解し、適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬
第115～117回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ テリア犬種のブラッキングの方法を覚える ブラッキングの方法を理解し、適切に行うができる				実習用具 モデル犬
第118～120回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ テリア犬種のブラッキングの方法を覚える ブラッキングの方法を理解し、適切に行うができる				実習用具 モデル犬
第121～123回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ テリア犬種のブラッキングの方法を覚える ブラッキングの方法を理解し、適切に行うができる				実習用具 モデル犬
第124～126回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ テリア犬種のブラッキングの方法を覚える ブラッキングの方法を理解し、適切に行うができる				実習用具 モデル犬
第127～129回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ テリア犬種のブラッキングの方法を覚える ブラッキングの方法を理解し、適切に行うができる				実習用具 モデル犬
第130～132回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの顔のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第133～135回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの顔のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第136～138回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの顔のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第139～141回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの顔のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第142～144回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの顔のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第145～147回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの全体のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第148～150回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの全体のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第151～153回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの全体のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第154～156回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの全体のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第157～159回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ウエストハイランドホワイトテリアの全体のトリミング方法を覚える ウエストハイランドホワイトテリアの基本的なカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第160～162回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬
第163～165回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる		マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる				実習用具 モデル犬

2025年度シラバス

第166～168回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる	実習用具 モデル犬
第169～171回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる	実習用具 モデル犬
第172～174回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる	実習用具 モデル犬
第175～177回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる	実習用具 モデル犬
第178～180回	○月○日	カット実習 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げ ブードル種のデザインカット（応用）を覚える ブードルのデザインカットを適切に行うことができる	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 AAVサロントリマー検定1級の実技試験点数にて評価する（2時間決められたカットを行う。モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができていて、実習当番を忘れずにやっている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	美容Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	9	時間数	270	該当資格名称	全国動物専門学校協会サロントリマー検定1級 JKCトリマーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	各現場で通用するトリミング技術方法を覚える。新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。 【注意事項】美容Ⅱは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	各犬種の基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を修得し、目標時間内に仕上げる。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格の取得へ繋げる。 カッティングシザーの正しい持ち方・動かし方を覚えることができる							
受講条件	ペット総合科 トリマーコース在籍 美容Ⅰ単位取得した者							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	PC スクリーン プロジェクター 実習用具				関連サイト	該当なし		
関連前科目	美容Ⅱ				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第181～183回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第184～186回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第187～189回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第190～192回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第193～195回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第196～198回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第199～201回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第202～204回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第205～207回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第208～210回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第211～213回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第214～216回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第217～219回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第220～222回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第223～225回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第226～228回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第229～231回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第232～234回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第235～237回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第238～240回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第241～243回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第244～246回	○月○日	カット実習 時間管理 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 実技試験にむけ、2時間で決められたカット内容を学生1名で1頭仕上げる 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	
第247～249回	○月○日	カット実習 実技試験(AAVサロントリマー検定)	実技試験(AAVサロントリマー検定1級) 実技試験を通じて、決められたカット内容で時間内に仕上げる事ができる				実習用具 モデル犬 AAVサロントリマー検定1級	
第250～252回	○月○日	カット実習 実技試験(AAVサロントリマー検定)	実技試験(AAVサロントリマー検定1級) 実技試験を通じて、決められたカット内容で時間内に仕上げる事ができる				実習用具 モデル犬 AAVサロントリマー検定1級	
第253～255回	○月○日	カット実習 振り回り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー (サマーカット) ブードル学生1名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる				実習用具 モデル犬	

2025年度シラバス

第256～258回	○月○日	カット実習 振り返り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第259～261回	○月○日	カット実習 振り返り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第262～264回	○月○日	カット実習 振り返り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第265～267回	○月○日	カット実習 振り返り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬
第268～270回	○月○日	カット実習 振り返り 学生1名で1頭仕上げる	マルチーズ シーズー（サマーカット）ブードル学生1名で1頭仕上げる 学生1名で1頭仕上げる 2年間の実習を振り返る 時間配分を行い、一人で1頭を適切にカットすることができる	実習用具 モデル犬

成績評価方法

2

成績判定試験：実技試験 AAVサロントリマー検定1級の実技試験点数にて評価する（2時間決められたカットを行う。モデル犬の扱い・ハサミの持ち方・動かし方・コームの持ち方・動かし方）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずに行っている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	2位	2位	1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		犬種別トリミング学Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴		講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定	
教育課程区分		選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	AAVサロントリマー検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹ 各犬種の専門的なグルーミング（手入れ）方法とカッティング技術の習得を目的とする。スタンダードなカットからクリップスタイル、ラッピング技法まで幅広く学び、犬種ごとの特徴に基づいた最適なトリミング技術を身につける。また、パピー・タイプ、サマー・カット、ショークリップなどのスタイルを習得し、実践的なスキルを磨く。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹ 犬種ごとの体型や毛質、スタンダードに合わせた専門的なトリミング技術とクリップスタイルを身につけ、各部位（頭部、ボディ、尾、耳）の適切な処理ができるようになり、さらにラッピング技法やパーティング・ラインの設定も含めた総合的なトリミング技術を実践できる。							
受講条件		¹ ペット総合科 トリマーコース在籍 犬種別トリミングⅠ 単位取得した者							
教科書名		¹ 最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑				教材名	¹ PowerPoint		
設備名・機器名		¹ プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	¹ 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/		
関連前科目		¹ 犬種別トリミング学Ⅰ				関連後科目	¹ 該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始と概要説明／マルチーズのスタンダード解説			授業の目的・目標、進め方の説明、マルチーズのスタンダードな体型と毛質の確認				配布プリント・最新犬種図鑑
第2回	○月○日	マルチーズ サマー・カット (1)			マルチーズの犬種標準に基づく体型と毛質の特徴を説明できる。 マルチーズのパピー・タイプの頭部カット、側望のボディラインの作り方				配布プリント・最新犬種図鑑
第3回	○月○日	マルチーズ サマー・カット (2)			マルチーズの前・後望のカット方法、耳と尾の処理 前望と後望の理想的なカットバランスを理解し説明することができる				最新犬種図鑑
第4回	○月○日	マルチーズ サマー・カット (3)			サマー・カットにおける全体のバランスを理解し、 自然な仕上がりのスタイル構成を説明できる				最新犬種図鑑
第5回	○月○日	シーズー スタンダード解説 頭部カット			シーズーの犬種特性に基づき、 頭部のカット方法と被毛に適したスタイルの考え方を理解し、説明することができる				配布プリント・最新犬種図鑑
第6回	○月○日	ヨークシャー・テリア スタンダード解説			ヨークシャー・テリアの犬種スタンダードを理解し、体型・毛質の 特徴を説明できる				配布プリント・最新犬種図鑑
第7回	○月○日	ヨークシャー・テリア トリミング方法 (1)			顔まわりのカットスタイルと頭部の構成に関する基礎知識を習得する				配布プリント・最新犬種図鑑
第8回	○月○日	ヨークシャー・テリア トリミング方法 (2)			ボディの被毛の長さや質感に応じたトリミングスタイルの考え方を理解し 説明することができる				最新犬種図鑑
第9回	○月○日	ヨークシャー・テリア トリミング方法 (3)			全体のスタイルのバランスや尾の処理の考え方を説明できる				最新犬種図鑑
第10回	○月○日	長毛種のラッピング方法 ラッピングの注意点			長毛種におけるラッピング技法の目的や手順、 ラッピングにおける注意点や対象犬種の特徴を理解し説明することができる				配布プリント
第11回	○月○日	ブードルのベルジアンクリップ 解説・イラスト作成			ブードルのショークリップの目的と ベルジアン・クリップの特徴・構成について理解しイラストを書くことができる				配布プリント
第12回	○月○日	ボメラニアン スタンダード解説			ボメラニアンの犬種特性に基づき、被毛の豊かさを活かしたスタイル設計の考え 方を理解し、全体のシルエットや毛流れを整えるポイントを説明できる				配布プリント・最新犬種図鑑
第13回	○月○日	試験範囲の復習			試験対策のポイント、復習				試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施			受験前の振り返り、受験				成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説			試験問題の答え合わせと解説				試験解説
成績評価方法 ²									
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）： 89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点	
④授業態度				2位	1位		20	可（D）： 69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下	
⑥出席				1位			10		
							不合格の場合	再試験 1 回まで実施	

シラバス作成者	松山 きらら	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	松山 きらら				
				実務経験紹介	-				

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	トリマー演習Ⅰ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	ジャパンケネルクラブ C級トリマーライセンス AAVサロントリマー検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	JKC・トリマーC級ライセンスおよびAAV・サロントリマー1級ライセンス取得のための学科・技術を習得することを目的とする。 特に筆記試験対策およびデザインカットの知識を深め、実践力を向上させる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格合格レベルの技術を習得する（1人で1頭、1時間30分～2時間以内で仕上げる）。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格合格レベルの学科知識を習得する（筆記試験に合格する）。							
受講条件	ペット総合科トリマーコース在籍							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑、学科参考問題集				教材名	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ」（授業担当者作成）、小テスト、スプレッドシート		
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン				関連サイト	一般社団法人ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	トリマー演習Ⅱ		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について JKCトリマーライセンスについて	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 JKCの資格の分類と取得方法 トリマー資格制度の全体像と授業の目的を理解できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第1回目」・配布プリント
第2回	○月○日	トリミング犬種について	試験モデル犬に関して・トリミング犬種の種類と分類・それぞれの技法 犬種別の分類とそれぞれのトリミング技法を説明できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第2回目」・犬種図鑑・配布プリント
第3回	○月○日	ブードルのカットスタイルについて	ブードルのペットクリップとショークリップの種類 ブードルのカットスタイルの違いを理解し、名称を説明できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第3回目」・最新ドッググルーミングマニュアル・Dog Groomers Professional Work Book・小テスト①
第4回	○月○日	AAV認定サロントリマー検定について	AAV認定サロントリマー検定の資格の分類と取得方法 AAV認定試験の概要と受験資格を説明できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第4回目」・配布プリント
第5回	○月○日	ショー見学の結果	ドッグショーにおけるパピークリップとケネル&ラムの共通性 パピークリップとケネル&ラムクリップの特徴を視覚的に識別できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第5回目」・画像資料・小テスト②
第6回	○月○日	トリミング競技会について	競技会の内容・競技会や資格取得試験の攻略のコツ 競技会の形式と試験に向けた準備方法を理解できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第6回目」・配布プリント
第7回	○月○日	グルーミング用語について	グルーミングをするにあたっての専門用語 基本的なグルーミング用語を正しく使える。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第7回目」・学科参考問題集・小テスト③
第8回	○月○日	基本的なイラストの描き方	見本イラストからベルジアンクリップ・ケネル&ラムクリップ(基本となる骨格を考える) 犬体の骨格を理解し、イラストに反映させることができる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第8回目」・見本イラスト
第9回	○月○日	ブードルについて	体躯構成・毛質・毛色・各部分の対比・噛み合わせなど ブードルの体構成や毛の特徴について説明できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第9回目」・配布プリント・小テスト④
第10回	○月○日	イラストの描き方	見本イラスト無しでバランス・形を考え記入 クリップのバランスや形をイメージし、自力で描写できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第10回目」・配布プリント
第11回	○月○日	テリアについて	テリアとは・原産国・毛質について テリア犬種の特徴と毛質を説明できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第11回目」・配布プリント・小テスト⑤
第12回	○月○日	テリアにのカット方法について	カット方法・目的・ブラッキングの作用・ブラッキングナイフの種類・ブラッキング犬種 テリア犬種におけるブラッキング技術の目的と方法を理解できる。	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ第12回目」・配布プリント
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 試験対策としての重要ポイントを復習できる。	試験範囲復習プリント
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 試験前に重要な知識を確認し、自己評価ができる。	成績判定試験用紙
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験結果の振り返りを通じて理解度を深められる。	-

成績評価方法

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 70問(選択問題、空白記入問題)
確認テスト:第3回・第5回・第7回・第9回・第11回の授業内で実施(10分)10問出題
授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S):100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優(A):89点～80点
③課題レポート						なし	良(B):79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D):69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席				1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	松山 きらら	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	松山 きらら
				実務経験紹介	二

2025年度シラバス

科目名	トリマー演習Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	ジャパンケネルクラブ C級トリマーライセンス AAVサロントリマー検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	JKC・トリマーC級ライセンスおよびAAV・サロントリマー1級ライセンス取得のための学科・技術を習得することを目的とする。 特に筆記試験対策およびデザインカットの知識を深め、実践力を向上させる。 トリマー演習Ⅰの内容を踏まえ、実技および学科のさらなるスキルアップを目指す。特に技術的な完成度を高め、試験合格を目標とする							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格合格レベルの技術を習得する（1人で1頭、1時間30分～2時間以内で仕上げる）。 JKC・トリマーC級ライセンス、AAV・サロントリマー1級資格合格レベルの学科知識を習得する（筆記試験に合格する）。							
受講条件	ペット総合科トリマーコース在籍							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、Dog Groomers Professional Work Book、最新犬種図鑑、学科参考問題集				教材名	PowerPoint「トリマー演習Ⅰ」（授業担当者作成）、小テスト、スプレッドシート		
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン				関連サイト	一般社団法人ジャパンケネルクラブ https://www.jkc.or.jp/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	トリマー演習Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上/単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 今後のスケジュール 授業の必要性や目的・スケジュールを把握することができる				配布プリント	
第2回	○月○日	担当モデル犬を選ぶ	サロントリマーに使用するモデル犬をカルテから選ぶ（1回目） 犬のカルテから必要な情報（健康状態、性格、施術歴など）を正確に読み取り、モデル犬を選ぶことができる				ブリーダーカルテ	
第3回	○月○日	義務研修会について	義務研修会を受講するにあたってのマナー・注目して欲しい点 義務研修会の参加意義を理解し、受講マナーを把握することができる				配布プリント	
第4回	○月○日	義務研修会を終えて	義務研修会の内容復習・振り返り・解説 研修を通して得た気づきや学びをもとに、自分の行動や考え方を客観的に振り返ることができる				配布プリント	
第5回	○月○日	学科の模擬試験一犬体名称一	模擬試験の実施と答え合わせ（犬体用語を覚える） 犬体用語の名称と位置を正確に理解し、用語を見て即座にイメージできるようになる				小テスト	
第6回	○月○日	プランニングについて	試験に向け、時間配分を意識するため、ケネルラムクリップ・テディベア・クリップのプランニングシート作成 ケネルラムクリップ（テディベア・クリップ）に必要な工程を把握し、時間配分を考慮したプランニングシートを自ら作成できる				プランニングシート	
第7回	○月○日	学科の模擬試験一骨格名称一	模擬試験の実施と答え合わせ（骨格名称を覚える） 骨格名称の理解と記憶を深めるために、模擬試験を通じて正確に答えることができる				小テスト	
第8回	○月○日	グルーミングにおける衛生管理	ショップで働くにあたって必要な衛生管理 ショップ業務における衛生管理の重要性と基本ルール（手洗い、消毒、清掃など）を説明できる				配布プリント	
第9回	○月○日	学科の模擬試験一美容用語一	模擬試験の実施と答え合わせ（美容用語を覚える） 美容用語の正確な意味と使い方を理解し、模擬試験を通して意味を覚えることができる				小テスト	
第10回	○月○日	ショップにおける知識と対応	ショップで働くにあたって必要な知識と対応方法 ショップ業務で求められる基礎知識を習得し、お客様対応や問題解決に適切に対応できるようになる				配布プリント	
第11回	○月○日	学科の模擬試験一ブードル一	模擬試験の実施と答え合わせ（ブードルのスタンダードを覚える） ブードルのスタンダード（標準規格）を正確に理解し、模擬試験を通じて知識を定着させることができる				小テスト	
第12回	○月○日	学科の模擬試験一テリア一	模擬試験の実施と答え合わせ（テリア犬種を覚える） テリア犬種の特徴や分類を正しく理解し、模擬試験を通じて知識を定着させることができる				小テスト	
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 試験ポイントを説明し、復習プリントを仕上げる事ができる				試験範囲説明 復習プリント	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 試験実施				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題解答を行い、前期復習ができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 70問（選択問題、空白記入問題） 確認テスト：第3回・第5回・第7回・第9回・第11回の授業内で実施（10分）10問出題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度		2位			1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	松山 きらら	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	松山 きらら
				実務経験紹介	二

2025年度シラバス

科目名	犬種別トリミング学Ⅲ		学科名 (コース名)	ペット総合科 (トリマーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	JKC公認トリマーC級ライセンス AAVサロントリマー1級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		トリマーとして、専門的な各犬種別のトリミング方法を覚え、1年次より深く犬種を知り、様々なカットやクリッピング方法を身に付けて知識や技術を現場に応じて活用ができる。					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		各犬種に応じたグルーミング(手入れ)・カット(カット・整毛)・ブラッキング(抜毛)等の技法を習得し、ヒトと共存する上でイヌ・ネコが健康的にかつ快適に生活ができるように顧客に対して知識・技術が提供できる。					
受講条件		ペット総合科 トリマーコース在籍 「トリマー演習」、「美容Ⅱ」、「美容Ⅲ」授業とリンクし、トリマーライセンス筆記試験や実技試験にも対応した教科となる。 「犬種別トリミングⅠ」及び「犬種別トリミングⅡ」の単位取得必須。					
教科書名		エデュワードプレス 「最新 犬種図鑑」 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 「最新 ドッググルーミング マニュアル」		教材名	エデュワードプレス 「ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ ワークブック」 オリジナル プリント		
設備名・機器名				該当なし		関連サイト	該当なし
関連前科目		グルーミング基礎学、グルーミングⅠ、美容Ⅰ 犬種別トリミング学Ⅰ、犬種別トリミング学Ⅱ 美容Ⅱ、美容Ⅲ		関連後科目	犬種別トリミング学Ⅳ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について ブードル犬種 スタンダード	教員自己紹介、授業の必要性、授業概要・目的・目標・他教科との関連性、授業の進め方、評価方法、その他の説明、アンケート ブードル犬種 スタンダード テキストのライン引きと解説				最新 犬種図鑑 P.184～ 185
第2回	○月○日	ブードル ケネル&ラムクリップ ・頭部	ケネル&ラムクリップ トリミング方法 ・頭部 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント配布
第3回	○月○日	ブードル ケネル&ラムクリップ ・側望	ケネル&ラムクリップ トリミング方法 ・側望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント
第4回	○月○日	ブードル ケネル&ラムクリップ ・上望 ブードル犬種について ・歴史、罹患率	ケネル&ラムクリップ トリミング方法 ・上望 をプリントに板書し、解説 ブードル犬種について ・歴史、罹患率(罹りやすい病気について) ノートに板書し、解説				オリジナルプリント
第5回	○月○日	ブードル犬種について ・理想的体型、体型別タイプ ・様々なカット、好まれる理由 ・グルーミングの手順 ブッシング、ユミング、イヤークア	ブードル犬種全般の説明 ・理想的体型、体型別タイプ、様々なカット、好まれる理由 ・グルーミングの手順：ブラッシング・コーミング・イヤークア等 ノートに板書し、解説				
第6回	○月○日	ブードル犬種について ・トリミングの手順 クリッピングの注意点 クリップ・バーン シャブ・&デ・イカリシツク (前半)	ブードル犬種全般の説明 ・トリミングの手順：クリッピング、クリッパーバーンの原因 シャブ・&デ・イカリシツク (前半) ノートに板書し、解説				
第7回	○月○日	ブードル犬種について ・トリミングの手順 シャブ・&デ・イカリシツク (後半) ドライグ カット・&チップ	ブードル犬種全般の説明 ・トリミングの手順：シャブ・&デ・イカリシツク (後半)、ドライグ時の注意点 ・トリミングの手順：カット・&チップ時の注意点等について ノートに板書し、解説				
第8回	○月○日	ブードル犬種について ・形作りにおけるバリエーション 耳・四肢・トップノット	ブードル犬種 形作りにおけるバリエーションについて ・耳及び四肢の付属器官 ・トップノット ノートに板書し、解説				
第9回	○月○日	ブードル犬種について ・形作りにおけるバリエーション ムスタッシュ シザーリング犬種 ＜ピジョン・フリーゼ＞ スタンダード トリミング方法 頭部 (前半)	ブードル犬種 形作りにおけるバリエーションについて ・ムスタッシュ ノートに板書し、解説 ピジョン・フリーゼ スタンダード テキストのライン引きと解説 ピジョン・フリーゼ トリミング方法 ・頭部 (前半) を板書し、解説				最新 犬種図鑑 P.168 オリジナルプリント配布
第10回	○月○日	シザーリング犬種 ＜ピジョン・フリーゼ＞ トリミング方法 ・頭部 (後半)、側望	ピジョン・フリーゼ トリミング方法 ・頭部 (後半)、側望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント
第11回	○月○日	シザーリング犬種 ＜ピジョン・フリーゼ＞ トリミング方法 前望、後望 スイニング犬種 ＜アメリカン・コッカー・スパニエル＞ スタンダード トリミング方法 側望	ピジョン・フリーゼ トリミング方法 ・前望、後望 をプリントに板書し、解説 アメリカン・コッカー・スパニエル スタンダード テキストのライン引きと解説 アメリカン・コッカー・スパニエル ペット・トリミング方法 ・側望 をプリントに板書し、解説				最新 犬種図鑑 P.152 オリジナルプリント配布
第12回	○月○日	スイニング犬種 ＜アメリカン・コッカー・スパニエル＞ トリミング方法 ・前望、後望、頭部 (前半) 前期末試験範囲プリント配布・説明	アメリカン・コッカー・スパニエル ペット・トリミング方法 ・前望、後望、頭部 (前半) をプリントに板書し、解説 前期末試験範囲プリント配布・説明				オリジナルプリント 前期末試験範囲プリント配布
第13回	○月○日	スイニング犬種 ＜アメリカン・コッカー・スパニエル＞ トリミング方法 頭部 (後半) ＜イングリッシュ・コッカー・スパニエル＞ スタンダード	アメリカン・コッカー・スパニエル ペット・トリミング方法 ・頭部 (後半) をプリントに板書し、解説 イングリッシュ・コッカー・スパニエル スタンダード テキストのライン引きと解説				オリジナルプリント 最新 犬種図鑑 P.156
第14回	○月○日	振り返り授業 成績判定試験	受験前の振り返り・復習 成績判定試験の実施				成績判定試験実施
第15回	○月○日	成績判定試験の解答・解説 ＜イングリッシュ・コッカー・スパニエル＞ ・側望	成績判定試験の解答と解説 イングリッシュ・コッカー・スパニエル ペット・トリミング方法 ・側望 をプリントに板書し、解説				成績判定試験返却 オリジナルプリント配布

2025年度シラバス

成績評価方法 出席率 80%以上 総合成績点（総合評価…試験素点 70%＋出欠席点 10%＋授業態度点 20% に換算する） 60点以上							
成績判定試験：前期末試験を第14回の授業内で実施（50分） 100点満点問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の無関係内容の私語・指示以外のスマホ使用等への指導後、改善されない場合は毎回2点を減点） 試験点100点満点を70%換算にし、出席点・授業態度点を加算の上での総合得点が60点以上、及び出席率80%であることを合格基準とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）：59点以下
②確認テスト						なし	
③課題レポート						なし	
④授業態度（出欠席点…10点を含む）			2位	1位		30	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	五郎畑 通与	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	五郎畑 通与
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/gorohata/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名	犬種別トリミング学Ⅳ		学科名 (コース名)	ペット総合科 (トリマーコース)			学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	15	該当資格名称	JKC公認トリマーC級ライセンス AAVサロントリマー1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		トリマーとして、専門的な各犬種別のトリミング方法を覚え、1年次より深く犬種を知り様々なカッティングやクリッピング方法を身に付けて、知識や技術を現場に応じて活用ができる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		各犬種に応じたグルーミング(手入れ)・カッティング(カット・整毛)・ブラッキング(抜毛)等の技法を習得し、ヒトと共存する上でイヌ・ネコが健康的にかつ快適に生活ができるように顧客に対して知識・技術が提供できる。						
受講条件		ペット総合科 トリマーコース在籍 「トリマー演習」、「美容Ⅱ」、「美容Ⅲ」授業とリンクし、トリマーライセンス筆記試験や実技試験にも対応した教科となる。 「犬種別トリミングⅢ」の単位取得後に受講可能						
教科書名		エデュワードプレス 「最新 犬種図鑑」 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 「最新 ドッググルーミングマニュアル」			教材名	エデュワードプレス 「ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック」 オリジナル プリント		
設備名・機器名		該当なし			関連サイト	該当なし		
関連前科目		グルーミング基礎学 犬種別トリミング学Ⅰ、犬種別トリミング学Ⅱ グルーミングⅠ、美容Ⅰ			関連後科目	該当なし		
授業計画(授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	スイニング犬種 ＜イグリスシュ・コッカー・スパニエル＞ トリミング方法 ・頭部 ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ミニチュア・シュナウザー＞ スタンダード	イギリスッシュ・コッカー・スパニエル ペット・トリミング方法 ・頭部 をプリントに板書し、解説 ミニチュア・シュナウザー スタンダード テキストのライン引きと解説				オリジナルプリント 最新 犬種図鑑 P.59	
第2回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ミニチュア・シュナウザー＞ トリミング方法 ・頭部(前半)	ミニチュア・シュナウザー ペット・トリミング方法 ・頭部(前半) をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント配布	
第3回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ミニチュア・シュナウザー＞ トリミング方法 ・頭部(後半)、側望	ミニチュア・シュナウザー ペット・トリミング方法 ・頭部(後半)、側望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント	
第4回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ミニチュア・シュナウザー＞ トリミング方法 ・前望、後望 ワイアー・フォックス・テリア スタンダード(前半)	ミニチュア・シュナウザー ペット・トリミング方法 ・前望、後望 をプリントに板書し、解説 ワイアー・フォックス・テリア スタンダード(前半) テキストのライン引きと解説				最新 犬種図鑑 P.98	
第5回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ワイアー・フォックス・テリア＞ スタンダード(後半) トリミング方法 ・頭部	ワイアー・フォックス・テリア スタンダード(後半) テキストのライン引きと解説 ワイアー・フォックス・テリア ペット・トリミング方法 ・頭部 をプリントに板書し、解説				最新 犬種図鑑 P.98 オリジナルプリント配布	
第6回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ワイアー・フォックス・テリア＞ トリミング方法 ・側望	ワイアー・フォックス・テリア ペット・トリミング方法 ・側望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント	
第7回	○月○日	ブラッキング犬種(長脚テリア) ＜ワイアー・フォックス・テリア＞ トリミング方法 ・前望、後望 ブラッキング犬種(短脚テリア) ＜スコティッシュ・テリア＞ スタンダード	ワイアー・フォックス・テリア ペット・トリミング方法 ・前望、後望 をプリントに板書し、解説 スコティッシュ・テリア スタンダード テキストのライン引きと解説				オリジナルプリント 最新 犬種図鑑 P.90	
第8回	○月○日	ブラッキング犬種(短脚テリア) ＜スコティッシュ・テリア＞ トリミング方法 ・頭部	スコティッシュ・テリア ペット・トリミング方法 ・頭部 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント配布	
第9回	○月○日	ブラッキング犬種(短脚テリア) ＜スコティッシュ・テリア＞ トリミング方法 ・側望、前望、後望	スコティッシュ・テリア ペット・トリミング方法 ・側望、前望、後望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント	
第10回	○月○日	ブラッキング犬種(短脚テリア) ＜ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア＞ スタンダード トリミング方法 ・頭部	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア スタンダード テキストのライン引きと解説 ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア ペット・トリミング方法 ・頭部 をプリントに板書し、解説				最新 犬種図鑑 P.97 オリジナルプリント配布	
第11回	○月○日	ブラッキング犬種(短脚テリア) ＜ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア＞ トリミング方法 ・側望、前望、後望	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア ペット・トリミング方法 ・側望、前望、後望 をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント	
第12回	○月○日	シザーリング犬種(長脚テリア) ＜ベドリントン・テリア＞ スタンダード トリミング方法 ・頭部(前半) 学期末試験範囲プリント配布	ベドリントン・テリア スタンダード テキストのライン引きと解説 ベドリントン・テリア ペット・トリミング方法 ・頭部(前半) をプリントに板書し、解説 学期末試験範囲プリント配布、説明				最新 犬種図鑑 P.74 オリジナルプリント配布 試験範囲プリント配布	
第13回	○月○日	シザーリング犬種(長脚テリア) ＜ベドリントン・テリア＞ トリミング方法 ・頭部(後半)	ベドリントン・テリア ペット・トリミング方法 ・頭部(後半) をプリントに板書し、解説				オリジナルプリント	
第14回	○月○日	振り返り授業 成績判定試験	受験前の振り返り・復習 成績判定試験の実施				成績判定試験実施	
第15回	○月○日	成績判定試験の解答・解説 シザーリング犬種(長脚テリア) ＜ベドリントン・テリア＞ トリミング方法 ・側望 教科まとめ	・側望 をプリントに板書し、解説 成績判定試験の解答と解説 他の犬種のペット・トリミング方法についての説明 教科まとめ				オリジナルプリント プリント配布	

2025年度シラバス

成績評価方法 出席率 80%以上 総合成績点（総合評価…試験素点 70%＋出欠席点 10%＋授業態度点 20% に換算する） 60点以上							
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 100点満点問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の無関係内容の私語・指示以外のスマホ使用等への指導後、改善されない場合は毎回2点を減点） 試験点100点満点を70%換算にし、出席点・授業態度点を加算の上での総合得点が60点以上、及び出席率80%であることを合格基準とする ※授業の進行状況によって、12回目・13回目・15回目で学ぶ予定犬種が未履修になった場合は参考資料プリントを配布							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度（出欠席点…10点を含む）			2位	1位		30	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験 1 回まで実施
シラバス作成者	五郎畑 通与	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	五郎畑 通与		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/gorohata/		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者（確認者）	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名	訓練Ⅰ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	SAE公認家庭犬訓練士	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		ドッグ・スポーツを通して、犬とのコミュニケーション力向上を行う。 社会で自立するための技術・知識の向上と社会貢献ができる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ドッグ・スポーツを通じて犬との適切なコミュニケーション方法を身につけ、信頼関係を築くことができる 犬と関わる活動を通して、社会で必要とされる責任感・主体性・協調性を身につけることができる						
受講条件		ペット総合科ドッグトレーナーコースに在籍						
教科書名		該当なし			教材名		該当なし	
設備名・機器名		DVDデッキ・テレビ・白板			関連サイト		該当なし	
関連前科目		家庭犬訓練Ⅱ			関連後科目		訓練Ⅱ	

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1-2回	○月○日	授業開始について、注意事項の確認、ドッグスポーツの概要	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方、成績について ドッグ・スポーツの種類、訓練競技会、フライボールについて 授業の目的と概要を説明できる			モデル犬		
第3-4回	○月○日	安全管理とドッグダンス入門	ドッグ・スポーツを安全に楽しむために 基礎的なドッグダンス導入 安全管理項目を3つ以上挙げ、実施できる			モデル犬		
第5-6回	○月○日	トレーニング準備	準備の理論と実践 トレーニング前に行うべき準備を5つ以上説明できる			モデル犬		
第7-8回	○月○日	集中力向上と練習方法	犬の集中を引き出す方法 集中を高める手法を3つ以上実践できる			モデル犬		
第9-10回	○月○日	進捗とアフターケア	トレーニングの進め方、アフター・ケア 訓練後のケア方法を2つ以上実行できる			モデル犬		
第11-12回	○月○日	ディスク導入	ディスク・ドッグの基本 ディスクを使った動作を2パターン実演			モデル犬		
第13-14回	○月○日	脳と行動学の基礎	犬の脳構造と行動特性 行動と脳の関連を図示または口頭で説明できる			モデル犬		
第15-16回	○月○日	行動と脳の関連を図示または口頭で説明できる	記憶の種類と応用方法 短期・長期記憶の違いを具体例と共に説明できる			モデル犬		
第17-18回	○月○日	強化理論	強化・弱化的理論 4種類の強化・弱化的を正確に分類できる			モデル犬		
第19-20回	○月○日	条件付けと脱感作	行動修正技術（拮抗条件付け、系統的脱感作）について 2種類の条件付けを比較して説明できる			モデル犬		
第21-22回	○月○日	音刺激と反応	犬の音に対する反応について 音刺激に対する反応を3パターン以上説明できる			モデル犬		
第23-24回	○月○日	映像学習（前編）	DVDによる実技確認・DVD観賞（前編） 映像内の動作を5つ以上正確に説明できる			DVDデッキ・テレビ		
第25-26回	○月○日	映像学習（後編）	DVD内容の動作分析・DVD観賞（後編） 改善点を2つ以上言語化できる			DVDデッキ・テレビ		
第27-28回	○月○日	小テストと実技試験	筆記・ドッグダンスの実演 筆記で80%以上、実技で70%以上の再現度で実施できる			モデル犬		
第29-30回	○月○日	振り返りとクリッカー	テストの解説とクリッカー技術の紹介 クリッカーの使用手順を3段階に分けて説明できる			モデル犬		

成績評価方法							
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 筆記試験とドッグダンス実演 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の無関係内容の私語・指示以外のスマホ使用等への指導後、改善されない場合は毎回2点を減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位		1位	1位	20	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	10	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小泉 秀明
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/koizumi/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				

2025年度シラバス

科目名	訓練Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	SAE公認家庭犬訓練士	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ドッグ・スポーツを通して、犬とのコミュニケーション力向上を行う。 社会で自立するための技術・知識の向上と社会貢献ができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ドッグ・スポーツを通じて犬との適切なコミュニケーション方法を身につけ、信頼関係を築くことができる 犬と関わる活動を通して、社会で必要とされる責任感・主体性・協調性を身につけることができる SAE公認家庭犬訓練士に合格することができる							
受講条件	ペット総合科ドッグトレーナーコースに在籍							
教科書名	該当なし				教材名	該当なし		
設備名・機器名	DVDデッキ・テレビ・白板				関連サイト	該当なし		
関連前科目	訓練Ⅰ				関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	授業開始について、注意事項の確認 欲求と動機づけ	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方、成績について 犬の欲求分類と対応 欲求を4つに分類し、行動例を挙げられる	モデル犬
第3-4回	○月○日	本能と環境適応	行動の起源と本能行動 本能的行動を2例以上挙げて説明できる	モデル犬
第5-6回	○月○日	犬種ごとの能力（前編）	犬種の特徴と適性① 3犬種の能力差を説明し訓練方法を提案できる	モデル犬
第7-8回	○月○日	犬種ごとの能力（後編）	犬種の特徴と適性② 適性に応じた指導方針を2種類以上示せる	モデル犬
第9-10回	○月○日	感覚の優先順位	感覚情報の脳内処理 感覚の優先順位を図示し説明できる	モデル犬
第11-12回	○月○日	実用的技術の導入	応用トレーニング手法 2種類以上の応用技術を取り入れた訓練ができる	モデル犬
第13-14回	○月○日	脳と行動学の基礎 小テストと評価	犬の脳構造と行動特性 行動と脳の関連を図示または口頭で説明できる 筆記および行動評価 筆記で80%以上、行動分析の精度70%以上を達成できる	モデル犬
第15-16回	○月○日	アジリティーの基本	アジリティーの導入と練習 障害物を3種類以上用いた実技ができる	モデル犬
第17-18回	○月○日	融合トレーニング	シェパードとアジリティーの融合 2種類以上の技術を連続的に組み合わせ使用できる	モデル犬
第19-20回	○月○日	アジリティー中級	複雑なコースへの挑戦 中級レベルのコースを80%以上の正確さでクリアできる	モデル犬
第21-22回	○月○日	アジリティー上級	総合的な調整と修正 上級コースを試行し、2か所以上改善点を自ら指摘できる	モデル犬
第23-24回	○月○日	実技試験	シェパード・アジリティー試験 指定された課題の80%以上を達成できる	DVDデッキ・テレビ
第25-26回	○月○日	映像学習（後編） 総合練習（前編）	DVD内容の動作分析・DVD観賞（後編） 改善点を2つ以上言語化できる 総復習と確認 習得技術のうち5項目以上を組み合わせ実演できる	DVDデッキ・テレビ
第27-28回	○月○日	総合練習（後編）	精度向上とフィードバック 自身の演技を録画し、改善点を3つ以上指摘できる	モデル犬
第29-30回	○月○日	最終振り返り	学びの整理と自己評価 自己評価表で90%以上の目標達成を報告できる	モデル犬

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 筆記試験とドッグダンス実演
確認テスト：授業内で実施
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の無関係内容の私語・指示以外のスマホ使用等への指導後、改善されない場合は毎回2点を減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位		1位	1位	20	優（A）：89点～80点
③課題レポート							良（B）：79点～70点
④授業態度	2位	2位	2位	1位	1位	10	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小泉 秀明
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/koizumi/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					

2025年度シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	2年次からの専門的なコース授業開始に向けて、犬種を熟知し自分に相応するパートナーモデル犬種を見極める。 訓練とはどんなことか、どのように行うのかを覚える 1頭以上のモデル犬に訓練を入れ、JKC競技会に出場する。 犬を飼養する意義を考え、自分に合ったパートナーモデル犬を決定し、トレーナーとの絆を深めながら基本的なコントロール方法を覚え身に付ける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	2年次からの授業をスムーズに移行できるパートナーを選び、必要な訓練の実践ができる。 JKC訓練競技会出場と、CD1Sクラスの訓練犬試験に合格する。 犬を飼養する人へ適切なアドバイスができる。							
受講条件	ペット総合科ドッグトレーナーコース在籍 家庭犬訓練Ⅰ単位取得した者							
教科書名	該当なし				教材名	該当なし		
設備名・機器名	ホワイトボード パートナー犬				関連サイト	該当なし		
関連前科目	家庭犬訓練Ⅰ				関連後科目	訓練Ⅰ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	授業開始について リードの扱い方(1)	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方、成績について リードの使い方、テンションのかけ方練習 リードの基本的な構造と種類を理解し、目的に応じて適切に使い分けができる	モデル犬
第3-4回	○月○日	なぜ犬を飼うのか(1) リードの扱い方(2)	犬を飼うための準備(自分自身を振り返る①) リードワーク(張り方・緩め方) リードを使った犬とのコミュニケーションの基本を実践し、安全かつ穏やかに犬を誘導できる	モデル犬
第5-6回	○月○日	なぜ犬を飼うのか(2) 呼び出し(1)	本当に犬を飼えるのか(自分自身を振り返る②) 呼び戻し(リード使用) 呼び戻しの際の声のトーン・タイミング・褒め方など、犬に伝わりやすいコミュニケーションの方法を実践できる	モデル犬
第7-8回	○月○日	なぜ犬を飼うのか(3) 呼び出し(2)	犬を飼うための準備(犬を見極める)① 呼び戻し(ハンド・タッチ、リード無し) 犬との基本的なコミュニケーション技術(呼び戻し)を理解し、実践することができる	モデル犬
第9-10回	○月○日	なぜ犬を飼うのか(4) 呼び出し(3)	犬を飼うための準備(犬を見極める)② 呼び戻し(難易度を上げる) 呼び戻しのトレーニングを応用レベルに引き上げ、様々な状況下でも確実に犬が反応できるよう	モデル犬
第11-12回	○月○日	成犬を家に迎入れる キューについて(1)	成犬を家に迎入れる準備 声・視・体符の使い方 犬とのコミュニケーションに必要な声掛け・視線・身体のサイン(体符)を適切に使いこなせるようになる	モデル犬
第13-14回	○月○日	子犬を飼う前に(1) キューについて(2)	子犬選びと飼う時期について Yes・Noの使い方 犬にわかりやすく伝えるための「Yes」「No」の使い方を理解し、しつけにおいて正しく活用できるようになる	モデル犬
第15-16回	○月○日	子犬を飼う前に(2) 校外学習 マテ(1)	成長段階ごとに必要な運動量と内容(散歩・遊び・頭を使う運動)を理解し説明することができる	モデル犬
第17-18回	○月○日	子犬を飼う前に(3) マテ(2)	子犬の発達診断 マテの強化② 子犬の身体的・行動的な発達段階を正しく理解し、成長に応じた接し方やしつけができるようになる	モデル犬
第19-20回	○月○日	子犬を飼う前に(4) クリッカー・トレーニング(1)	家庭犬の気質テストについて クリッカー・トレーニング(コンディショニング) クリッカーの音とご褒美を結びつけることで、犬が音を「良いことの合図」と認識する仕組みを説明できる	モデル犬
第21-22回	○月○日	子犬の学習の期限(1) クリッカー・トレーニング(2)	子犬を家に迎入れる クリッカー・トレーニング(自発行動を引き出す) 子犬が自分で考えて動く力を育てるために、クリッカーを使って自発的な行動を引き出し、強化できるようになる	モデル犬
第23-24回	○月○日	子犬の学習の期限(2) クリッカー・トレーニング(3)	人への社会化 クリッカー・トレーニング(ターゲット) 子犬期に人と良い関係を築く経験が、将来の問題行動予防につながることを説明できる	モデル犬
第25-26回	○月○日	パピーテスト	パピーテストを実際に行う 子犬の気質や行動傾向を客観的に評価するために、パピーテストを正しい手順で実施し、観察・記録・評価ができるようになる。	モデル犬
第27-28回	○月○日	成績判定試験 訓練競技会について(1)	成績判定試験実施 訓練競技会出場における心構え	成績判定試験 モデル犬
第29-30回	○月○日	授業を終えて 訓練競技会について(2)	小テストの振り返り 訓練競技会における指導者と犬の関係	

成績評価方法

2

成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題
 授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点)
 モデル犬使用の授業では教員の指示に従い行動できているか
 出席点：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする
 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	70	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位	1位	20	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席点			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小泉 秀明	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小泉 秀明			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/koizumi/			

2025年度シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	通期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		犬を良く知ること、専門的なしつけ学を学ぶ(家庭犬訓練の学科と実技内容を知る) 犬のトレーニングについての考え方・接し方・実技を学び、覚える。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ゲームや遊びを実技に取り入れ、犬が楽しみながら飽きずにトレーニングする方法を覚え、考える力を身に付ける。 問題行動のある場合は、改善策を講ずることができる。						
受講条件		ペット総合科ドッグトレーナーコースに在籍						
教科書名		適宜テキストを配布			教材名	該当なし		
設備名・機器名		テレビ・白板			関連サイト	該当なし		
関連前科目		家庭犬訓練Ⅱ			関連後科目	なし		
2								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1-2回	○月○日	授業導入とガイダンス	自己紹介、授業概要の説明 授業概要を説明できる				シラバス・担当犬	
第3-4回	○月○日	犬の起源と進化	オオカミとイヌの違いを覚える オオカミとイヌの相違点を2点以上説明できる				担当犬	
第5-6回	○月○日	犬種の成立と選択の背景	人為選択と自然選択 人為選択と自然選択の違いを例示できる				担当犬	
第7-8回	○月○日	個体差と共通点の理解	イヌによって違うことと同じこと イヌの個体差と共通点を各2つ以上挙げられる				担当犬	
第9-10回	○月○日	犬の行動特性	イヌの考えと行動 イヌの行動パターンを状況別に3つ以上説明できる				担当犬	
第11-12回	○月○日	トレーニングの意義	イヌを作るってどういうこと？ トレーニングの必要性和目的を説明できる				フリスビー・担当犬	
第13-14回	○月○日	判断力を見るゲーム	YES・NOゲーム YESとNOの判断を用いた行動反応の違いを説明できる				担当犬	
第15-16回	○月○日	行動の評価と操作	ほめる・叱る・かまう・無視 各行動の効果を1つずつ説明できる				担当犬	
第17-18回	○月○日	イヌとヒトの思考比較	イヌとヒトの思考の違い 思考の違いを2点以上挙げられる				担当犬	
第19-20回	○月○日	犬と飼い主の認識差	飼い主との思考差 認識の違いを事例で説明できる				担当犬	
第21-22回	○月○日	計画の立て方	トレーニングスケジュール(前編) スケジュールを立案できる				担当犬	
第23-24回	○月○日	評価改善の仕方	トレーニングスケジュール(後編) 修正点を2つ以上挙げられる				担当犬	
第25-26回	○月○日	ヒトとの接し方の工夫	ヒトと接する時の態度 態度の影響を2例以上説明できる				担当犬	
第27-28回	○月○日	前期のまとめと復習	態度の影響を2例以上説明できる 要点を5つ以上復習できる				テスト用紙・担当犬	
第29-30回	○月○日	うまくいく理由を考える	なぜうまくいくか 成功要因を3つ言語化できる				テスト用紙・担当犬	
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) モデル犬使用の授業では教員の指示に従い行動できているか 出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位		1位	1位	70	秀(S)：100点～90点
②確認テスト							なし	優(A)： 89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)： 79点～70点
④授業態度				2位	1位	1位	20	可(D)： 69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥出席							10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	新江 健史
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅳ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)			学年	2学年		
授業形態	実習		学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし			
教育課程区分	選択必修		単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		犬を良く知ること、専門的なしつけ学を学ぶ（家庭犬訓練の学科と実技内容を知る） 犬のトレーニングについての考え方・接し方・実技を学び、覚える。									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ゲームや遊びを実技に取り入れ、犬が楽しみながら飽きずにトレーニングする方法を覚え、考える力を身に付ける。 問題行動のある場合は、改善策を講ずることができる。									
受講条件		ペット総合科ドッグトレーナーコースに在籍									
教科書名					適宜テキストを配布					教材名	該当なし
設備名・機器名					テレビ・白板					関連サイト	該当なし
関連前科目					家庭犬訓練Ⅱ					関連後科目	該当なし

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	犬の欲求と動機づけ	イヌの欲求分類と動機づけ 欲求を4分類し、具体例を挙げられる	シラバス・担当犬
第3-4回	○月○日	安全管理とドッグダンス入門	ドッグダンスと安全管理 安全管理を3点以上実行できる	担当犬
第5-6回	○月○日	犬種別能力理解(前編)	犬種別能力の理解(前編) 3犬種の特徴を説明できる	担当犬
第7-8回	○月○日	犬種別能力理解(後編)	犬種別能力の理解(後編) 適性に合った訓練方法を2種類示せる	担当犬
第9-10回	○月○日	犬の行動特性	感覚の優先順位とケア 感覚の順序を図で説明できる	担当犬
第11-12回	○月○日	ディスクトレーニング	ディスク導入 ディスク操作を2パターン実演できる	フリスビー・担当犬
第13-14回	○月○日	脳と行動のつながり	脳と行動の基礎 脳と行動の関係を図示説明できる	担当犬
第15-16回	○月○日	アジリティー基礎訓練	アジリティーの基本 障害物を使って基本操作を行える	担当犬
第17-18回	○月○日	融合トレーニングの応用	融合トレーニング 2種類の訓練技術を統合できる	担当犬
第19-20回	○月○日	条件づけと行動修正	条件付けと脱感作 2種類の条件付けを比較できる	担当犬
第21-22回	○月○日	音刺激と上級コース挑戦	アジリティー上級と音刺激 上級コースを試行し改善点を指摘できる	担当犬
第23-24回	○月○日	映像で見る動作と試験	映像学習と実技 映像内容を5点以上説明できる	担当犬
第25-26回	○月○日	映像復習と総合練習	映像学習(後編)と総合練習 技術5項目以上を実演できる	担当犬
第27-28回	○月○日	自己分析と改善	技術5項目以上を実演できる 演技を録画し改善点を3つ挙げられる	テスト用紙・担当犬
第29-30回	○月○日	クリッカーと総まとめ	クリッカーと最終振り返り クリッカーの使い方を3段階で説明できる	テスト用紙・担当犬

成績評価方法							
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題 授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) モデル犬使用の授業では教員の指示に従い行動できているか 出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		3位		2位	1位	60	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		40	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	新江 健史
				実務経験紹介	二
更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					

科目名	パピーケアⅡ			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		1年次の履修内容より深く専門的に、犬の生後1ヵ月から1歳になるまでのしつけ・栄養・健康・飼育上の注意点等を見る。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		総合的視野から犬の成長に必要な知識を深く覚える。 発達段階に応じた行動の特徴を理解し、適切なしつけ方法を説明できる						
受講条件		ドッグトレーナーコース在籍 パピーケアⅠ単位取得した者						
教科書名		該当なし			教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト	該当なし		
関連前科目		パピーケアⅠ			関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	授業について 仔犬との接し方 ケアの仕方		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 仔犬との接し方・ケアの仕方 仔犬の発達段階（月齢別）の特徴を理解し、適切な接し方を説明できる				—
第3-4回	○月○日	仔犬を迎える		仔犬を迎える準備 仔犬を迎える前に必要な物品とその役割を説明できる				—
第5-6回	○月○日	コマンドの確認 (アイコンタクト・マズルコントロール・シャドーイング)		コマンドの確認（アイコンタクト・マズルコントロール・シャドーイング） 犬との信頼関係構築や問題行動の予防において、各コマンドがどのように機能するかを具体的な場面で説明できる				—
第7-8回	○月○日	体チェック方法 社会化見学		体チェック方法、社会化見学 犬の健康状態を日常的に確認するための体チェックの項目を理解し、それぞれのチェックポイントを言葉で説明できる 社会化期の特徴と、その時期に必要な経験・刺激の種類を説明できる				—
第9-10回	○月○日	幼年期		リードとカラーの主な種類とそれぞれの特徴・用途を説明できる 散歩中の事故やトラブルを防ぐための基本的な安全管理と、公共マナーの重要性を説明できる				—
第11-12回	○月○日	実習トレーニング		実習トレーニング導入 オペディエンス 基本的なコマンド（スワレ・フセ・マテ・コイ・ツケ等）の意味と指導手順を理論的に説明できる				—
第13-14回	○月○日	実習トレーニング オペラント条件づけ		オペラントの条件づけ おいで・まて オペラント条件づけの基本原則を理解し、用語の意味を正しく説明できる おいで まてを安全面・日常生活の中でどのように活用するかを説明できる				—
第15-16回	○月○日	実習トレーニング 復習 ふせ ヒール		ふせ・ヒール コマンドの的確な出し方 ふせ ヒールのコマンドを犬に教える際の基本的な手順と理論を理解し、それぞれのコマンドの目的を説明できる				—
第17-18回	○月○日	パピースクール しつけ教室		パピースクールについて しつけ教室 パピースクール（子犬のしつけ教室）の目的と重要性を理解し、社会化期の犬に与える影響を説明できる				—
第19-20回	○月○日	ペットアドバイザー		ペットアドバイザー 役割を変えて体験授業 ペットに関する法的な知識を理解し、飼い主に適切なアドバイスをを行うことができる				—
第21-22回	○月○日	犬の行動		やめてほしいくせ トイレ・グループ別アイコンタクト 噛みつき、吠え癖、ゴミ漁りなどの原因を理解し、それらを修正するための効果的なトレーニング方法を説明できる				—
第23-24回	○月○日	犬を教えるフォーメーション		犬を教えるフォーメーション 犬を教えるフォーメーションの目的と重要性を理解し、複数の犬を使ったトレーニングのメリットを説明できる				—
第25-26回	○月○日	ドッグトレーナー アシスト オーナー		ドッグトレーナー アシスト オーナー それぞれの仕事内容や役割を理解する				—
第27-28回	○月○日	リーダーシップ		リーダーシップ 犬の育児計画 待てをさせよう リーダーシップの重要性を理解し、犬との信頼関係を構築するための方法を実践できる				—
第29-30回	○月○日	試験実施 試験振り返り		成績判定試験（実技） 犬に考えさせる 発想を持ったしつけの仕方				成績判定試験 試験解説
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題） 課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位		1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート		1位		2位			10	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	2位	1位	1位	20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小笠原 季輝		
				実務経験紹介	二		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Checker(確認者)
改1							
改2							

2025年度シラバス

科目名	ハンドリング			学科 (コース)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	JKC公認ハンドラーC級ライセンス	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ハンドリングの知識と技術を覚える。 犬種のコントロール方法を理解し、犬をより深く愛せるハンドラーになる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	JKC ハンドラーC級ライセンスに合格する。							
受講条件	ペット総合科 ドッグトレーナーコースに在籍 担当犬と共に受講							
教科書名	犬種図鑑・ハンドリングマニュアル				教材名	配布プリント		
設備名・機器名	トリミングテーブル・白板				関連サイト	https://www.jkc.or.jp/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	授業の概要説明・ハンドリングと ドッグショーとは	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ハンドリングとドッグショーの起源 授業の目的と全体像、ドッグショーの起源を説明できる	犬種図鑑・プリント 担当犬
第3-4回	○月○日	ドッグショーの歴史	ハンドリングとドッグショーの歴史 ドッグショーの発展と日本の歴史を説明できる	犬種図鑑・プリント 担当犬
第5-6回	○月○日	ドッグショーのショーシステムについて	ショーシステムについて PCIなどのショー構造を理解し、説明できる	犬種図鑑・プリント 担当犬
第7-8回	○月○日	ショーシステムの映像学習	ショーシステムをDVDで観る ショー全体の流れとルールを視覚的に理解できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第9-10回	○月○日	審査基準と審査員の視点	審査員は何を見ようとしているのかを知る 審査員が評価するポイントを3つ以上説明できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第11-12回	○月○日	スタックの基礎技術	スタックの手順方法を覚える 犬を正しい姿勢で立たせる基本的なスタックを実施できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第13-14回	○月○日	リードの装着と保持	リードのかけ方・持ち方を練習 犬に適切にリードをかけ、正しく持つことができる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第15-16回	○月○日	歩行パターンの理解と練習	歩行パターンの種類と動きを学ぶ 基本的な歩行パターンの種類と動きを理解できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第17-18回	○月○日	リードワークの映像学習	リードワークDVD視聴 映像から理想的な歩き方やリード操作を学べる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第19-20回	○月○日	実技練習：直線とターンの歩行	実際の歩行パターン（直線・ターン）の練習 直線とターンの歩行パターンを正しく実践できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第21-22回	○月○日	実技練習：四角形や円形の歩行	実際の歩行パターン（四角・円）の練習 四角形や円形の歩行パターンを犬と連携して実践できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第23-24回	○月○日	実技練習：複合パターンの歩行	実際の歩行パターン（複合）の練習 複雑な歩行パターンをスムーズに切り替えて歩ける	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第25-26回	○月○日	ドッグショーにおけるマナーとルール	ドッグショーのマナーとルールの習得 ハンドラーとしてのマナー・注意点を理解し実践できる	ハンドリングマニュアル プリント 担当犬
第27-28回	○月○日	模擬試験（実技）	模擬ドッグショー形式での実技試験 審査形式の中で、リード装着、スタック、歩行、審査対応などを一連の流れとして正確に 実施でき、かつ犬との連携を意識したハンドリングができる	成績判定試験・担当犬
第29-30回	○月○日	技術の総復習	試験に向けた技術振り返りと確認 自分の苦手な動きを振り返り、修正できる	試験解説・担当犬

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施 ドッグショー形式での実技試験
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の無関係内容の私語・指示以外のスマホ使用等への指導後、改善されない場合は毎回2点を減点）教員の指示に従う
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位	3位			1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度	3位	4位	2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小笠原 季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	山中 美佐穂
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	1	動物介在福祉学Ⅰ	学科名 (コース名)	2	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)	学年	3	1学年			
授業形態	4	実習	学期	後期	開講年月	5	10月	該当資格区分	5	民間検定	
教育課程区分	7	選択必修	単位数	8	1	時間数	9	30	該当資格名称	1	動物介在福祉士 初級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1	動物介在活動における動物の管理と対象者へのコミュニケーション能力を身につけ、動物介在福祉士初級の合格を目指す。									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1	高齢者福祉についての基本的な知識を身につけ理解できる。動物介在活動のあり方について理解し、場面に応じた活動ができる。福祉についての関心を広げ、動物介在活動の実践につなげていくことができる。福祉についての関心を広げ、動物介在活動の実践につなげていくことができる。セラピーの活動に積極的にかかわることが積極的にかかわることができる。対象者との接し方を習得し、場面に応じた犬の扱いを実践することができる。									
受講条件	1	ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること									
教科書名	1	アニマルセラピー				教材名	1	教員作成のプリント教材を適宜配布			
設備名・機器名	1	トレーニングルーム、モデル犬				関連サイト	1	アニマルリテラシー https://www.alri.jp/			
関連前科目	1	該当なし				関連後科目	1	動物介在福祉学Ⅱ			
授業計画（授業コマ単位）											2
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	○月○日	アニマルセラピーの歴史			セラピーの始まり、効果、セラピーの種類 セラピーとは何か説明ができる				アニマルセラピー P6～P11		
第2回	○月○日	AAA（動物介在活動）を学ぶ			AAAとは何か AAAの活動や効果を知り説明ができる				アニマルセラピー P12～P16		
第3回	○月○日	活動に向けて			参加するボランティアの適性、参加する動物の適性 小動物（ハムスター・ウサギ・小鳥）の生体と飼養環境について説明ができる				アニマルセラピー P18～P20		
第4回	○月○日	活動をコーディネートする①			活動計画内容を考える 活動内容（レクリエーション）を考え、動物のボディチェックを行う事ができる				アニマルセラピー P44～P50		
第5回	○月○日	活動をコーディネートする②			活動計画を立てる 活動中の注意点を踏まえた活動マニュアルを作成することができる				アニマルセラピー P44～P50		
第6回	○月○日	アニマルセラピー活動の魅力と弱点			動物福祉と権利・動物愛護との違い アニマルセラピーの魅力と弱点を知り、動物福祉とは何か説明ができる				アニマルセラピー P52～P54		
第7回	○月○日	アニマルセラピー活動に向く動物の 適性診断			キャンベルテスト（子犬の性格診断） キャンベルテストの方法を理解することができる				アニマルセラピー P56～P58		
第8回	○月○日	適性をもつ犬の繁殖			繁殖とは何かを考えてみる 発情周期から、遺伝病、避妊去勢の目的を理解する				アニマルセラピー P60～P65		
第9回	○月○日	AAT・AAEについて			AAT（動物介在療法）・AAE（動物介在教育）の概要 AATによる身体への効果を知り、AAEの効果を理解する				アニマルセラピー P68～P70		
第10回	○月○日	セラピー活動で知っておくべき感染症について			人獣共通感染症について 人畜共通感染症の種類や感染経路から適切な予防方法を選択できる				アニマルセラピー P72～P96		
第11回	○月○日	動物介在福祉士初級試験対策練習①			動物介在福祉士初級筆記試験の説明と筆記試験対策 （アニマルセラピーの歴史・AAA/AAT/AAE）				-		
第12回	○月○日	動物介在福祉士初級試験対策練習②			動物介在福祉士初級筆記試験対策（セラピー活動計画について）				-		
第13回	○月○日	動物介在福祉士初級試験対策練習③			動物介在福祉士初級筆記試験対策（セラピー活動計画について）適正 繁殖 感染症				-		
第14回	○月○日	動物介在福祉士初級試験対策練習④			実技試験の為の練習（総合まとめ） 実技試験の流れと役割を理解することができる				-		
第15回	○月○日	動物介在福祉士初級試験			動物介在福祉士初級試験				-		
成績判定試験：第15回目に動物介在福祉士初級試験実施 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする											2
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準			
①成績判定試験		1位	1位			1位	60	秀（S）：100点～90点			
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点			
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点			
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点			
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下			
⑥出席				1位			10				
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回まで			
シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美			授業担当教員	菊川 智子				
						実務経験紹介	-				
更新履歴											
シラバス更新履歴		更新理由			更新箇所			作成者		Check者(確認者)	
改1											
改2											

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物介在福祉学演習Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	動物介在福祉士 初級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 アニマルセラピーを理解し、動物介在福祉士初級の合格を目指す						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 セラピー活動や施設・対象者のことを理解できる。活動中に起こりうる場面に対して、動物の福祉と安全に考慮した活動ができる。活動する動物の福祉を考慮し、動物活動を周りにつなげていく。アニマルセラピー活動に積極的に関わることができる。施設・入居者の安全に考慮し、活動動物の安全に配慮し実践することができる。						
受講条件	1 ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること						
教科書名	1 アニマルセラピー			教材名	1 教員作成のプリント教材を適宜配布		
設備名・機器名	1 トレーニングルーム、モデル犬			関連サイト	1 アニマルリテラシー https://www.alri.jp/		
関連前科目	1 該当なし			関連後科目	1 動物介在福祉学演習Ⅱ		

授業計画 (授業コマ単位)

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	犬の言葉を知る	ボディランゲージ、カーミングシグナル、ストレスサイン イヌのコミュニケーション方法を理解し、説明ができる	アニマルセラピー P122～P125
第2回	○月○日	犬の行動を知る①	犬の基本的行動(食事・飲水・吠える) イヌの行動を理解し、その行動の理由を説明ができる	アニマルセラピー P104～P105
第3回	○月○日	犬の行動を知る②	犬の基本的行動(攻撃・持ってくる・引っ張る) イヌの行動を理解し、その行動の理由を説明ができる	アニマルセラピー P105～P106
第4回	○月○日	犬の行動を知る③	犬の基本的行動(睡眠・嗅ぐ・排泄) イヌの行動を理解し、その行動の理由を説明ができる	アニマルセラピー P106～P109
第5回	○月○日	犬の行動学・学習理論①	馴化・鋭敏化・系統的脱感作・古典的条件付け・オペラント条件付け それぞれの具体例を2種類挙げることができる それぞれの条件付けを理解する	アニマルセラピー P112～P117
第6回	○月○日	犬の行動学・学習理論②	古典的条件付け・オペラント条件付け・強化子の種類と罰と罰の副作用 強化と罰の説明や強化のタイミング、トレーニング方法の説明ができる	アニマルセラピー P112～P121
第7回	○月○日	セラピー活動犬の基本トレーニング①	犬具について・基本的なハンドリング リードや首輪、ハーネスの役割と使い方の説明ができる	アニマルセラピー P106～P112
第8回	○月○日	セラピー活動犬の基本トレーニング②	活動の為のハンドリングを理解する 誘導とターゲットで犬を動かせるようになる	-
第9回	○月○日	動物介在福祉士初級実技試験対策練習①	ハンドリング練習の内容説明(アイコンタクト・お座り) ハンドリング練習(アイコンタクト・お座り)の方法を説明できる	モデル犬
第10回	○月○日	動物介在福祉士初級実技試験対策練習②	ハンドリング練習の内容説明(伏せ・待て・おいで) ハンドリング練習(伏せ・待て・おいで)の方法を説明できる	モデル犬
第11回	○月○日	動物介在福祉士初級実技試験対策練習③	ハンドリング練習の内容説明(歩く・右回り・左回り) ハンドリング練習(歩く)の方法を説明できる	モデル犬
第12回	○月○日	動物介在福祉士初級実技試験対策練習④	ハンドリング練習の内容説明(歩く・Uターン・おいで) ハンドリング練習(歩く・Uターン・おいで)の方法を説明できる	モデル犬
第13回	○月○日	動物介在福祉士初級実技試験対策練習⑤	実技試験のコース練習	モデル犬
第14回	○月○日	動物介在福祉士初級試験	実技試験 まとめ練習	モデル犬
第15回	○月○日	動物介在福祉士初級試験	実技試験	モデル犬

成績判定試験：第15回目に動物介在福祉士初級試験実施
確認テスト：授業内で実施
授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点)
出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	1位			1位	60	秀(S)：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優(A)：89点～80点
③課題レポート						なし	良(B)：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D)：69点～60点
⑤作品						なし	不可(E)：59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回まで

シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	菊川 智子
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	1	動物介在福祉学Ⅱ		学科名 (コース名)	2	ペット総合科 ドッグトレーナーコース ペットアドバイザーコース		学年	3.	2学年	
授業形態	4	実習	学期	前期	開講年月	5	4月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区分	7	選択必修	単位数	8	1	時間数	9	30	該当資格名称	1	JAHA家庭犬マナーチャレンジ
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1	犬の飼育と管理・問題行動の対処法と飼い主への対応・マナーハンドラーテストで最低限のしつけを実践する									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1	犬の飼育・管理の方法や問題行動の対処法について理解できる。犬の飼育・管理にあたっての知識を習得し、飼い主への対処法について理解し、実践できる。犬のトレーニング方法についての関心を広げ、マナーハンドラーテストの合格を目指す。犬の種類や行動に応じて、動物福祉の観点から、正しく犬を扱うことができる。様々な種類や性格の犬の扱い・飼い主へのアドバイス方法を習得する。									
受講条件	1	ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること									
教科書名	1	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー					教材名	1	教員作成のプリント教材を適宜配布		
設備名・機器名	1	トレーニングルーム、モデル犬					関連サイト	1	マナーハンドラー https://www.cgajp.net/mht/?mobile=1		
関連前科目	1	動物介在福祉学Ⅰ					関連後科目	1	動物介在福祉学Ⅲ		

授業計画（授業コマ単位）

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	動物介在福祉と家庭犬のしつけ	人に与える効果・犬の飼い主さんが幸せに暮らせるためのしつけの方法・話し方 犬の飼い主さんが幸せに暮らせるためのしつけの方法について、学んだ話し方で説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第2回	○月○日	飼い主に伝える介在福祉の知識	家庭犬のしつけ方と犬の性質と習性を管理する・5つの自由・5つの領域 「5つの自由」および「5つの領域」に基づいた動物福祉の考え方を説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第3回	○月○日	子犬の判定・キャンベルテスト・適性について	気質や性格を犬の動きと観察から学ぶ・犬具の使い方や役割について キャンベルテストの診断の方法を説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第4回	○月○日	動物と福祉について	産業動物、実験動物、使役動物、ペット、愛玩動物、動物園、水族館、学校飼育動物など それぞれの動物に起きている福祉的問題点を説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第5回	○月○日	三項随伴性・動物の役割	食物連鎖から動物を考える 食物連鎖から人と動物の関わり方を説明することができる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第6回	○月○日	動物に対するトレーニングの流れ	動物の理解を知る、強化子・条件付け、学習理論 動物に対するトレーニングの流れを理解し、トレーニング方法を2つ以上説明ができる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第7回	○月○日	One Welfare・One Health	人と動物の関係・人と動物の健康について 人と動物の関わり方、健康についての説明ができる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第8回	○月○日	愛護センターしつけ教室①	行政の役割としつけ方の啓発について知る 愛護センターでのしつけの必要性の説明ができる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第9回	○月○日	愛護センターしつけ教室②	行政の役割としつけ方の啓発について知る 愛護センターでのしつけ内容や流れを理解する	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第10回	○月○日	しつけ方教室の役割について	感想と意見を述べる しつけ方教室に参加してみた感想・意見を他者とディスカッションをする	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第11回	○月○日	AAE・ふれあい教室について	抱き方・動物のことを伝える 抱っこする際に注意すべきポイント（体を支える位置、無理な姿勢を取らせない等）を説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 アニマルセラピー
第12回	○月○日	AAEを計画する	グループワークで計画を立案する 動物福祉に配慮したAAEを計画立案できる	-
第13回	○月○日	AAEの活動をやってみる	グループに分かれて、企画して模擬活動をする 計画通り実施し、その計画の改善点について議論することができる	-
第14回	○月○日	飼い主が問題と思う行動と対処法を考える	グループワーク 問題となる行動を挙げて、原因と対処法を探る 問題となる行動の原因を特定できる	-
第15回	○月○日	問題行動の対処法を説明する	グループワーク 問題になる行動の対処法を説明する 問題となる行動に対して原因と対処方法を説明できる	-

成績判定試験：第15回目に動物介在福祉士初級試験実施
確認テスト：授業内で実施
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	1位			1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位		10	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回まで

シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	菊川 智子
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物介在福祉学演習Ⅱ		学科名 (コース名) ²	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	3. ² 学年	
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月	54月	該当資格区分 ⁵	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	JAHA家庭犬マナーチャレンジ	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹ マナーハンドリングの技術を用いて、動物介在活動の動物管理と対象者へのコミュニケーション能力を習得する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹ 高齢者福祉や活動動物についての基本的な知識を身につけて理解できる。動物介在活動のあり方について理解し、場面に応じた活動ができる。福祉についての関心を広げ、動物介在活動の実践につなげていくことができる。動物介在活動に積極的に関わることができる。対象者との接し方を習得し、場面に応じた犬の扱い・ハンドリングを実践することができる。							
受講条件	¹ ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること							
教科書名	¹ 犬と猫の問題行動の予防と対応				教材名	¹ 教員作成のプリント教材を適宜配布		
設備名・機器名	¹ トレーニングルーム、モデル犬				関連サイト	¹ マナーハンドラー https://www.cgcjp.net/mht/?mobile=1		
関連前科目	¹ 動物介在福祉学演習Ⅰ				関連後科目	¹ 動物介在福祉学演習Ⅲ		
授業計画 (授業コマ単位) ²								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	犬について	安全確保・動物を含めた社会のこと・動物や人のQOL				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第2回	○月○日	犬の言葉	犬の行動から犬の気持ちを読み取る、ストレスサイン・カーミングシグナル 犬の行動から犬の気持ちを読み取る方法を理解し、その行動が何か説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第3回	○月○日	犬の行動を管理する	犬に仕上げ方と用具の装着の仕方、しつけということ 犬に仕上げ方と用具の装着の仕方を理解し、しつけの必要性を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第4回	○月○日	動物福祉と動物愛護	福祉と愛護を理解する 福祉と愛護を理解し、説明することができる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第5回	○月○日	セラピー犬を含めた犬のトレーニング	トレーニングの様々な方法とセラピー活動に必要なトレーニング トレーニングの様々な方法とセラピー活動に必要なトレーニングの流れを説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第6回	○月○日	罰について	犬のしつけの罰の効果と副作用について 犬のしつけの罰の効果と副作用についてメリットデメリットの説明ができる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第7回	○月○日	セラピー活動に使うトリック	活動のときに使えるトリックを考えてトレーニングを計画する(顎を乗せる、寝る) 活動のときに使えるトリックを考えてトレーニングを計画し、改善点をあげることができる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第8回	○月○日	愛護センターしつけ教室①	行政の役割としつけ方の啓発について知る 行政の役割としつけ方の啓発について理解し、説明することができる				-	
第9回	○月○日	愛護センターしつけ教室②	行政の役割としつけ方の啓発について知る 行政の役割としつけ方の啓発について理解し、説明することができる				-	
第10回	○月○日	家庭で必要な犬のトレーニング	家庭でできるトレーニングに必要な強化子・環境を準備できる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第11回	○月○日	人と関わるための犬のトレーニング	触る、抱く、寄り添う、ポジションを教える、ターゲットトレーニング それぞれのトレーニングの有効性を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応	
第12回	○月○日	飼い主が困る犬の問題行動について①	対策と原因とトレーニングプランを考える(グルーミングできない) 各問題に対して適切な対処方法を選択できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 P96	
第13回	○月○日	飼い主が困る犬の問題行動について②	対策と原因とトレーニングプランを考える(おいで、リードの引っ張り) 各問題に対して適切な対処方法を選択できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 P97	
第14回	○月○日	飼い主が困る犬の問題行動について③	対策と原因とトレーニングプランを考える(落ちつかない、じっとできない) 各問題に対して適切な対処方法を選択できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 P98	
第15回	○月○日	マナーハンドラーテストのレギュレーション	マナーハンドラーテストのレギュレーションの説明 マナーハンドラーテストのルールにおける注意点を説明できる				-	
² 成績判定試験：第15回目に動物介在福祉士初級試験実施 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	1位			1位	60	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D)：69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥出席					1位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回まで
シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	菊川 智子			
				実務経験紹介	-			

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				

2025年度シラバス

科目名	1	動物介在福祉学Ⅲ		学科名 (コース名)	2	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	3.	2学年	
授業形態	4	実習	学期	後期	開講年月	5	10月	該当資格区分	5	民間検定	
教育課程区分	7	選択必修	単位数	8	1	時間数	9	30	該当資格名称	1	JAHA家庭犬マナーチャレンジ
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1	犬の飼育と管理・問題行動の対処法と飼い主への対応・マナーハンドラーテストで最低限のしつけを実践する									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1	犬の飼育・管理の方法や問題行動の対処法について理解できる。犬の飼育・管理にあたっての知識を習得し、飼い主への対処法について理解し、実践できる。犬のトレーニング方法についての関心を広げ、マナーハンドラーテストの合格を目指す。犬の種類や行動に応じて、動物福祉の観点から、正しく犬を扱うことができる。様々な種類や性格の犬の扱い・飼い主へのアドバイス方法を習得する。									
受講条件	1	ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること									
教科書名	1	犬と猫の問題行動の予防と対応					教材名	1	教員作成のプリント教材を適宜配布		
設備名・機器名	1	トレーニングルーム、モデル犬					関連サイト	1	マナーハンドラー https://www.cgj.jp.net/mht/?mobile=1		
関連前科目	1	動物介在福祉学Ⅱ					関連後科目	1	該当なし		

授業計画（授業コマ単位） 2

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	スタッフができる行動学的工夫	犬にストレスや恐怖を感じさせない ストレスとなる行動を理解し、対処法の説明ができる	犬と猫の問題行動の予防と対応
第2回	○月○日	問題行動ケーススタディ1	吠えを減らす工夫・トイレの失敗について 各問題に対して適切な対処方法を選択できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P164～P186
第3回	○月○日	問題行動ケーススタディ2	飛びつかせない、拾い食いや食糞をやめさせるために 各問題に対して適切な対処方法を選択できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P187～P197
第4回	○月○日	問題行動ケーススタディ3	雷や花火など音が苦手な犬に対する工夫 各問題に対して適切な対処方法を選択できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P198～P203
第5回	○月○日	問題行動ケーススタディ4	体を触っても嫌がらないようにする工夫 各問題に対して適切な対処方法を選択できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P204～P209
第6回	○月○日	問題行動ケーススタディ5	食器や寝床を守って唸る、咬むことをさせないためには 各問題に対して適切な対処方法を選択できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P210～P213
第7回	○月○日	複数頭飼育に関して	単頭と複数頭での飼養の違うところを問題とする 単頭と複数頭での飼養のメリットデメリットを説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応 P214～P221
第8回	○月○日	野犬・保護犬について	野犬の性質、成犬から迎えるために必要なこと 野犬・成犬の性質を踏まえ迎えるために必要なことを説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応
第9回	○月○日	高齢期の犬について	高齢期の犬に起こる体の変化とケアについて 高齢期の犬に起こる体の変化とそれに伴うケアについて説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応
第10回	○月○日	避妊・去勢について	去勢避妊を進める理由 避妊去勢のメリット、デメリットを説明できる	犬と猫の問題行動の予防と対応
第11回	○月○日	ゲームを考える（AAA）	訪問施設でやれるゲームを考え、試してみる 動物福祉に配慮したゲームを実施できる	-
第12回	○月○日	ゲームを考える（AAE）	子供達の参加できるゲームを考え、試してみる 子供達でもできる動物福祉に配慮したゲームを実施できる	-
第13回	○月○日	ゲームを考える	おすわりとフセだけでできるゲームを考え、試してみる おすわりとフセだけでできるゲームを実施できる	-
第14回	○月○日	ゲームを考える	歩く（ウォーキング）を使ったゲームを考えて、試してみる 歩く（ウォーキング）を使ったゲームを実施できる	-
第15回	○月○日	ゲームを作る	飼い主とワンちゃんに参加してできるゲームを考えて、試してみる 飼い主とワンちゃんに参加してできるゲームを実施できる	-

成績判定試験：授業内で実施
確認テスト：授業内で実施
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	1位			1位	50	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回まで

シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	菊川 智子
				実務経験紹介	-

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	動物介在福祉学演習Ⅲ		学科名 (コース名) ²	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	民間検定
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	JAHA家庭犬マナーチャレンジ
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	マナーハンドリングの技術を用いて、動物介在活動の動物管理と対象者へのコミュニケーション能力を習得する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	高齢者福祉や活動動物についての基本的な知識を身につけて理解できる。動物介在活動のあり方について理解し、場面に応じた活動ができる。福祉についての関心を広げ、動物介在活動の実践につなげていくことができる。動物介在活動に積極的に関わることができる。対象者との接し方を習得し、場面に応じた犬の扱い・ハンドリングを実践することができる。						
受講条件	ペット総合科 ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍していること						
教科書名 ¹	犬と猫の問題行動の予防と対応				教材名 ¹	教員作成のプリント教材を適宜配布	
設備名・機器名 ¹	トレーニングルーム、モデル犬				関連サイト ¹	マナーハンドラー https://www.cgcjp.net/mht/?mobile=1	
関連前科目 ¹	動物介在福祉学演習Ⅱ				関連後科目 ¹	該当なし	
授業計画 (授業コマ単位) ²							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習①	マナーハンドラーテスト練習 (初めての犬に対する注意点) 初めての犬に対する注意点を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第2回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習②	マナーハンドラーテスト練習 (おいで、横につく、おすわり) おいで、横につく、おすわりの方法を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第3回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習③	マナーハンドラーテスト練習 (ヒールポジションにつけて歩く、左回りからおすわり) ヒールポジションにつけて歩く、左回りからおすわりの方法を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第4回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習④	マナーハンドラーテスト練習 (人との挨拶・飛びつき、人に触られる、待て) 人との挨拶・飛びつき、人に触られる、待ての方法を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第5回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑤	マナーハンドラーテスト練習 (犬とのすれ違い) 犬とのすれ違いの方や注意点を説明できる				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第6回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑥	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ①ヒールポジション②第三者への対応 グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第7回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑦	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ③刺激の中のお散歩 グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第8回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑧	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ④伏せ待て10秒⑤おすわり待て20秒 グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第9回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑨	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ⑥呼び出し グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第10回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑩	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ⑦他犬とのすれ違い グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第11回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑪	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ⑧足拭きとブラッシング グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第12回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑫	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う ⑨足元でふせ5分間 グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第13回	○月○日	マナーハンドラーテスト練習⑬	マナーハンドラーテストの項目を順番通りに行う 各自①から⑨の確認 グループ (受験者・判定・テストスタッフの役割を理解を体験する)				犬と猫の問題行動の予防と対応 モデル犬
第14回	○月○日	マナーハンドラーテスト①	マナーハンドラーテスト				モデル犬
第15回	○月○日	マナーハンドラーテスト②	マナーハンドラーテスト				モデル犬
成績判定試験：第14回目、第15回目にマナーハンドラーテスト実施 確認テスト：授業内で実施 授業態度：減点方式 (居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席：0回欠席 (10点)、1回欠席 (5点)、2回欠席 (3点)、3回欠席 (1点) とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	1位				60
②確認テスト		2位	2位	1位			10
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		20
⑤作品							なし
⑥出席				1位			10
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位→降順。						不合格の場合	再試験1回まで
シラバス作成者	菊川 智子	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	菊川 智子		
				実務経験紹介	-		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名	グルーミングⅡ			学科名 (コース名)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	1学年
授業形態	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	3	時間数	90	該当資格名称	全国動物専門学校協会 サロントリマー検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 基本的なグルーミング（犬の全身のお手入れ全般を指す）方法を覚え、技術を身に付ける。 2学年に受験予定であるAAVサロントリマー3級資格取得試験を意識した各犬種のグルーミングができる。 【注意事項】グルーミングⅡは、生体の犬種や健康状態等によって、コマシラバスの内容が前後変更を生じる場合があります							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 犬の基本的なグルーミング技術（ブラッシング、シャンプー、ドライ、爪切り、耳掃除など）を正しく理解し、安全に実施できるようになる。 必要に応じて、1日1人2頭のベーシックモデル犬を仕上げる。 基本グルーミング・ベーシッククリッピング（犬が日常生活を衛生的に保つために必要な部分カット）に関する技術を修得する							
受講条件	1 ペット総合科ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍 グルーミングⅠ単位取得した者							
教科書名	1 最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑				教材名	1 PowerPoint		
設備名・機器名	1 実習用具				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 グルーミングⅠ				関連後科目	1 グルーミングⅢ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	授業開始について グルーミング実習	小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することに慣れる	実習用具 モデル犬
第4～6回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することに慣れる	実習用具 モデル犬
第7～9回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生2名で1頭仕上げる 小型犬を学生1名で1頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することに慣れる	実習用具 モデル犬
第10～12回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間を意識し、作業を進めることができる	実習用具 モデル犬
第13～15回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間を意識し、作業を進めることができる	実習用具 モデル犬
第16～18回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間を意識し、作業を進めることができる	実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間を意識し、作業を進めることができる	実習用具 モデル犬
第22～24回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第25～27回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第28～30回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	実技試験	成績判定試験 小型犬を一人で1頭仕上げる（2時間）	成績判定試験
第40～42回	○月○日	実技試験	成績判定試験 小型犬を一人で1頭仕上げる（2時間）	成績判定試験
第43～45回	○月○日	実技試験	成績判定試験 振り返り 小型犬を一人で1頭仕上げる（2時間）	振り返り

成績評価方法

成績判定試験：実技試験 2時間で小型犬のベーシックを行う（学生1名で1頭仕上げる）
授業態度：教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずに行っている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席：欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名	グルーミングⅢ			学科名 (コース名)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザー コース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区 分	選択必修	単位数	3	時間数	90	該当資格名称	全国動物専門学校協会 サロントリマー検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	各現場で通用するグルーミング技術を覚える。 新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生次で学んだ技術を後退させない。 時間短縮を一層意識し、クリッピング時間の短縮ができる。 サロントリマー検定3級取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	指定時間(2時間)内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。 必要に応じて、1日1人2頭のベーシックモデル犬を仕上げる。 大型犬の扱い方を覚え、2人で時間内に仕上げるができる							
受講条件	ペット総合科ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍 グルーミングⅡの単位を取得した者							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング (トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	実習用具				関連サイト	該当なし		
関連前科目	グルーミングⅡ				関連後科目	グルーミングⅣ		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第4～6回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第7～9回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第10～12回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第13～15回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第16～18回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第22～24回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第25～27回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第28～30回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	グルーミング実習	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	実技試験 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間)	成績判定試験
第40～42回	○月○日	実技試験 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間)	成績判定試験
第43～45回	○月○日	実技試験 振り回り 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験 振り回り 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間)	振り回り

成績評価方法

成績判定試験: 実技試験 小型犬のベーシックを行う (学生1名で1頭仕上げる)
授業態度: 教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにしている、率先して実習室の掃除を行っている、
出席: 欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	60	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可 (D) : 69点～60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥出席			1位			10	
						不合格の場合	再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/
更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	

2025年度シラバス

科目名	グルーミングⅣ			学科名 (コース名)	ペット総合科 (ドッグトレーナーコース) (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	実習	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	3	時間数	90コマ	該当資格名称	全国動物専門学校協会 サロントリマー検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	各現場で通用するグルーミング技術を覚える。 新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生次で学んだ技術を後退させない。 時間短縮を一層意識し、クリッピング時間の短縮ができる。 サロントリマー検定3級取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	指定時間(2時間)内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。 必要に応じて、1日1人2頭のベーシックモデル犬を仕上げる。 大型犬の扱い方を覚え、2人で時間内に仕上げることができる							
受講条件	ペット総合科ドッグトレーナーコースまたはペットアドバイザーコースに在籍 グルーミングⅢの単位を取得した者							
教科書名	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング (トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	実習用具				関連サイト	該当なし		
関連前科目	グルーミングⅢ				関連後科目	該当なし		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1～3回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第4～6回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第7～9回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第10～12回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第13～15回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第16～18回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第19～21回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第22～24回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第25～27回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第28～30回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第31～33回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第34～36回	○月○日	グルーミング実習 学生1名2時間で仕上げる 学生1名2頭仕上げる	小型犬を学生1名で1頭2時間で仕上げる 学生1名で2頭仕上げる ベーシックを正確に作業し、一人でモデル犬を作業することができる 時間内に一人でモデル犬2頭を作業することができる	実習用具 モデル犬
第37～39回	○月○日	実技試験 (サロントリマー検定3級実施) 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験(サロントリマー検定3級実施) 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間) ベーシックを正確に作業し、検定合格を目指す	成績判定試験
第40～42回	○月○日	実技試験 (サロントリマー検定3級実施) 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験(サロントリマー検定3級実施) 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間) ベーシックを正確に作業し、検定合格を目指す	成績判定試験
第43～45回	○月○日	実技試験 振り回り 2時間で1頭仕上げる	成績判定試験 振り回り 小型犬を一人で1頭仕上げる (2時間)	振り回り

成績評価方法

成績判定試験:実技試験 小型犬のベーシックを行う(学生1名で1頭仕上げる)
授業態度:教員の指示に従った行動ができている、実習当番を忘れずにやっている、率先して実習室の掃除を行っている、出席:欠席日数により減点となる

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位		1位	1位	60	秀(S):100点～90点
②確認テスト						なし	優(A):89点～80点
③課題レポート						なし	良(B):79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可(D):69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
不合格の場合							再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	井田 亜由美 + トリマー指導教員
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/ida/

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名		小動物概論Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義		学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修		単位数	2	時間数	60	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		動物全般について（哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物）、野外学習 小動物全般について広範囲の専門的な知識を覚える							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		動物全般に対しての専門知識を幅広く身につける 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物の基本的な分類・形態・生態について説明できる							
受講条件		ペットアドバイザーコース在籍 小動物概論Ⅰの単位を取得した者							
教科書名		適宜オリジナルプリントを配布				教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード				関連サイト	環境省 動物愛護管理法 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/l_1law/		
関連前科目		小動物概論Ⅰ				関連後科目	小動物概論Ⅲ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1-2回	○月○日	授業開始について ガイダンス 動物の分類詳細 (脊椎動物)	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 授業の流れや必要性を理解する 動物の分類と脊椎動物の種類の説明ができる					-	
第3-4回	○月○日	家畜の歴史（人と家畜の関わり） 動物の分類詳細（昆虫）	家畜の歴史 家畜とは何か 人と家畜の関わり 家畜とは何か人と家畜の関わり方の説明ができる 昆虫の種類の説明ができる					-	
第5-6回	○月○日	家畜の歴史（家畜の原種や原産地） 自然観察：梅小路公園	家畜各種の原種や原産地について 家畜の原種やその原産地を5つ挙げることができる 自然観察の意義と注意点。身近な自然の観察。双眼鏡と使いかた。自然観察の方法を知る					-	
第7-8回	○月○日	家畜の歴史（家畜の原種や原産地） 動物の分類詳細 （無脊椎動物）	家畜各種の原種や原産地について 家畜の原種やその原産地を5つ挙げることができる 動物の分類詳細 無脊椎動物の知る 無脊椎動物の種類を説明できる					-	
第9-10回	○月○日	野生動物の形態や生態に 関する法則 世界の動物分布	ベルグマンの法則、アレンの法則 ベルグマンの法則、アレンの法則とは何か説明できる プレートテクトニクス。旧北区 プレートテクトニクスと動物の関係を理解する					-	
第11-12回	○月○日	野生動物の形態や生態に 関する法則 世界の動物分布	グロージャーの法則ほか グロージャーの法則とは何か説明できる 東洋区、エチオピア区 東洋区、エチオピア区の動物の種類を5つ挙げることができる					-	
第13-14回	○月○日	自然観察：宝ヶ池	初夏の自然観察。実体顕微鏡や捕虫網の使用法。外来種の確認。 実体顕微鏡や捕虫網の使用法の説明ができる					オリジナル配布プリント	
第15-16回	○月○日	野生動物の形態や生態に 関する法則 世界の動物分布	レンシュの法則ほか。擬態。収斂進化 レンシュの法則とは何か説明できる 新北区、新熱帯区、オーストラリア区 新北区、新熱帯区、オーストラリア区の動物の種類を5つ挙げることができる					-	
第17-18回	○月○日	哺乳類の分類と生態 日本の動物分布	哺乳類の特徴。単孔目、双前歯目 哺乳類の特徴を説明できる 日本の自然環境の特徴。ブラキストン線や渡瀬線 ブラキストン線や渡瀬線とは何か説明できる					-	
第19-20回	○月○日	自然観察：深泥池	深泥池で自然観察 深泥池に生息する代表的な動物を見つけることができる					オリジナル配布プリント	
第21-22回	○月○日	爬虫類の分類と生態 両生類の分類と生態	爬虫類の特徴。カメ目 爬虫類の特徴を説明できる 両生類の特徴。無足目 両生類の特徴を説明できる					-	
第23-24回	○月○日	魚類の分類と生態 哺乳類の分類と生態	魚類の分類と特徴 魚類の特徴を説明できる ウサギ目 ウサギ目の分類と特徴を説明できる					-	
第25-26回	○月○日	爬虫類の分類と生態 鳥類の分類と生態	有鱗目トカゲ亜目 有鱗目の種類を5つ挙げることができる 鳥類の特徴 走鳥類 鳥類の特徴を説明できる					-	
第27-28回	○月○日	テストについて 自然観察：下鴨神社	下鴨神社で自然観察 下鴨神社に生息する代表的な動物を見つけることができる					試験範囲説明	
第29-30回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる					成績判定試+D13:M27験	
成績評価方法									
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題） 課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位	1位			なし	優（A）： 89点～80点	
③課題レポート			1位	2位			10	良（B）： 79点～70点	
④授業態度				2位	1位		10	可（D）： 69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席				1位			10		
							不合格の場合	再試験1回まで	
シラバス作成者									
井田 亜由美		シラバス承認者	井田亜由美		授業担当教員	田邊 真吾			
					実務経験紹介	-			
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									

2025年度シラバス

科目名	小動物概論Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	動物全般について（哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物）、野外学習 小動物全般について広範囲の専門的な知識を覚える							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	動物全般に対しての専門知識を幅広く身につける 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物の基本的な分類・形態・生態について説明できる							
受講条件	ペットアドバイザーコース在籍　小動物概論Ⅱの単位を取得した者							
教科書名	適宜テキストを配布				教材名	ー		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト	環境省　動物愛護管理法 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/l_law/		
関連前科目	小動物概論Ⅱ				関連後科目	ー		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	鳥類の分類と生態(カモ目) 両生類の分類と生態(有尾目)	鳥類の分類と生態 カモ目 両生類の分類と生態 有尾目 有尾目の特徴を説明できる カモ目の種類を5つ挙げることができる	-
第3-4回	○月○日	哺乳類の分類と生態(齧歯目) 爬虫類の分類と生態(有鱗目)	哺乳類の分類と生態 齧歯目 爬虫類の分類と生態 有鱗目ヘビ亜目 ヘビ亜目の特徴を説明できる 齧歯目の特徴を説明できる	-
第5-6回	○月○日	京都大学博物館見学	京都大学博物館 京都大学博物館の展示物資料を通じて知識を高める	オリジナル配布プリント
第7-8回	○月○日	哺乳類の分類と生態(齧歯目 真無盲腸目) 魚類の分類と生態(ナマズ目 コイ目 カラシン目)	哺乳類の分類と生態 齧歯目、真無盲腸目 魚類の分類と生態 ナマズ目、コイ目、カラシン目 ナマズ目 コイ目 カラシン目の種類を説明できる 齧歯目 真無盲腸目の特徴を説明できる	-
第9-10回	○月○日	鳥類の分類と生態(キジ目) 爬虫類の分類と生態(ワニ目)	鳥類の分類と生態 キジ目 爬虫類の分類と生態 ワニ目 ワニ目の種類を説明できる キジ目の種類を説明できる	-
第11-12回	○月○日	哺乳類の分類と生態(食肉目 ネコ亜目) 両生類の分類と生態(無尾目)	哺乳類の分類と生態 食肉目ネコ亜目 両生類の分類と生態 無尾目 食肉目ネコ亜目の種類を説明できる 無尾目の種類を説明できる	-
第13-14回	○月○日	京都市動物園見学	京都市動物園見学 動物の生態や行動を観察し、多様性及び適応の仕組みを理解する	オリジナル配布プリント
第15-16回	○月○日	鳥類の分類と生態(オウム目) 哺乳類の分類と生態(食肉目 イヌ亜目)	鳥類の分類と生態 オウム目 食肉目イヌ亜目 食肉目イヌ亜目の種類を説明できる オウム目の種類を説明できる	-
第17-18回	○月○日	爬虫類の分類と生態(爬虫類) 鳥類の分類と生態(スズメ目)	爬虫類の飼育 鳥類の分類と生態 スズメ目 スズメ目の種類を説明できる 爬虫類の飼育方法を説明できる	-
第19-20回	○月○日	哺乳類の分類と生態(有哺乳類) 鳥類の分類と生態(鳥類の飼育)	有哺乳類の分類と生態 蹄類 鳥類の分類と生態 鳥類の飼育 鳥類の飼育方法を説明できる 蹄類の種類を説明できる	-
第21-22回	○月○日	自然観察: 京都御苑	京都御苑にて野鳥の観察 京都御苑に生息する野鳥の種類と特徴を説明できる	オリジナル配布プリント
第23-24回	○月○日	魚類の分類と生態(スズキ目) 両生類の分類と生態(無尾目)	魚類の分類と生態 スズキ目 両生類の分類と生態 無尾目 無尾目の種類を説明できる スズキ目の種類を説明できる	-
第25-26回	○月○日	関連法規(ワシントン条約) (外来種法)	ワシントン条約 外来種法 外来種法の内容を説明できる ワシントン条約の内容を説明できる	-
第27-28回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第29-30回	○月○日	試験問題の解答、解説 自然観察: 鴨川	試験問題の答え合わせと解説 鴨川にて自然観察 鴨川にいる代表的な野鳥や水生生物の観察ができる 試験問題の答え合わせを行うことができる	-

成績評価方法							2
成績判定試験: 第14回の授業内で実施(50分) 選択問題、空白記入問題) 課題レポートを提出: 課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度: 減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席点: 0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位	2位	1位			なし	優(A): 89点~80点
③課題レポート		1位	2位			10	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥出席点			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	田邊 真吾
				実務経験紹介	

2025年度シラバス

科目名	水生生物Ⅱ			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	1学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		アクアリウムの実践に向けての知識を覚える 水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる計画を立てる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		2年次に1人に1つの水槽(基本60cm水槽)を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げるための、水草の定着方法を学び、流木・アクセサリーを使用してのアレンジができるようになる。						
受講条件		ペットアドバイザーコース在籍 水生生物Ⅰの単位を取得した者						
教科書名		該当なし			教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト	アクアジャーナル https://www.adana.co.jp/jp/aquajournal/		
関連前科目		水生生物Ⅰ			関連後科目	水生生物Ⅲ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1-2回	○月○日	授業開始について アクアリウムの基本	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 授業の必要性や目的を説明できる				-	
第3-4回	○月○日	レイアウトの構成を考える アクアリウムとアクアテラリウム	レイアウトの構成 レイアウトの基本構成要素を理解しレイアウトの基本的説明ができる アクアリウムとアクアテラリウムの違いを理解し、それぞれの特性に基づいた設置方法や飼育方法を説明できる				-	
第5-6回	○月○日	水草について	水草の種類 水草の基本的な種類を理解し、水草の特徴を説明できる				-	
第7-8回	○月○日	熱帯魚の性質・種類 水槽レイアウト	熱帯魚の種類 熱帯魚の性質を理解し、種類を5つ挙げることができる				-	
第9-10回	○月○日	熱帯魚の性質・種類 水槽レイアウト	熱帯魚の種類 熱帯魚の性質を理解し、種類を5つ挙げることができる				-	
第11-12回	○月○日	混泳ができる魚類について	異種魚の共存について 異種魚共存の基本的な概念を理解し共存方法の説明ができる				-	
第13-14回	○月○日	ろ過器について 実践(実習)	フィルター・装置の説明 ろ過器の種類・構造・方式 ろ過器についての役割、構造、種類を説明できる				-	
第15-16回	○月○日	水草について	代表的な水草について 代表的な水草(浮水草、沈水草、浮草など)の特徴と役割を説明できる				-	
第17-18回	○月○日	水草について 水槽メンテナンス	水槽メンテナンス 水槽メンテナンスの基本や方法の説明ができる				-	
第19-20回	○月○日	熱帯魚の性質・種類	熱帯魚の種類 熱帯魚の性質を理解し、種類を5つ挙げることができる				-	
第21-22回	○月○日	実践(実習)	水槽のレイアウトを構想する 水槽のレイアウトを実践することができる				-	
第23-24回	○月○日	給餌について 水槽管理について 水槽メンテナ ンス	CB個体とWC個体について 水槽管理の応用 水槽メンテナンス 水槽の長期安定管理に必要な応用的知識を理解し説明することができる				-	
第25-26回	○月○日	1年生に学んだことのまとめ	1年間のまとめ				試験範囲説明	
第27-28回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる				成績判定試験	
第29-30回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法								
成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 50選択問題、空白記入問題) 課題レポートを提出:課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点) 出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位	1位			10	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥出席				2位	1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	細川 敏史
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/hosokawa/
更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					

2025年度シラバス

科目名	水生生物Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		アクアリウムの管理・実践 水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		1 人に1つの水槽（基本60cm水槽）を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げる。 水草の定着から、流木・アクセサリを使用してのアレンジができる。						
受講条件		ペットアドバイザーコース在籍 水生生物Ⅱの単位を取得した者						
教科書名				教材名		配布プリント		
設備名・機器名				関連サイト		アクアジャーナル https://www.adana.co.jp/jp/aquajournal/		
関連前科目				関連後科目		該当なし		

授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1-2回	○月○日	授業開始について アクアリウムの応用	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 実習の進め方、前年水槽の清掃 水槽の種類、ガラス水槽とアクリル水槽 短所と長所 水槽管理に関する基礎知識を理解することができる	—
第3-4回	○月○日	レイアウトの全体構成・配置	アクアリウムとアクアテラリウム、レイアウト アクアリウムとアクアテラリウムの違いを理解し、特徴を説明できる	—
第5-6回	○月○日	水草の取り扱い	取り扱う水草の種類、前景・中景・後景、アクアセラピーについて 前景・中景・後景の水草の配置の意味と代表種を理解・説明できる	—
第7-8回	○月○日	熱帯魚の選択 混泳を考える	熱帯魚の組み合わせ 熱帯魚の種類と性格、水質の違いを理解し、適切な組み合わせを説明できる	—
第9-10回	○月○日	水槽の組み立て①	水槽を組み立てる 水槽に必要な機材や道具の名称と役割を理解し組み立てることができる	—
第11-12回	○月○日	水槽の組み立て②	水槽を組み立てる 水槽に必要な機材や道具の名称と役割を理解し組み立てることができる	—
第13-14回	○月○日	フィルター・装置の設置	フィルター・装置の設置 適切な手順でフィルターや装置を安全に設置できる	—
第15-16回	○月○日	買い付け	各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する 予算・飼育環境を踏まえて熱帯魚・水草を適切に選び、購入計画を立てられる	—
第17-18回	○月○日	光合成と二酸化炭素	光合成と二酸化炭素、発酵式二酸化炭素について、水草のレイアウト 水草の光合成に必要な要素(光・CO ₂ ・水・栄養)を理解し、説明することができる	—
第19-20回	○月○日	水草の植え付け	ウィローモスの活着 ウィローモスの特徴や生育条件を理解し、説明することができる	—
第21-22回	○月○日	全体での水槽のレイアウト	全体での水槽のレイアウト 水槽の全体レイアウトを計画し、実際の配置をバランス良く調整することができる	—
第23-24回	○月○日	全体での水槽のレイアウト	水槽の全体のイメージから、より近づける為にトリミングを行う トリミングの目的と効果(美観維持・成長促進・水質管理など)を理解することができる	—
第25-26回	○月○日	水槽メンテナンス 食用魚について	水槽のメンテナンス 食用魚について 水槽の基本的なメンテナンス項目(掃除、水換え、フィルター清掃など)を理解し、行うことができる	—
第27-28回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第29-30回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

2

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題）
課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート		1位	2位			10	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	細川 敏史
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/hosokawa/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				

2025年度シラバス

科目名	水生生物Ⅲ			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	2	時間数	60	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		アクアリウムの管理・実践 水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		1人に1つの水槽（基本60cm水槽）を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げる。 水草の定着から、流木・アクセサリを使用してのアレンジができる。						
受講条件		ペットアドバイザーコース在籍 水生生物Ⅱの単位を取得した者						
教科書名		該当なし			教材名	配布プリント		
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト	アクアジャーナル https://www.adana.co.jp/jp/aquajournal/		
関連前科目		水生生物Ⅱ			関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1-2回	○月○日	授業開始について 大型魚類について	授業開始について 水槽のメンテナンス 大型魚類について 水槽メンテナンスの基本項目と重要性を説明することができる				-	
第3-4回	○月○日	レイアウトの構成	自分の水槽の始めからの立ち上げ 立ち上げの工程を順序立てて説明できる				-	
第5-6回	○月○日	レイアウトの構成	レイアウト決めと水槽の組み立て準備 水槽本体、ろ過装置、底床材、器具類の役割と配置を説明できる				-	
第7-8回	○月○日	管理方法とレイアウト	水の管理、アクセサリ、流木の管理とレイアウト 水質管理の基本(pH、硬度、アンモニア、亜硝酸、硝酸塩など)とその重要性を理解し説明することができる				-	
第9-10回	○月○日	校外学習	アクアリウム・ショップ見学 アクアリウム・ショップで取り扱われている商品や設備の種類を理解することができる				-	
第11-12回	○月○日	買い付け	各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する 熱帯魚と水草の種類や相性、飼育条件を理解できる				-	
第13-14回	○月○日	水槽レイアウト 魚の病気について	全体での水槽のレイアウト 魚の病気について 魚の代表的な病気とその原因、予防法を理解し説明することができる				-	
第15-16回	○月○日	水槽レイアウト 魚の病気（治療と病魚薬）	全体での水槽のレイアウト 魚の病気(治療と病魚薬) 全体レイアウトの基本(前景・中景・後景、水草や構造物の配置)を理解し、魚の生活環境に与える影響も説明できる。				-	
第17-18回	○月○日	水槽メンテナンス	水槽のメンテナンス 水槽メンテナンスの重要性と目的を理解し、重要性を説明することができる				-	
第19-20回	○月○日	水槽メンテナンス	水槽のメンテナンス 水槽メンテナンスの重要性と目的を理解し、重要性を説明することができる				-	
第21-22回	○月○日	作品について (定期試験内容)	作品の仕上げ 水槽全体の清掃と機器の最終点検を行える				-	
第23-24回	○月○日	作品の作品仕上げ	作品の仕上げ 水槽全体の清掃と機器の最終点検を行える				-	
第25-26回	○月○日	作品管理について	作品の維持と管理 水槽の維持管理に必要な基本事項(水質管理、機器の点検、生体の健康管理など)を理解することができる				-	
第27-28回	○月○日	作品の管理と維持について	作品の維持と管理 水槽の維持管理に必要な基本事項(水質管理、機器の点検、生体の健康管理など)を理解することができる				-	
第29-30回	○月○日	作品仕上げ・まとめ 試験解説	作品のまとめ・総仕上げ（自分の作品の展示紹介） 自分の作品の特徴や工夫点、制作過程を整理して説明できる				試験解説	
成績評価方法								
課題レポート：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 作品：水槽レイアウトを考え、オリジナル作品を制作することができる 出席：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート			1位	2位			10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品		1位	2位	2位	1位		60	不可（E）:59点以下
⑥出席				2位	1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	細川 敏史			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/hosokawa/			

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学特論			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物飼養管理士試験【1級】に関連する内容を覚える。 愛玩動物飼養管理士1級の合格レベル、知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	愛玩動物飼養管理士1級に合格する。							
受講条件	ペット総合科 ペットアドバイザーコースに在籍							
教科書名	愛玩動物飼養管理士【1級】教本 第1・2巻				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	—		
関連前科目	愛玩動物飼養管理学Ⅱ				関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 動物の体の仕組みと働き (循環器・呼吸器)	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 循環器、呼吸器について 循環器系と呼吸器系の基本構造と機能を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第2回	○月○日	動物の体の仕組みと働き (神経の構造と役割)	体内の情報伝達 血液と造血器について 神経系の構造と機能を説明できる 血液の構成成分と機能を理解する	愛玩動物飼養管理士1級教本
第3回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (動物の遺伝)	動物の遺伝とは遺伝病について 遺伝の基本原則を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第4回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (動物の繁殖生理)	犬の繁殖生理 猫の繁殖生理について 犬と猫の生殖器の構造と機能を理解し、発情周期の特徴や違いを説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第5回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (その他の哺乳類の繁殖生理)	その他の哺乳類の繁殖生理 鳥類の繁殖生理 哺乳類と鳥類の繁殖生理の基本を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第6回	○月○日	犬と猫の栄養学	基礎栄養 栄養素とその機能 主要な栄養素の種類と特徴を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第7回	○月○日	犬と猫の栄養学 (食性や摂食行動)	食性・嗜好・嗜好性・摂食行動について・犬と猫の共通点と相違点 食性とは何か理解し、犬と猫の食性の違いを説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第8回	○月○日	犬と猫の栄養学 (栄養要求量)	犬と猫のエネルギー要求量について 犬と猫のエネルギー要求量の基本原則を理解し、エネルギー要求量の計算ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第9回	○月○日	犬と猫の栄養学 (ライフステージと栄養)	ライフステージにおける栄養素について ライフステージにおける主要な栄養素の必要量の説明ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第10回	○月○日	犬と猫の栄養学 (栄養状態の評価法)	栄養状態の評価法(BCS、体脂肪測定)について 犬と猫のBCSの評価基準を理解し、犬と猫の適正体型を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第11回	○月○日	犬と猫の栄養学 (疾患と栄養)	さまざまな疾患時の食事療法 食事療法の基本原則を理解し、疾患時の栄養管理の重要性を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第12回	○月○日	産業動物・実験動物・野生動物 展示動物について	産業動物・実験動物・野生動物・展示動物について それぞれの飼育管理、飼育環境、人との関わりの説明ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第13回	○月○日	模擬試験	愛玩動物飼養管理士1級 模擬試験実施 模擬試験の問題を時間内に解き、正確に解答ができる	模擬試験
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題
確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点						10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	築山 清美
				実務経験紹介	—

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	小動物看護学			学科 (コース)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	動物看護師から、ペットアドバイザーに知っておいてほしい小動物の疾病、それを防ぐための飼育方法等について学ぶ。ペットショップで取り扱う代表的な小動物の生態・習性、飼養・保定方法、代表的な疾病を各小動物ごとに説明できる。ペットショップでお客様に対して、各動物の起こりやすい病気を踏まえて紹介することができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ウサギの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 ハムスターの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 フェレットの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 モルモットの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 ハリネズミの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 チンチラの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 鳥の種類や生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。							
受講条件	ペット総合科 アドバイザーコース在籍							
教科書名	新版 やさしいエキゾ学				教材名	配布プリント		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト	みんなのどうぶつ病気大百科 https://www.anicom-sompo.co.jp/doubutsu_pedia/		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 小動物(エキゾチックな動物)とは 食性とは	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 小動物(エキゾチックな動物)とはどのような動物をいうか説明できる 動物食性と植物食性の違いを説明できる。 「生物連鎖」が説明でき、具体例を1つ挙げられる					—
第2回	○月○日	ウサギってどんな動物？ ウサギの正しい飼い方	ウサギの形態的特徴・生態について説明できる ウサギを飼うにあたって、必要な道具やケージなど、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P2～P5
第3回	○月○日	ウサギの代表的な疾病 ウサギの保定 ウサギをお勧めする。	ウサギの持ち方や保定ができる 学んできた「ウサギ」についてをまとめ、3分で「ウサギ」の飼育時に気を付けることを説明できる					やさしいエキゾ学 P6～P18
第4回	○月○日	ハムスターってどんな動物？ ハムスターの正しい飼い方	ハムスターの形態的特徴・生態について説明できる ハムスターを飼うにあたって、必要な道具やケージなど、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P19～P25
第5回	○月○日	ハムスターの代表的な疾病 ハムスターの保定 ハムスターをお勧めする。	ハムスターの持ち方や保定ができる 学んできた「ハムスター」についてをまとめ、3分で「ハムスター」の飼育時に気を付けることを説明できる					やさしいエキゾ学 P26～P34
第6回	○月○日	モルモットってどんな動物？ モルモットの正しい飼い方	モルモットの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道具など、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P49～P53
第7回	○月○日	モルモットの代表的な疾病 モルモットの保定 モルモットをお勧めする。	モルモットの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、モルモットの持ち方や保定ができる 学んできた「モルモット」についてをまとめ、3分で「モルモット」の飼育時に気を付けることを説明できる					やさしいエキゾ学 P54～P60
第8回	○月○日	チンチラってどんな動物？ チンチラの正しい飼い方	チンチラの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道具など、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P77～P81
第9回	○月○日	チンチラの代表的な疾病 チンチラの保定 チンチラをお勧めする。	チンチラの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、チンチラの持ち方や保定ができる 学んできた「チンチラ」についてをまとめ、3分で「チンチラ」の飼育時に気を付けることを説明できる					やさしいエキゾ学 P82～P92
第10回	○月○日	フェレットってどんな動物？ フェレットの正しい飼い方	フェレットの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道具など、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P35～P39
第11回	○月○日	フェレットの代表的な疾病 フェレットの保定 フェレットをお勧めする。	フェレットの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、フェレットの持ち方や保定ができる 学んできた「フェレット」についてをまとめ、3分で「フェレット」の飼育時に気を付けることを説明できる					やさしいエキゾ学 P40～P48
第12回	○月○日	ハリネズミってどんな動物？ ハリネズミの正しい飼い方	ハリネズミの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道具など、正しいとされる飼育方法について説明できる					やさしいエキゾ学 P103～P107
第13回	○月○日	ハリネズミの代表的な疾病 ハリネズミの保定 ハリネズミをお勧めする。 試験範囲外	ハリネズミの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、モルモットの持ち方や保定ができる 学んできた「ハリネズミ」についてをまとめ、3分で「ハリネズミ」の飼育時に気を付けることを説明できる					試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験成績判定試験を受験することができる					成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる					試験解説
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする								
↓判定方法へ該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位	1位			60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				10	優（A）：89点～80点
③課題レポート				2位	1位		なし	良（B）：79点～70点
④授業態度							20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点							10	
							不合格の場合	再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	田邊 真吾			
				実務経験紹介	—			

更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Checker(確認者)		

2025年度シラバス

科目名	小動物飼育学Ⅱ			学科名 (コース名)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ペットショップで取り扱われている小型動物・中型動物（哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類等）やふれあい施設で飼養されている動物の知識を深め、アドバイザーとしての領域を広める。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ペットショップで取り扱われている小型・中型動物の飼養方法・取り扱い方、環境管理方法等を理解し、正しく顧客に説明ができる。就職先に該当する小型・中型動物が飼養されている場合に、管理ができる。							
受講条件	小動物飼育学Ⅰの単位を取得している者							
教科書名	EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学」				教材名	PowerPoint「小動物飼育学Ⅱ」（授業担当者作成）、		
設備名・機器名	TVモニター				関連サイト	「ペット大好き 小動物図鑑」 https://www.petoffice.co.jp/chg/mini.html		
関連前科目	小動物飼育学Ⅰ				関連後科目	なし		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について ウサギについて①	授業の必要性・概要・目標・目的についての説明・進め方 ウサギの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第2回	○月○日	ウサギについて②	ウサギの生態、習性、飼育方法の説明ができる ウサギの種類を覚える				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第3回	○月○日	ハムスターについて	ハムスターの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第4回	○月○日	モルモットについて	モルモットの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第5回	○月○日	フェレットについて	フェレットの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第6回	○月○日	確認テスト・演習	小テスト、演習				小動物	
第7回	○月○日	ハリネズミについて	ハリネズミの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第8回	○月○日	チンチラについて	チンチラの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第9回	○月○日	モモンガについて	モモンガの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第10回	○月○日	鳥類について①	鳥Ⅰの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第11回	○月○日	鳥類について②	鳥Ⅱの生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第12回	○月○日	両生類・爬虫類について	両生類・爬虫類の生態、習性、飼育方法の説明ができる				EDUWARD Press出版「やさしいエキゾ学・TVモニター」	
第13回	○月○日	確認テスト・演習	小テスト、演習				小動物	
第14回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験				成績判定試験	
第15回	○月○日	試験振り返り	試験問題解説・振り返り					
成績評価方法								
成績判定試験：第14回の授業内で実施(50分間) 70問(五肢択一問題) 確認テスト：第6回・第13回にて授業理解の確認(50問) 演習：授業を理解しお客様役に説明ができる 授業態度：減点方式(遅刻・早退はその度に1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況が変わらないようであれば2点減点) 出席点：0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		1位	2位				10	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D)：69点～60点
⑤演習		2位				1位	10	不可(E)：59点以下
⑥出席					1位		10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	山極 夏希	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	山極 夏希
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名	犬種・猫種学Ⅱ			学科名 (コース名)	ペット総合科 (ペットアドバイザーコース)		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		各グループの犬種や代表的な猫種の専門的な知識を覚える。 各犬種・猫種の習性や特徴を細かくスタンダードを分析し、覚える。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		それぞれの犬種・猫種のスタンダードを熟知し、お客様の質問等に的確なアドバイスができるようになる。						
受講条件		ペット総合科アドバイザーコース在籍						
教科書名		最新犬種図鑑、猫の教科書			教材名	powerpoint		
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン			関連サイト	みんなの犬図鑑 https://www.min-inuzukan.com/ みんなの猫図鑑 https://www.min-nekozukan.com/		
関連前科目		犬種猫種学Ⅰ			関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 1年次に履修した 犬種グループの復習	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 犬種標準とは何か？ 第1～10グループについて	最新犬種図鑑P8～P11
第2回	○月○日	犬種 第1グループ 5犬種	シープ・ドッグ&キャトル・ドッグ(スイス・キャトル・ドッグを除く)グループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P20～P41
第3回	○月○日	犬種 第2グループ 5犬種	ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスキャトル・ドッググループの関連犬種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難	最新犬種図鑑P44～P67
第4回	○月○日	犬種 第3グループ 4犬種	テリアグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P70～P99
第5回	○月○日	犬種 第4グループ 1犬種 犬種 第5グループ 5犬種	ダックス・フンドグループ・スピッツ&プリミティブ・タイプグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P102～P128
第6回	○月○日	犬種 第6グループ 2犬種 犬種 第7グループ 2犬種	セントハウンド&関連犬種グループ・ポインティング・ドッググループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P130～P150
第7回	○月○日	犬種 第8グループ 3犬種 犬種 第10グループ 2犬種	レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッググループ・サイト・ハウンドグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P152～P166 P192～200
第8回	○月○日	犬種 第9グループ 6犬種	コンパニオン&トイグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P168～P175
第9回	○月○日	犬種 第9グループ 6犬種	コンパニオン&トイグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など グループワーク	最新犬種図鑑P176～P189
第10回	○月○日	猫種 4種	アビシニアン、アメリカン・カール、アメリカン・ショートヘアー、ベンガル等の人気猫種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔猫の価格・画像・飼養難易度など	猫の教科書P8～9、P11、P1
第11回	○月○日	猫種 4種	バーマン、ブリティッシュ・ショートヘアー、ロシアンブルー、メイン・クーン等の人気猫種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔猫の価格・画像・飼養難易度など	猫の教科書P18～19、P21～
第12回	○月○日	猫種 4種	ノルウェー・ジャン・フォレスト・キャット、ベルシャ、ラグドール、スコティッシュ・フォールド等の人気猫種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔猫の価格・画像・飼養難易度など グループワーク	猫の教科書P46～47、P52～
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習	試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説、1年間の総まとめ	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 選択問題、空白記入問題
確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位	1位			10	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	小山 美優貴	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小山 美優貴
				実務経験紹介	二

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名	ペットアロマ		学科名 (コース名)	ペット総合科				学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格 区分	該当なし		
教育課程 区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格 名称	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		アロマの知識を身につけ、ペットにアロマを活用する方法を学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		アロマを用いてペットをケアする方法を身につける アロマの基本的な概念理解し、ペットの体調・性格・生活環境に合わせて適切なアロマを選ぶことができる							
受講条件		ペット総合科在籍							
教科書名		該当なし			教材名	PowerPoint「アロマケア」			
設備名・機器名		プロジェクター・白板			関連サイト	該当なし			
関連前科目		該当なし			関連後科目	該当なし			
授業計画(授業コマ単位)学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	○月○日	授業について ケアについて 基礎解剖学	【内容】 ・授業概要・目的・目標・必要性について ・動物のに対してケアでできること ・基礎解剖学(骨格系と筋系) 【目標】 ・授業概要・目的・目標・必要性について5分以内で説明できる ・動物の健康に対してペットのケアでできること3分以内で説明できる				PowerPoint「ペットアロマ」		
第2回	○月○日	ペットケアの概要 経絡とツボ リンパ系 姿勢と呼吸法	【内容】 ・マッサージの概要 ・経絡とツボについて ・リンパ系について ・動物と接するときの正しい姿勢と呼吸法について(腹式呼吸・胸式呼吸) 【目標】 ・経絡とツボの関係図(イラスト)を15分以内に書ける ・4大リンパ節の種類とリンパ最終出口について5分以内で説明できる ・動物と接するときの正しい姿勢と呼吸を3分以内で説明できる				PowerPoint「ペットアロマ」		
第3回	○月○日	健康と環境について 質について ケアの基本	【内容】 ・天と地、陰と陽の関係について ・撫でる場所、それぞれの意味と目的 ・健康と環境を整えることの重要性について ・空気、水、栄養、アロマの質について ・ケアを行う前にすること(マッサージ基本) 【目標】 ・健康と環境の2つの項目について、それぞれに必要なポイントを1つずつ3分以内で説明できる ・水と空気と栄養、アロマの質にこだわる必要性を10分以内で説明できる ・天と地、陰と陽について動物をなでる場所で意味が変わることの説明が5分以内で出来る が変わることを5分以内で説明できる				PowerPoint「ペットアロマ」		
第4回	○月○日	基礎マッサージ①(Tタッチ)	【内容】 ・Tタッチと一般的なマッサージの違い ・Tタッチ(Tellington TTouch®) (クラウドレオバードタッチ、リフト、耳のTタッチ、サークル、タイガータッチ、ノアズマーチ、ジャグリング、ゼブラ、クォータームーン、パイレーツフック、スムージング、スパイラル、ウィーブ、エアタッチ、ベトリサージュ) 【目標】 ・Tタッチ(Tellington TTouch®)と一般的なマッサージの違いを3分以内で説明できる ・Tタッチ15項目のうちランダムで選ばれた3項目を正しく1分間施術できる(全て覚える)				柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」		
第5回	○月○日	基礎マッサージ②(Tタッチ)	【内容】 ・Tタッチ(Tellington TTouch®) (ローリング、スナップ、ファスティング、スイング、トライアングル、サッキング、フリップ、ストローク、パルス、カーブ、エルボー、ホッピング、ウェーブ、スライド) ・Tタッチ15項目のうちランダムで選ばれた3項目を正しく1分間施術できる(全て覚える)				柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」		
第6回	○月○日	基礎マッサージ③	【内容】 ・4大リンパ節の準備マッサージ(頭部、頸部、肩、前肢、背、腰、後肢、尾) 【目標】 ・マッサージ開始時に行う事を実施した上で準備マッサージを正しく1分間動物に施術できる				柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」		

2025年度シラバス

第7回	〇月〇日	ツボと応用マッサージ①	【内容】 ・症状別ツボとマッサージ(肩こり、元気アップ、ダイエット、ストレス解消) 【目標】 ・正しく1分間動物に施術できる	柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」
第8回	〇月〇日	ツボと応用マッサージ②	【内容】 ・症状別マッサージ(車酔い、老化防止と免疫向上、認知症、分離不安と猫のマーキング) 【目標】 ・正しく1分間動物に施術できる	柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」
第9回	〇月〇日	ツボと応用マッサージ③	【内容】 ・症状別マッサージ(耳のトラブル、皮膚のトラブル、目のトラブル、快便) 【目標】 ・動物の症状別ツボ押し方法を1症状につき1つずつ施術できる	柔らかいぬいぐるみ・犬・PowerPoint「ペットアロマ」
第10回	〇月〇日	基礎アロマ①	【内容】 ・アロマについて(ラベンダー2種・レモングラス・ペパーミント・オレンジスイート) 【目標】 ・アロマの必要性と各5種類のアロマについて説明が5分以内で説明できる	アロマ(メディカルグレード)
第11回	〇月〇日	基礎アロマ②	【内容】 ・アロマについて(ラヴィンツァラ・ゼラニウムエジプト・バジル) 【目標】 ・3種類の各アロマについての説明が5分以内で説明できる	アロマ(メディカルグレード)
第12回	〇月〇日	応用アロマ	【内容】 ・アロマクラフト(ブラッシングスプレー、肉球クリーム) 【目標】 ・アロマクラフト(ブラッシングスプレー(好)・肉球クリーム)をそれぞれ1つ10分以内で制作できる	アロマ(メディカルグレード) 容器、親水クリーム、グリセリン、精製水、オイル
第13回	〇月〇日	復習・定期テスト対策	【内容】 ・復習及び定期テスト対策 【目標】 ・復習問題プリントを3回繰り返し実施し、その3回以内で全問正解できるようになる。	PowerPoint「ペットアロマ」
第14回	〇月〇日	成績判定試験	【内容】 ・定期テスト 【目標】 ・筆記試験の全100点分のうち70%以上の問題に正解する。 (文章や5択の問題50%・映像を見て答える問題20%)	試験用紙
第15回	〇月〇日	総復習・アロマクラフト	【内容】 【目標】 ・定期テストの内容で間違っていたものを覚え、改めて問われたときに全問正解できる。 アロマクラフト(育毛クリーム)を10分以内に1つ制作できる。	アロマ(メディカルグレード) 容器、精製水、オイル PowerPoint「ペットアロマ」

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

”成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分間) 70問(記述問題)
授業態度:20点満点で10点スタートの加減点法(遅刻・早退居眠りや私語等はその度に1点減点、発表や質問その度には1点加減)
出席:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。”

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点～90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点～80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席			1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	小笠原季輝	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	小笠原季輝
				実務経験紹介	—

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	ペット経営学			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ドッグ（ペット）サロン、生体販売店、ペット介護施設、しつけ教室等の店舗運営に直結する内容を覚え、将来店舗運営時に活用。 最新ペット業界の動きを常にチェックする。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ペット業界をビジネスの観点から分析できる力を身につける。 就職した時、または将来ドッグ（ペット）サロン、生体販売店、ペット介護施設、しつけ教室等を自分で経営、就職先店で店長就任の際に役立つ知識とビジネス感覚を身につける。							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	ホワイトボード プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	該当なし		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	オリエンテーション ペット経営学について 自己紹介	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 自己紹介 授業の必要性や目的を説明できる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第2回	○月○日	スタッフ・店長・経営者の仕事 オーナーに必要な資質 ボランティア活動と企業活動の違い	スタッフ・店長・経営者の仕事 オーナーに必要な資質 スタッフ・店長・経営者それぞれの役割と仕事内容の違いを理解し、立場に応じた責任やスキルについて説明できる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第3回	○月○日	目的に合った経営形態 商圏とマーケット 立地選び	事業の目的や規模に応じた経営形態の特徴を理解し 適切な形態を選ぶ理由を説明できる。	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第4回	○月○日	競合店調査 SWOT分析	同じ業種・業態の競合店を調査し、品揃え・価格・立地・サービスなどを比較できるようにする	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第5回	○月○日	サロンコンセプト作り	サロンコンセプト作り お店の USP を明確にする「YIC 京都ペット総合専門学校」の USP を考えるキャッチコピーについて お店の USP を明確にし、他の店との違いを具体的に説明できる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第6回	○月○日	理想のお店を考える	理想のお店を考える 経営理念について 自分たちの会社（お店）を立ち上げる自分たちの理想とするお店のイメージ（サービス内容・雰囲気・客層など）を具体的に描き説明することができる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第7回	○月○日	ポスター作製	ポスター作成 ①オープニングキャンペーン ②お店のコンセプトにあったプレゼント視覚的に見やすく、伝えたい情報が一目でわかるポスターをデザインできる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第8回	○月○日	自分たちの会社についてのプレゼンテーション	会社についてのプレゼンテーション 自分たちで考えた会社の概要（コンセプト・経営理念・サービス内容・ターゲットなど）を整理しプレゼン資料としてまとめることができる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第9回	○月○日	キャッチコピーとボディコピーを考える	スタッフ紹介ポスター作成 お店やサービスの魅力が一目で伝わるキャッチコピーを考案しポスターを作成することができる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第10回	○月○日	スタッフ紹介ポスター作成 オプションメニュー考案	スタッフ紹介ポスター作成 お店のコンセプトや客層に合わせて、新たなオプションメニュー（追加サービス）を企画・提案することができる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第11回	○月○日	売上げと経費（コスト）の関係	売上と経費の関係 売上や利益を伸ばすために経費を抑える工夫や売上を増やす方法について考え、提案することができる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第12回	○月○日	チームとグループの違い 組織に必要な3大要素 モチベーション管理	チームとグループの違い チームとグループの違いを理解し、目的を共有し協力できる組織づくりの重要性を説明できる	トリマーの為のペットサロン 開業経営マニュアル
第13回	○月○日	人事、労務管理 採用の目的と求める人材 試験対策	人事・労務管理の基本的な役割 （人材の採用・育成・評価・労働環境の整備など）を理解し、組織運営における重要性を説明できる	試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題）
課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							優（A）：89点～80点
③課題レポート		1位	2位			10	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点			2位	1位		10	
						不合格の場合	再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	金森 孝子
				実務経験紹介	二

更新履歴

2025年度シラバス

科目名 ¹	フードアドバイザー ²			学科名 ⁵ (コース名)	ペット総合科		学年 ³	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁸	10月	該当資格区分 ⁵	該当なし	
教育課程区分	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹ フードアドバイザーとしての最低限必要な知識である栄養学、ペットフード、サプリメント類についてを覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹ フードアドバイザーとして、飼い主さん等の相談に適切に対応しアドバイスすることができる。							
受講条件	¹ ペット総合科在籍							
教科書名	¹ ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー				教材名	¹ PowerPoint		
設備名・機器名	¹ プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	¹ 該当なし		
関連前科目	¹ 該当なし				関連後科目	¹ 該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 2

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について ペットフードアドバイザーとは	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ペットフードアドバイザーとは 授業の必要性や目的を説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー
第2回	○月○日	栄養と栄養学	栄養と栄養素 栄養とは何かを理解し、健康を維持するために食事が果たす役割を説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P12～P16
第3回	○月○日	からだのしくみ	からだのしくみ 人のからだの基本的な構造（骨格・筋肉・内臓など）とそれぞれの役割を理解し、説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P12～P16
第4回	○月○日	炭水化物 脂質 タンパク質	炭水化物・脂質・タンパク質 三大栄養素（炭水化物・脂質・タンパク質）の名称と、それぞれの役割を理解し、説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P21～P39
第5回	○月○日	ビタミン ミネラル	ビタミン、ミネラル他 ビタミンとミネラルの役割を理解し、体の調子を整えるために必要な栄養素であることを説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P41～P53
第6回	○月○日	エネルギーと養分要求量	エネルギーと養分要求量 エネルギー（カロリー）と養分（栄養素）の要求量が、年齢や活動量によって異なることを理解し、説明できる。	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P58～P60
第7回	○月○日	ライフステージと栄養について	ライフステージと栄養について ライフステージごとに必要な栄養素とその量が異なることを理解し、説明できる。	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P58～P60
第8回	○月○日	主な犬種 猫種の食事	主な犬種・猫種の食事について 犬種や猫種ごとの栄養ニーズや食事の特徴を理解し、適切な食事管理ができるようになる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P73～P74
第9回	○月○日	ペットフードの成り立ち	ペットフードの成り立ち他 ペットフードの歴史と成り立ちを理解し、なぜ現在のペットフードがどのように発展してきたかを説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P76～P82
第10回	○月○日	ペットフードの成り立ちの製造 加工法 表示	ペットフードの製造・加工法、表示等 ペットフードの製造・加工方法を理解し、どのようなプロセスでペットフードが作られるかを説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P85～P106
第11回	○月○日	サプリメントと手作り食	サプリメントと手作り食について ペットの健康維持におけるサプリメントの役割を理解し、適切な使用方法や過剰摂取に注意すべき点を説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P85～P106
第12回	○月○日	対面アドバイス	お客様への対応とフード販売に関するQ&A ペットフードやサプリメントを購入するお客様に対して、製品の特徴や栄養素の選び方をわかりやすく説明できる	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー P126～P134
第13回	○月○日	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習 試験範囲の復習や対策ポイントを上げることができる	試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法 2

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題）
課題レポートを提出：課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位	1位			60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
						不合格の場合	再試験

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	(井田亜由美)			
				実務経験紹介	二			

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					

2025年度シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学特論			学科名 (コース名)	ペット総合科			学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	愛玩動物飼養管理士1級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	愛玩動物飼養管理士試験【1級】に関連する内容を覚える。 愛玩動物飼養管理士1級の合格レベル、知識を覚える。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	愛玩動物飼養管理士1級に合格する。								
受講条件	ペット総合科 ペットアドバイザーコースに在籍								
教科書名	愛玩動物飼養管理士【1級】教本 第1・2巻				教材名	PowerPoint			
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト				
関連前科目	愛玩動物飼養管理学				関連後科目	ー			

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について 動物の体の仕組みと働き (循環器・呼吸器)	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 循環器、呼吸器について 循環器系と呼吸器系の基本構造と機能を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第2回	○月○日	動物の体の仕組みと働き (神経の構造と役割)	体内の情報伝達 血液と造血器について 神経系の構造と機能を説明できる 血液の構成成分と機能を理解する	愛玩動物飼養管理士1級教本
第3回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (動物の遺伝)	動物の遺伝とは遺伝病について 遺伝の基本原則を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第4回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (動物の繁殖生理)	犬の繁殖生理 猫の繁殖生理について 犬と猫の生殖器官の構造と機能を理解し、発情周期の特徴や違いを説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第5回	○月○日	動物の遺伝と繁殖生理 (その他の哺乳類の繁殖生理)	その他の哺乳類の繁殖生理 鳥類の繁殖生理 哺乳類と鳥類の繁殖生理の基本を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第6回	○月○日	犬と猫の栄養学	基礎栄養 栄養素とその機能 主要な栄養素の種類と特徴を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第7回	○月○日	犬と猫の栄養学 (食性や摂食行動)	食性・嗜好・嗜好性・摂食行動について・犬と猫の共通点と相違点 食性とは何か理解し、犬と猫の食性の違いを説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第8回	○月○日	犬と猫の栄養学 (栄養要求量)	犬と猫のエネルギー要求量について 犬と猫のエネルギー要求量の基本概念を理解し、エネルギー要求量の計算ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第9回	○月○日	犬と猫の栄養学 (ライフステージと栄養)	ライフステージにおける栄養素について ライフステージにおける主要な栄養素の必要量の説明ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第10回	○月○日	犬と猫の栄養学 (栄養状態の評価法)	栄養状態の評価法(BCS、体脂肪測定)について 犬と猫のBCSの評価基準を理解し、犬と猫の適正体型を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第11回	○月○日	犬と猫の栄養学 (疾患と栄養)	さまざまな疾患時の食事療法 食事療法の基本概念を理解し、疾患時の栄養管理の重要性を説明できる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第12回	○月○日	産業動物・実験動物・野生動物 展示動物について	産業動物・実験動物・野生動物・展示動物について それぞれの飼育管理、飼育環境、人との関わりの説明ができる	愛玩動物飼養管理士1級教本
第13回	○月○日	模擬試験	愛玩動物飼養管理士1級 模擬試験実施 模擬試験の問題を時間内に解き、正確に解答ができる	模擬試験
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 成績判定試験を受験することができる	成績判定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題
確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする。
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位	1位			60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				10	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席点						10	
							不合格の場合
							再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	築山 清美
				実務経験紹介	二

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度シラバス

科目名	損害保険学		学科名 (コース名)	ペット総合科			学年	1学年
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	4月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	損害保険募集人資格 基礎単位	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ペット保険及び損害保険募集人に関連する内容を覚える。 アニコム損害保険の合格レベル、知識を覚える。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ペット保険及び損害保険募集人に関連する内容を覚え、損害保険募集人資格取得ができる。							
受講条件	ペット総合科に在籍している							
教科書名	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年				教材名	損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年		
設備名・機器名	プロジェクター、スクリーン				関連サイト	アニコム損害保険株式会社 https://www.anicom-sompo.co.jp/		
関連前科目	なし				関連後科目	なし		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	保険の基礎①	保険の仕組みと役割について。損害保険の基本的な仕組みと社会的役割、保険の原理を説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第2回	○月○日	保険の基礎②	保険の種類と分類について。損害保険・生命保険の違い・損保内の分類を説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第3回	○月○日	保険契約の基礎①	保険契約の基礎（契約の構造と流れ）について。保険契約の成立過程（申し込み・告知・引受など）を説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第4回	○月○日	保険契約の基礎②	保険契約の基礎（保険法）について。保険法の基本用語や保険法上の時効などについて説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第5回	○月○日	火災保険の基本	火災保険の内容と特徴について。火災保険で補償される内容、対象、免責事項について説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第6回	○月○日	自動車保険の基本	自動車保険の基本と種類について。自賠責保険と任意保険の違いや主な補償内奥について説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第7回	○月○日	傷害保険・疾病保険の基本	傷害保険・疾病保険の基本について。傷害保険・疾病保険の仕組みと対象となるリスクを説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第8回	○月○日	特殊な保険商品（賠償責任保険・貨物・旅行など）	特殊な保険商品（賠償責任保険など）について。特殊な損害保険の例を挙げて、それぞれの特徴と対象リスクを説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第9回	○月○日	保険募集実務①	募集人の役割・禁止行為について。募集人が行ってはいけない行為を理解し、説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第10回	○月○日	保険募集実務②	募集人の重要事項説明と契約提携までの流れについて。重要事項説明書や以降把握義務の内容を理解し、実務の流れを説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第11回	○月○日	コンプライアンスと顧客対応	コンプライアンスと顧客対応について。募集人の苦情対応や倫理的配慮、個人情報保護の基本を説明できる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第12回	○月○日	過去問題演習①	過去問題演習（基礎・商品知識）実施。過去問題を解いて基礎知識と商品知識の復習ができる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第13回	○月○日	過去問題演習②	過去問題演習（法令・実務）実施。過去問題を解いて法令・実務系の復習ができる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第14回	○月○日	模擬試験と総復習	模擬試験と総復習実施。本番形式の模擬試験を通じて弱点を確認し、合格に向けた総復習ができる。				損害保険募集人一般試験教育テキスト2025年	
第15回	○月○日	アニコム損害保険募集人資格試験	損害保険募集人資格基礎単位資格試験実施。試験に合格し資格を取得できる。					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
成績判定試験：資格試験である「損害保険募集人資格基礎単位」の点数を元に成績判定試験80%分の点数を算出 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 出席：10% 以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				80	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席				1位			10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再履修
シラバス作成者	小林 永実	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	アニコム損害保険担当者			
				実務経験紹介	-			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								

2025年度シラバス

科目名		アニマルヘルパー		学科名 (コース名)	ペット総合科			学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定		
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	アニマルヘルパー		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		独立開業を目指す場合やトリマー、ドッグトレーナー、ペットショップ、ペットホテルなどの職業に就いても必要となる訪問サービスを学び身につける。犬・猫の行動特性を理解しヘルパー業務を身に付ける。また要介護が必要な動物のケアも学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		アニマルヘルパーが行うペット訪問サポートについて実践的に身につける。							
受講条件		YIC京都ペット総合専門学校に所属している。							
教科書名		日本ペットサービス研究会作成テキスト			教材名	日本ペットサービス研究会作成動画 全11回、動物のぬいぐるみ、包帯			
設備名・機器名		なし			関連サイト	一般社団法人 日本ペットサービス研究会 https://pet-ken.com/			
関連前科目		特になし			関連後科目	特になし			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	○月○日	授業概要説明 インフォメーション	授業内容：〈オンデマンド授業〉講座の目標、講座終了までの流れ、配布資料の確認 到達目標：講座の目標と終了までの流れを説明できる				・動画①「概要説明・インフォメーション」 ・研究会作成テキスト		
第2回	○月○日	犬の行動①	授業内容：〈オンデマンド授業〉犬の発達過程、犬種特性① 到達目標：犬の発達過程のステージの行動特徴を説明できる				・動画②「犬の行動」 ・研究会作成テキスト		
第3回	○月○日	犬の行動②	授業内容：〈オンデマンド授業〉犬種特性②、ボディランゲージ 到達目標：犬種毎の特性を説明できる/犬のボディランゲージ画像の選択肢の中から正しい意味を選択できる				・動画②「犬の行動」 ・研究会作成テキスト		
第4回	○月○日	猫の行動①	授業内容：〈オンデマンド授業〉猫の発達過程、ボディランゲージ① 到達目標：猫の発達過程のステージの行動特徴を説明できる				・動画③「猫の行動」 ・研究会作成テキスト		
第5回	○月○日	猫の行動②	授業内容：〈オンデマンド授業〉ボディランゲージ②、排泄やパオスなど猫特有の行動 到達目標：猫特有の行動を説明できる/猫のボディランゲージ画像の選択肢の中から正しい意味を選択できる				・動画③「猫の行動」 ・研究会作成テキスト		
第6回	○月○日	業務 -犬①-	授業内容：〈オンデマンド授業〉犬のお世話ををする際の注意事項や散歩や食事など依頼される可能性が高い内容について 到達目標：犬のお世話ををする際の注意点を3つ説明できる				・動画④「業務 -犬①-」 ・研究会作成テキスト		
第7回	○月○日	業務 -犬②-	授業内容：〈オンデマンド授業〉犬のお世話ををする際の注意事項や散歩や食事など依頼される可能性が高い内容とその手順 到達目標：犬のお世話において依頼される可能性の高い事項の流れを説明できる				・動画⑤「業務 -犬②-」 ・研究会作成テキスト		
第8回	○月○日	業務 -猫①-	授業内容：〈オンデマンド授業〉猫のお世話ををする際の注意事項やトイレ掃除や遊びなど依頼される可能性が高い内容について 到達目標：猫のお世話ををする際の注意点を3つ説明できる				・動画⑥「業務 -猫①-」 ・研究会作成テキスト		
第9回	○月○日	業務 -猫②-	授業内容：〈オンデマンド授業〉猫のお世話ををする際の注意事項やトイレ掃除や遊びなど依頼される可能性が高い内容とその手順 到達目標：猫のお世話において依頼される可能性の高い事項の流れを説明できる				・動画⑦「業務 -猫②-」 ・研究会作成テキスト		
第10回	○月○日	介護ケア①	授業内容：〈オンデマンド授業〉食事介護や排泄介護、運動介護など 到達目標：各介護の時の注意点を3つずつ説明できる				・動画⑧「介護ケア①」 ・研究会作成テキスト		
第11回	○月○日	介護ケア②	授業内容：〈オンデマンド授業〉特別に看護が必要な動物の対応 到達目標：看護が必要な動物への対応を説明できる				・動画⑨「介護ケア②」 ・研究会作成テキスト		
第12回	○月○日	エキゾチックアニマル	授業内容：〈オンデマンド授業〉一般的な小動物の具体的なお世話や注意事項 到達目標：一般的な小動物のお世話における注意事項を3つ説明できる				・動画⑩「エキゾチックアニマル」 ・研究会作成テキスト		
第13回	○月○日	CPR（心肺蘇生）	授業内容：〈オンデマンド授業〉訪問サービス時の心肺蘇生法のタイミングや具体的な方法 到達目標：心肺蘇生のポイントを3つ説明できる				・動画⑪「CPR（心肺蘇生）」 ・研究会作成テキスト		
第14回	○月○日	心肺蘇生・応急処置実習	授業内容：〈対面授業〉 到達目標：訪問サービス時に起こり得る怪我等の応急処置ができる				・研究会作成テキスト ・動物のぬいぐるみ ・包帯		
第15回	○月○日	修了試験	授業内容：〈対面授業〉 到達目標：アニマルヘルパーの試験を受け、検定を取得できる				・研究会作成修了試験		
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）									
検定試験：第15回の授業内にて実施。 ※詳細は第14回〈対面授業〉にて説明 検定の取得を以って単位認定とする。									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①検定試験		1位	2位				100	秀（S）：100点～90点	
②演習							なし	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度							なし	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥出席							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	なし	
シラバス作成者	北村 昌樹	シラバス承認者	井田亜由美		授業担当教員	阿部 令子（日本ペットサービス研究会）			
					実務経験紹介	-			
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									

2025年度シラバス

科目名	実務研修Ⅱ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ペットショップや動物病院での業務に関わりながら、接客や動物のケア、衛生管理などを効率的かつ質の高い方法で実行できる能力を身につける 毎日の業務において、時間管理や報告・連絡・相談の基本をしっかり守り、職場内外での信頼関係を築く 職場での協力体制を意識し、チームメンバーとの役割分担や情報共有を適切に行い、仕事の質を向上させる							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ペットショップや動物病院での業務を通じて、接客、動物ケア、衛生管理を効率的かつ質の高い方法で実行できるようになる 日々の業務において、時間管理を意識し、業務の優先順位を付けて効率的に遂行できるようになる 職場での協力体制を意識し、チームメンバーと適切に役割分担し、情報共有を行うことで、仕事の効率化と質の向上を実現できる							
受講条件	後期開始時点で内定をもらっている者							
教科書名	該当なし				教材名	該当なし		
設備名・機器名	該当なし				関連サイト	ビーンズ-エントリーシートの書き方 https://study-support-beans.com/blog/job-hunting_entry-sheet/		
関連前科目	実務研修Ⅰ				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	○月○日	事前学習 業界研究		就職を希望するペットショップ・動物病院に関して、仕事の内容、仕事の条件、その業界内における当該企業の位置づけと将来性はどのようになっているのか等、自分自身の視点から調査・分析することができる				
第2回	○月○日	事前学習 実務研修の依頼		就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整				
第3回	○月○日	事前学習 実務研修の心構え		インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう				
第4回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第5回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第6回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第7回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第8回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第9回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第10回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第11回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第12回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第13回	○月○日	実務研修		受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報
第14回	○月○日	事後学習		体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する 1日の流れや研修内容をまとめることができる				
第15回	○月○日	事後学習		体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する 2日の流れや研修内容をまとめることができる				
成績評価方法								
成績判定試験：なし。 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：実習報告書を1日の終わりに必ず記入。 以上、出席率80％であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート		3位	2位	1位			60	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥出席				1位			10	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	2年生担任	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2年生担任	
				実務経験紹介		
更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度シラバス

科目名 ¹	卒業研究 ²			学科名 (コース名) ²	ペット総合科		学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁵	該当なし	
教育課程区分	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表現ができる。 各グループ毎で、2年間学んだ内容をPowerPointや動画作成をし1年生に向け配信する							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 プレゼンテーションの基本知識を修得する 自分の考えを明確に表現でき、プレゼンテーションを効果的に進めることができる							
受講条件	1 ペット総合科在籍							
教科書名	1 該当なし				教材名	1 該当なし		
設備名・機器名	1 PC				関連サイト	1 該当なし		
関連前科目	1 該当なし				関連後科目	1 該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 2

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	プレゼンテーション 基本知識	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 プレゼンテーションの種類と定義を覚える	
第2回	○月○日	プレゼンテーション 構成と進め方	プレゼンテーションの方法 グループ決め	
第3回	○月○日	グループ毎に構成を考える テーマを決める	プレゼンテーション作成に向けてテーマを決める	配布プリント
第4回	○月○日	グループ毎に構成を考える 構成を決める	プレゼンテーション構成を決める	配布プリント
第5回	○月○日	グループ毎に構成を考える 分担を決める	プレゼンテーション分担を決める	配布プリント
第6回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第7回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第8回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第9回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第10回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第11回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第12回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第13回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第14回	○月○日	動画作成 分担に分かれ作成する	グループ内で役割分担を理解し、各自の担当パート（企画・撮影・編集・ナレーションなど）を責任をもって遂行できる	PC
第15回	○月○日	動画作成の振り返り	成功点・課題点を客観的に分析し、今後の改善につなげることができる	

成績評価方法 2

成績判定試験
授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）グループで自ら進んで作業することができる
作品：動画作成が構成通りに見やすく作成されているか
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）： 69点～60点
⑤作品	2位	2位	1位			50	不可（E）:59点以下
⑥出席点			2位	1位		20	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	2年次担任
				実務経験紹介	二

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名	ビジネス文章力			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2 ³ 学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	硬筆書写検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	1 美しい字を書く。ビジネス文書に関わる知識・技術を実際に活用できる。手紙・はがきを書くルールやマナーを活用する。 社会人として必要なビジネス文書のマナーとルールを活用して社会生活を送る。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1 硬筆書写技能検定3級の合格 就職活動に必要な履歴書の正しい記入方法を理解し、正しく記載できる。 お礼状の正しい書き方を理解し、正しく作成できる。							
受講条件	1 ペット総合科在籍							
教科書名	1 硬筆書写技能検定3級合格のポイント				教材名	1 硬筆検定3級過去問プリント、練習用履歴書用紙、便箋		
設備名・機器名	1 プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	1 https://www.nihon-shosha.or.jp/schedule.html		
関連前科目	1 該当なし				関連後科目	1 該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業概要・文字について	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明 基本点画を正しく書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイント
第2回	○月○日	漢字・楷書について① 硬筆検定3級問題解きなおし (第7問)	筆写の楷書体を理解し、実際に書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP111～119
第3回	○月○日	漢字・楷書について② 硬筆検定3級問題解きなおし (第1問)	枠と文字の大きさに注意し、字形を整え書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP17～32
第4回	○月○日	平仮名・片仮名について 硬筆検定3級問題解きなおし (第9問)	平仮名と片仮名を書くとき、漢字のサイズとバランスが調和するよう書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP133～142
第5回	○月○日	硬筆検定3級問題解きなおし (第4. 5. 8. 10問)	第1～4回目の授業で学んだことを意識しながら硬筆検定の過去問を解きなおし、合格ラインの点数を超える事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP71～100, 120～132, 143～154
第6回	○月○日	行書について 硬筆検定3級3級検定問題解きなおし	行書の書き方を理解し、やや進んだ行書を書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP42
第7回	○月○日	硬筆検定3級問題解きなおし (第6問)	掲示の正しい書き方を説明、実践する事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP101～110
第8回	○月○日	硬筆検定3級問題対策 (第1. 6問の対策)	本番の試験を想定し合格点を超える事が出来るよう早書き（第1問）と掲示（第6問）を書く事が出来る。	硬筆書写技能検定3級合格のポイントP17～32, 101～110
第9回	○月○日	履歴書の書き方①	正しいとされる履歴書の書き方を説明する事が出来る。	練習用履歴書用紙
第10回	○月○日	履歴書の書き方②	何も見ずに履歴書に記載する事項を全て記入する事が出来る。	練習用履歴書用紙
第11回	○月○日	履歴書の書き方③ インターンシップお礼状を書く	実際に見学に行った動物病院へ正しくお礼状を書き郵送できる。	練習用履歴書用紙、便箋
第12回	○月○日	履歴書送付状の書き方について	送付状の正しいレイアウトと記入事項を過不足なく記入することができる	-
第13回	○月○日	内定のお礼、及び内定承諾書を送る	内定承諾書を送付する際に必要なお礼状を正しく書く事が出来る。	便箋
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる	単位認定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説

成績評価方法

成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題
確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題
授業態度：減点方式（居眠り）、授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位	1位			60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥出席			2位	1位		10	
							不合格の場合 再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	(井田亜由美)
				実務経験紹介	二

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名	論理的思考力			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	なし	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	日常生活やビジネス、学習活動の中で必要とされる「論理的思考力(ロジカル・シンキング)」の基礎を学ぶ 自分の考えを筋道立てて整理し、相手にわかりやすく伝える力を育てるとともに、問題を正確に捉えて解決策を導くための考え方を身につける							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	社会に適応しその要求する能力を身につける。理解する能力を身につける。さらに、現実社会生活を送る市民として、そのさまざまな状況での必要性に合致した方法で数学を活用し、数学とよい関係を結んでいくことのできる能力をつける。							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	ペットビジネスプロ養成講座 フードアドバイザー				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	プロジェクター スクリーン PC				関連サイト	やってみよう ロジカルシンキング https://www.lucidas.co.jp/logical-thinking-guide.html		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 2

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業開始について インド式計算法	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 2桁の掛け算・割り算・足し算・引き算も驚くほど簡単に計算ができるようになるインド式数学による計算法ができる	
第2回	○月○日	天文学的数字の計算	ミクロの世界からマクロの世界まで幅広いレンジの指数計算 銀行預金やローンの金利から音楽の世界、さらには自然界の現象まで 指数の基本的な計算ルールを理解し、正しく使いこなすことができる	
第3回	○月○日	地頭力	「答えのない問題を解いていく力」、すなわち地頭力を鍛える5つの方法を覚える 一見複雑な問題を、本質的に必要な部分を抽象化し、解析することにより結論を導き出すことができる	
第4回	○月○日	トイレトペーパーの長さを測るには？	問題を解くためにはいろいろな方法があります 見方を変えれば、複雑な問題も簡単に解くことができる	
第5回	○月○日	頭の中なら自由に動かせる キーボードを探せ	問題を解くとき、考える対象が大きくても頭の中で自由に動かせる 発言の矛盾を見つけ出すには、数学的な論理力が必要である。推理の進め方について覚える	
第6回	○月○日	鏡の不思議	は左右は入れかえるのに上下は何故変わらないのか。自然界の右と左と鏡の中の世界の話を聞く 鏡に映った像が「左右反転」して見える理由を、視点・認知・物理的現象の観点から説明できる	
第7回	○月○日	偶然を科学する	世の中には偶然と思われる現象がたくさんある、しかし、偶然と思われる現象にも原因があることを覚える	
第8回	○月○日	でたらめを科学する	0から10までの数字をでたらめに並べたものを乱数という 乱数を作る方法から、乱数の応用までを活用できる	
第9回	○月○日	幸せな結婚	目の前に現れる花嫁さん候補はN人 できれば、一番素晴らしい女性を選びたいところですが・・・	
第10回	○月○日	暗号の秘密	危険性を防止するには？ インターネットを通じた情報のやり取りにおけるリスク(盗聴、改ざん、なりすまし等)を理解することが出来る	
第11回	○月○日	素数の秘密	素数とは5や7のように他の数で割り切ることができない数 その素数には何か隠された魅力があるようです そのなぞが解ける	
第12回	○月○日	モンティホール問題	直感的な答えと、きちんと確率論に則って導き出された答えが異なるテレビ番組から生まれた史上最も議論を呼んだ確率問題が解ける	
第13回	○月○日	パラドックスを楽しむ	妥当に見える推論のどこに間違いがあるかをクイズとして楽しみ、数学的推論に対する教訓を得る	試験範囲説明
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる	単位認定試験
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる	試験解説+F20:M27F18:M2

成績評価方法 2

成績判定試験:第14回の授業内で実施(50分) 50選択問題、空白記入問題)
課題レポートを提出:課題内容が記載されているか、期日までに提出しているか
授業態度:減点方式(居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点)
出席点:0回欠席(10点)、1回欠席(5点)、2回欠席(3点)、3回欠席(1点)とする
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				60	秀(S):100点～90点
②確認テスト						なし	優(A): 89点～80点
③課題レポート	2位	2位	1位			10	良(B): 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥出席						10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	(井田亜由美)
				実務経験紹介	-

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		ビジネス英語			学科名 ² (コース名)		ペット総合科		学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴		講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分 ⁵	なし		
教育課程区分		選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		ペットショップ（サロン）等での応対について、様々な場面での英会話を覚え、授業は簡単な会話を中心としペット分野に必要な表現・用語を併せて覚える。 外国人を迎えた時だけでなく、多方面で国際的なコミュニケーションが必要になっているため、トリマーやトレーナー、アドバイザー等の活躍する場所も今後海外のペットショップで働いたり、留学したりと多くのステージが考えられる。グローバル時代に羽ばたくために、国際語としての英語を自分のものにする。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		単語や文法を覚えるだけでなく、英語でコミュニケーションできるようになる。中学1、2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやりとりができる力を身につける。 ペットショップに外国人を迎えた時、最低限の意思疎通を図ることができるようになる。さらに海外旅行、留学、ホームステイなど、今後活躍するステージを広げていくために、会話の勉強を続けていくためのきっかけを見つける。								
受講条件		ペット総合科在籍								
教科書名		該当なし				教材名 ¹	PowerPoint 配布プリント			
設備名・機器名		プロジェクター スクリーン PC				関連サイト ¹	該当なし			
関連前科目		該当なし				関連後科目 ¹	該当なし			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	授業開始について 自己紹介とあいさつ			授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 あらたまった場面ではなく、親しみをこめてあいさつを交わし、会話のきっかけを作っていく 名前や職業を言う、名前や出身地を尋ねるなどが行える				—	
第2回	○月○日	あいさつ 人や物の紹介			はじめて会った時、友人とのあいさつ、人や物を紹介できる 友人と別れる時の挨拶の仕方を覚える				—	
第3回	○月○日	あいさつ 人や物の状態や特徴			人や物の状態・特徴をたずねることができる 元気？だいじょうぶ？などとたずねられる				—	
第4回	○月○日	あいさつ 道案内 品物の値段			道案内や行き方をたずねたり伝えたりする事ができる 品物や値段をたずねたり答えたりできる				—	
第5回	○月○日	犬種についての説明 性格や特徴			犬種の性格や特徴を簡単に説明できる				—	
第6回	○月○日	犬種についての説明 毛色やサイズ			犬種の毛色やサイズを説明できる				—	
第7回	○月○日	電話予約を受ける			電話で、簡単な用件をたずねたり、伝えたりできる。曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる				—	
第8回	○月○日	予約のお客様を迎える			あいさつ、予約のチェック、モデル犬情報が確認できる				—	
第9回	○月○日	料金をいただく			お礼をしたり、苦情を言ったりすることができる				—	
第10回	○月○日	カットスタイルの注文をうかがう			欲しいものややりたいことを言うことができる。アドバイスを求めたり、与えたりすることができる				—	
第11回	○月○日	カットスタイルの注文をうかがう (提案)			提案したり、提案を求めたりすることができる				—	
第12回	○月○日	運営シュミレーション			シュミレーションによる会話練習 用語・表現の総復習を行う				—	
第13回	○月○日	試験範囲の復習			試験対策のポイント、復習 試験範囲の復習や対策ポイントを挙げるることができる				試験範囲説明	
第14回	○月○日	振り返り授業・試験実施			受験前の振り返り、受験 単位認定試験を受験することができる				単位認定試験	
第15回	○月○日	試験問題の解答、解説			試験問題の答え合わせと解説 試験問題の答え合わせを行うことができる				試験解説	
成績評価方法 ²										
成績判定試験：第14回の授業内で実施（50分） 50選択問題、空白記入問題 確認テスト：授業内で実施 選択問題 空白記入問題 授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点） 出席点：0回欠席（10点）、1回欠席（5点）、2回欠席（3点）、3回欠席（1点）とする 以上の総合得点が60点以上及び出席率80％であることを合格基準とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位	1位			60	秀（S）：100点～90点		
②確認テスト		2位	2位				10	優（A）：89点～80点		
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点		
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点		
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下		
⑥出席				2位	1位		10			
							不合格の場合	再試験 1 回まで実施		

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	(井田亜由美)	
				実務経験紹介	-	
更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						

2025年度シラバス

科目名 ¹	イベントプロデュースⅠ			学科名 ² (コース名)	ペット総合科		学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁵	なし	
教育課程区分	選択	単位数 ²	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹ 具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。 イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹ イベント企画の基本的なフレームワークと時間軸を理解し、段階的に進める方法を習得する 協調性を発揮し、チームでの役割分担やコミュニケーションを通じて、円滑なイベント運営を実現するスキルを身につける。							
受講条件	¹ ペット総合科在籍							
教科書名	¹ 該当なし				教材名 ¹	PowerPoint		
設備名・機器名	¹ ホワイトボード				関連サイト ¹	¹ 該当なし		
関連前科目	¹ 該当なし				関連後科目 ¹	¹ 該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業ガイダンス	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 2025年度 イベントについて 授業の必要性や目的を説明できる	—
第2回	○月○日	イベントの目的	イベントの目的 内容 イベントの目的に沿った具体的な企画案を立案し、チーム内で共有・提案できる	—
第3回	○月○日	プランニングと運営について	プランニング(計画生)の重要性と運営について イベントや活動における「計画性」の重要性を理解し、自ら具体的なスケジュールや役割分担を立案できる	—
第4回	○月○日	イベント企画会議	実際の行事の企画会議を実施する ほりかわ祭 出店について ほりかわ祭出店に向けた目的・テーマを明確にし、実現可能な企画案をグループで立案できる	—
第5回	○月○日	イベント企画会議	実際の行事の企画会議を実施する ほりかわ祭 役割分担について グループ内で意見を出し合いながら、全員が納得しやすい役割分担を構築できる	—
第6回	○月○日	イベント運営のグループワーク	イベント運営とグループワーク イベント運営の流れ(企画・準備・当日・振り返り)を理解し、自分の役割を把握・実行できる	—
第7回	○月○日	イベント運営のシミュレーション	運営シミュレーション シミュレーション中に発生した課題を共有し、改善策をチームで話し合える	—
第8回	○月○日	ほりかわ祭 準備 各分担決め	各分担を決める 予算・売上目標を決める 出店に必要な作業(準備・当日・片付けなど)を把握し、グループ内で適切に分担を決定できる	—
第9回	○月○日	ほりかわ祭 準備 準備物 作成	それぞれの準備物を決める イベント内容・運営の流れに基づいて、必要な準備物を具体的にリストアップできる	—
第10回	○月○日	ほりかわ祭 準備 各分担に分かれる	各分担に分かれ準備を行う 役割分担に基づいて、自分の担当業務を明確に理解し、責任を持って遂行できる	—
第11回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店に向け、準備を行う 出店ブースのレイアウト、ディスプレイを考え、配置を決定できる	—
第12回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店する 出店準備から実施までの流れを理解し、全体のスケジュールに基づいて行動できる	—
第13回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店する 出店準備から実施までの流れを理解し、全体のスケジュールに基づいて行動できる	—
第14回	○月○日	ほりかわ祭 当日 売上確認	売上確認 目標売上と実績を比較できる	—
第15回	○月○日	ほりかわ祭 振り返り	目標達成できたかそれぞれで振り返る 目標設定の重要性を理解する	—

成績評価方法 ²

授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
作品：イベント企画や出店に積極的に参加する
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		40	可（D）：69点～60点
⑤作品		2位	1位			50	不可（E）：59点以下
⑥出席		2位	1位			10	
						不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員 実務経験紹介	小笠原 季輝 小山 美優貴
---------	--------	---------	-------	------------------	---------------

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	なし	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。 イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	イベント企画の基本的なフレームワークと時間軸を理解し、段階的に進める方法を習得する 協調性を発揮し、チームでの役割分担やコミュニケーションを通じて、円滑なイベント運営を実現するスキルを身につける。							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	該当なし				教材名	PowerPoint		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト	該当なし		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	授業ガイダンス	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 2025年度 イベントについて 授業の必要性や目的を説明できる	—
第2回	○月○日	イベントの目的	イベントの目的 内容 イベントの目的に沿った具体的な企画案を立案し、チーム内で共有・提案できる	—
第3回	○月○日	プランニングと運営について	プランニング(計画生)の重要性と運営について イベントや活動における「計画性」の重要性を理解し、自ら具体的なスケジュールや役割分担を立案できる	—
第4回	○月○日	イベント企画会議	実際の行事の企画会議を実施する ほりかわ祭 出店について ほりかわ祭)出店に向けた目的・テーマを明確にし、実現可能な企画案をグループで立案できる	—
第5回	○月○日	イベント企画会議	実際の行事の企画会議を実施する ほりかわ祭 役割分担について グループ内で意見を出し合いながら、全員が納得しやすい役割分担を構築できる	—
第6回	○月○日	イベント運営のグループワーク	イベント運営とグループワーク イベント運営の流れ(企画・準備・当日・振り返り)を理解し、自分の役割を把握・実行できる	—
第7回	○月○日	イベント運営のシミュレーション	運営シミュレーション シミュレーション中に発生した課題を共有し、改善策をチームで話し合える	—
第8回	○月○日	ほりかわ祭 準備 各分担決め	各分担を決める 予算・売上目標を決める 出店に必要な作業(準備・当日・片付けなど)を把握し、グループ内で適切に分担を決定できる	—
第9回	○月○日	ほりかわ祭 準備 準備物 作成	それぞれの準備物を決める イベント内容・運営の流れに基づいて、必要な準備物を具体的にリストアップできる	—
第10回	○月○日	ほりかわ祭 準備 各分担に分かれる	各分担に分かれ準備を行う 役割分担に基づいて、自分の担当業務を明確に理解し、責任を持って遂行できる	—
第11回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店に向け、準備を行う 出店ブースのレイアウト、ディスプレイを考え、配置を決定できる	—
第12回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店する 出店準備から実施までの流れを理解し、全体のスケジュールに基づいて行動できる	—
第13回	○月○日	ほりかわ祭 当日 出店 運営	出店する 出店準備から実施までの流れを理解し、全体のスケジュールに基づいて行動できる	—
第14回	○月○日	ほりかわ祭 当日 売上確認	売上確認 目標売上と実績を比較できる	—
第15回	○月○日	ほりかわ祭 振り返り	目標達成できたかそれぞれで振り返る 目標設定の重要性を理解する	—

成績評価方法

授業態度：減点方式（居眠り・授業中の私語・指示以外のスマホに触れる等への指導後、改善されない場合は2点減点）
作品：イベント企画や出店に積極的に参加する
以上の総合得点が60点以上及び出席率80%であることを合格基準とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度							可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥出席						なし	
						不合格の場合	再試験 1 回まで実施

シラバス作成者	井田 亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	松山きらら 山極夏希
				実務経験紹介	—

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				

2025年度シラバス

科目名	企業研究			学科名 (コース名)	ペット総合科		学年	2学年
授業形態	講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	なし	
教育課程区分	選択	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	就職を希望するペットショップ・動物病院等の調査法、インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、インターンシップに参加する前提とした目的・心構え・ビジネスマナー等を中心に、事前準備を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通して得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書が作成できる。（交通費等の費用は原則自己負担） 自分自身の視点から調査・分析出来る能力を身につけ、就職につなげる。自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計るとともに、自ら職業選択の明確な基準軸を見つける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を持つ 実社会に触れることによって、学習意欲をつける 人間性（思いやり・公共心・倫理観）を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	ペット総合科在籍							
教科書名	該当なし				教材名	該当なし		
設備名・機器名	該当なし				関連サイト	該当なし		
関連前科目	該当なし				関連後科目	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	業界研究	就職を希望するペットショップ・動物病院に関して、仕事の内容、仕事の条件、その業界内における当該企業の位置づけと将来性はどのようになっているのか等、自分自身の視点から調査・分析することができる					
第2回	○月○日	実務研修の依頼	職を希望するペットショップ・動物病院の調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整					
第3回	○月○日	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう					
第4回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第5回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第6回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第7回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第8回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第9回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第10回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第11回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第12回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第13回	○月○日	実務研修	受入れ事業所で就業体験 業界の実務知識を習得し、業務の進行方法を理解し効率的に作業を行える				実習日報	
第14回	○月○日	インターンシップ報告会	体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する					
第15回	○月○日	インターンシップ報告会	体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する					
成績評価方法								
成績判定試験：なし。 授業態度：減点方式（遅刻・早退はそのたびに1点減点、居眠りや私語等への指導後、状況がかわらないようであれば2点減点） 課題レポート：実習報告書を1日の終わりに必ず記入。実務研修終了後、期日までに担任に提出 以上、出席率80％であることを合格基準とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート			2位	1位			20	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		30	可（D）：69点～60点
⑤演習			2位	1位			20	不可（E）：59点以下
⑥出席				2位	1位		30	
							不合格の場合	再試験1回まで実施

シラバス作成者	井田亜由美	シラバス承認者	井田亜由美	授業担当教員	松山きらら 山極夏希
				実務経験紹介	二

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					